

## **第2期 各務原市スポーツ推進計画（素案）**

**令和6年11月**

はじめに

教育長ごあいさつ 作成中



## 目次

1章 各務原市スポーツ推進計画の概要 .....	1
第1節 計画策定の趣旨 .....	1
第2節 計画の期間.....	2
第3節 上位計画や関係計画との関係・位置づけ .....	2
第4節 本計画における「スポーツ」の定義.....	2
第5節 計画策定の経緯 .....	3
2章 本市のスポーツをとりまく現状と課題.....	4
第1節 各務原市の現状（基礎情報） .....	4
第2節 各務原市のスポーツ活動に関する現状と課題 .....	7
第3節 各務原市スポーツ推進計画の振り返り.....	65
3章 スポーツ推進の方向性 .....	68
第1節 各務原市総合計画（前期基本計画）（目指す姿） .....	68
第2節 各務原市教育大綱 .....	68
第3節 各務原市教育振興基本計画 .....	68
第4節 基本理念.....	69
第5節 施策の体系.....	71
4章 具体的な施策.....	73
基本目標1．スポーツ機会の創出.....	73
基本目標2．地域スポーツ活動への支援 .....	80
基本目標3．スポーツ施設の充実.....	84
基本目標4．ホッケーを基軸とした競技スポーツの全体の底上げ.....	87
基本目標5．スポーツを通じたまちづくりの推進 .....	93
5章 計画の推進体制.....	97
第1節 計画の進捗管理 .....	97
第2節 計画推進の仕組みづくり.....	97
資料編.....	99
第1節 策定の行程.....	99
第2節 委員名簿（第2期かかみがはらスポーツ推進計画策定委員会） .....	99



# 1章 各務原市スポーツ推進計画の概要

## 第1節 計画策定の趣旨

スポーツ基本法（平成23年施行）の前文に示された「スポーツは世界共通の人類の文化である」は、世界中どこでも実施され、日々新しい挑戦が生まれ、努力が自分に刻まれていく素晴らしい文化であることを物語っています。

スポーツは心身の健全な成長や健康の維持・増進に寄与すると同時に、様々な人と交流・繋がりが持て、楽しみや喜びを与えてくれます。また、次代を担う子どもの人格形成、人と人との交流により地域の活力を生み出すことに加え、スポーツを通じた関連産業の発展にも寄与する等、多種多様な分野に大きく影響を与えるものとなっています。

平成27年10月に設立された「スポーツ庁」のもと、行政による様々なスポーツ施策が展開され、令和4年には「第3期スポーツ基本計画」が策定され、①スポーツを「つくる／はぐくむ」、②「あつまり」、スポーツを「ともに」行い、「つながり」を感じる、③スポーツに「誰もがアクセス」できるといった新たな3つの視点にもとづき取組が行われています。

岐阜県においても、令和4年に「第2期 清流の国ぎふスポーツ推進計画」が策定され、「誰一人取り残されないスポーツ立県・ぎふ」を基本目標に掲げ、県民のスポーツの持つ力で生涯にわたる健康と生きがいを得られることを目指しています。

各務原市は、令和5年に「各務原市総合計画 基本構想」、令和6年に「前期基本計画」を策定しています。この中では、スポーツを通じて「みんなが輝き彩りのあるまち」を形成すべく、①スポーツ機会の創出、②地域スポーツ活動の推進、③スポーツ施設の充実、④ホッケーの推進が掲げられ、取組が始まっています。

上記背景に基づき、第2期 各務原市スポーツ推進計画は、各務原市の総合計画に基づき、国や県のスポーツ施策の動向や社会情勢も勘案するとともに、市民や関係者の声も反映し、スポーツにおける中長期の目標と、その実現を可能とする施策を取りまとめました。

## 第2節 計画の期間

本計画の計画期間は、令和7年度から令和16年度までの10年間とします。5年経過する令和11年度には中間評価の機会を設け、5年間の振り返りを行うとともに、国、岐阜県の新たなスポーツ計画の内容を踏まえ適宜見直しを行い、事業内容の変更や新たに取り組むべき事項などには柔軟に対応し、必要な変更などを加えるものとなります。

	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度	令和9 (2027)年度	令和10 (2028)年度	令和11 (2029)年度	令和12 (2030)年度	令和13 (2031)年度	令和14 (2032)年度	令和15 (2033)年度	令和16 (2034)年度	令和17 (2035)年度
各務原市 総合計画 基本構想	基本構想（令和7(2025)年度～令和16(2034)年度）										次期計画
前期基本計画	前期基本計画（令和7(2025)年度～令和11(2029)年度）					後期基本計画（令和12(2030)年度～令和16(2034)年度）					次期計画
各務原市 教育大綱	教育大綱（令和7(2025)年度～令和11(2029)年度）					次期					
各務原市 教育ビジョン	教育ビジョン（令和7(2025)年度～令和11(2029)年度）					次期					
各務原市 スポーツ 推進計画	第2期各務原市スポーツ推進計画（令和7(2025)年度～令和16(2034)年度）										次期計画
		▲ 第2026年アジア競技大会 開催			▲ 確認・見直し					▲ 確認・改訂	
関連計画											
スポーツ庁	第3期スポーツ基本計画 （～令和8(2026)年度）		次期計画								
岐阜県	第2期清流の国 ぎふスポーツ推進計画 （～令和8(2026)年度）		次期計画								

## 第3節 上位計画や関係計画との関係・位置づけ

本計画は、国の「第3期スポーツ基本計画」、県の「第2期清流の国ぎふスポーツ推進計画」を受け、本市が策定したものです。

本計画の策定にあたり、本市の最上位計画である「各務原市総合計画」や「各務原市教育ビジョン（各務原市教育振興基本計画）」など、関連する諸計画との整合性を図りました。

## 第4節 本計画における「スポーツ」の定義

本計画では、「スポーツ」をオリンピックやプロスポーツにみられる勝敗や記録を競う「スポーツ」だけでなく、身体を動かすレクリエーションや、趣味として気軽にできる体づくり、健康維持・増進のために身体を動かすことなども含めます。

例えば、散歩（ウォーキング）やサイクリング、運動不足解消のため、意識的に通勤手段を徒歩にするなど、日常生活における身体活動やアウトドア活動なども「スポーツ」に含み

ます。

## 第5節 計画策定の経緯

本計画は、スポーツを取り巻く社会情勢の動向を捉え、また国・県で進められているスポーツに関する政策を整理するとともに、本市におけるスポーツ活動に関する現状の数値分析を行いました。また、市民（無作為抽出）、子ども（小学5年生、中学2年生）、スポーツ団体、公共スポーツ施設利用者へのアンケート調査を実施し、スポーツとの関わり合いの現状、課題、ニーズ等について整理しました。

それらの分析内容について「各務原市スポーツ推進計画策定委員会」の場で議論を重ね、計画内容に反映し策定しました。

### ■策定にあたり実施したアンケート調査

種別	市民	小中学生	保護者	施設利用者	団体
対象	市内在住の満18歳以上の男女	市内の小中学校に通う小学5年生、中学2年生	市内の小中学校に通う小学5年生、中学2年生の保護者	市内の公共スポーツ施設利用者	市内のスポーツ関連団体
期間	2024/10/16 ～10/30	2024/10/4 ～11/8	2024/10/10 ～11/8	2024/10/9 ～10/31	2024/10/3 ～10/31
実施方法	住基台帳より無作為抽出、郵送、紙もしくはWeb回答	市内小中学校を經由して配布、Web回答	保護者宛メールで配布、Web回答	市内の公共スポーツ施設に留置き、紙もしくはWeb回答	団体に個別に依頼、メール回答
配布数/回収数	2000/653	小学5年生 1,237/931 中学2年生 1,279/751	2,516（のべ） /585	回収 284	回収 26団体

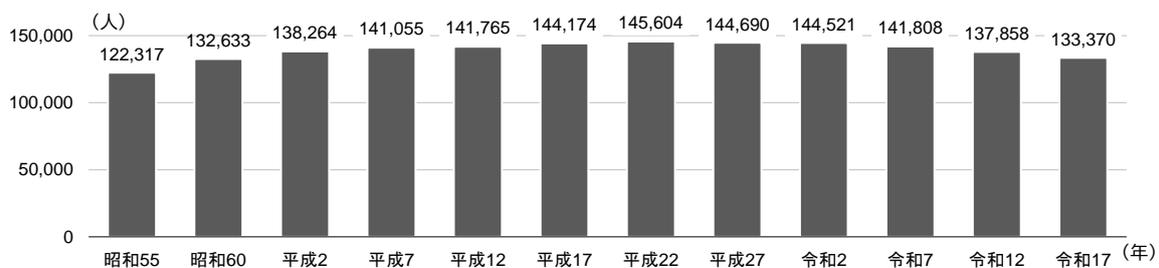
## 2章 本市のスポーツをとりまく現状と課題

### 第1節 各務原市の現状（基礎情報）

#### ① 人口の状況

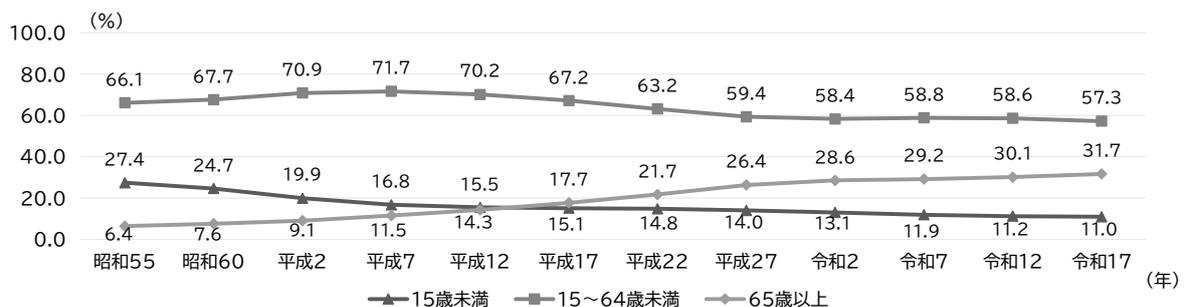
本市の総人口は、平成22年の国勢調査をピークに減少に転じ、令和2年には144,521人となっています。令和17年には133,370人になる見込みで、今後も人口減少が進んでいきます。令和2年までの年齢3区分別人口推移をみると、15歳未満の年少人口は昭和55年以降、減少し続けており、15歳から64歳までの生産年齢人口も平成7年を境に減少に転じています。一方で65歳以上の老年人口は増加しており、今後さらに増加し、令和12年には3割を超える見込みです。

#### ● 総人口の推移



資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」

#### ● 年齢3区分人口割合の推移



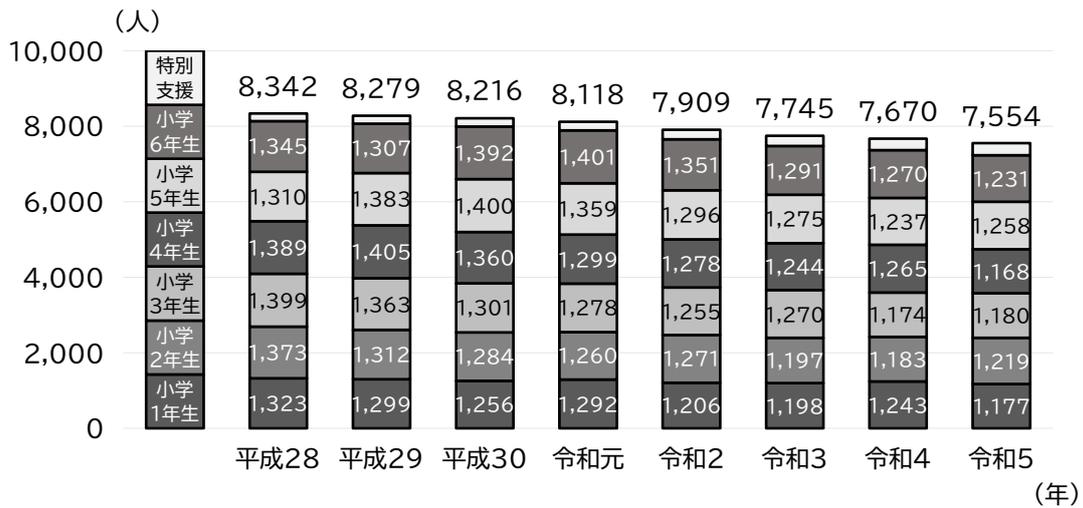
資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」

## ② 児童・生徒の状況

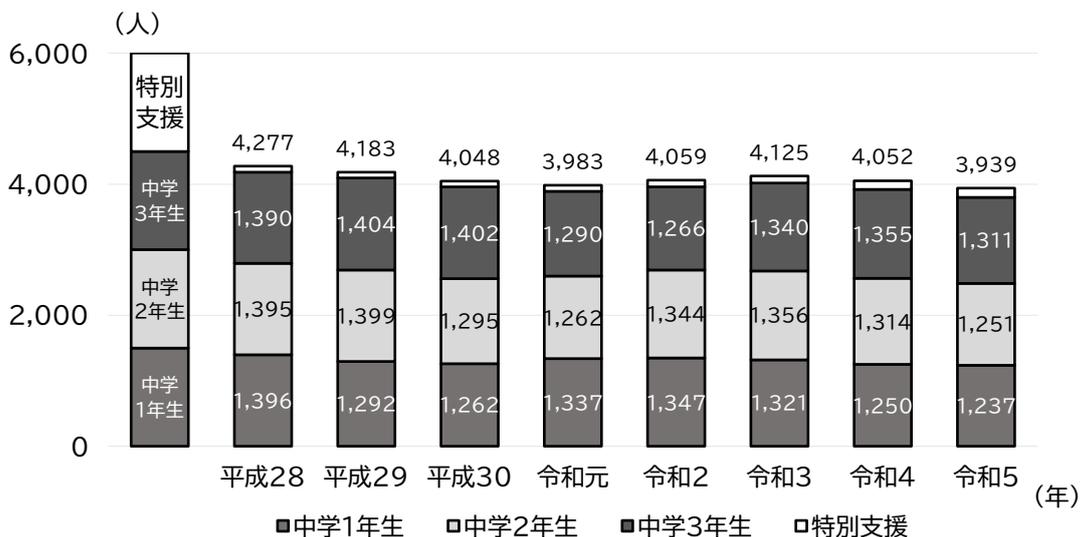
本市の児童数は平成28年以降、減少傾向にあり、令和5年は7,554人となっています。前計画を策定した平成28年と比べると、約800人減少しています。

本市の中学校生徒数は児童数と比べると緩やかに減少しているものの、令和5年は3,939人となっており、前計画を策定した平成28年と比べると、約350人減少しています。

### ● 児童数の推移



### ● 中学校生徒数の推移

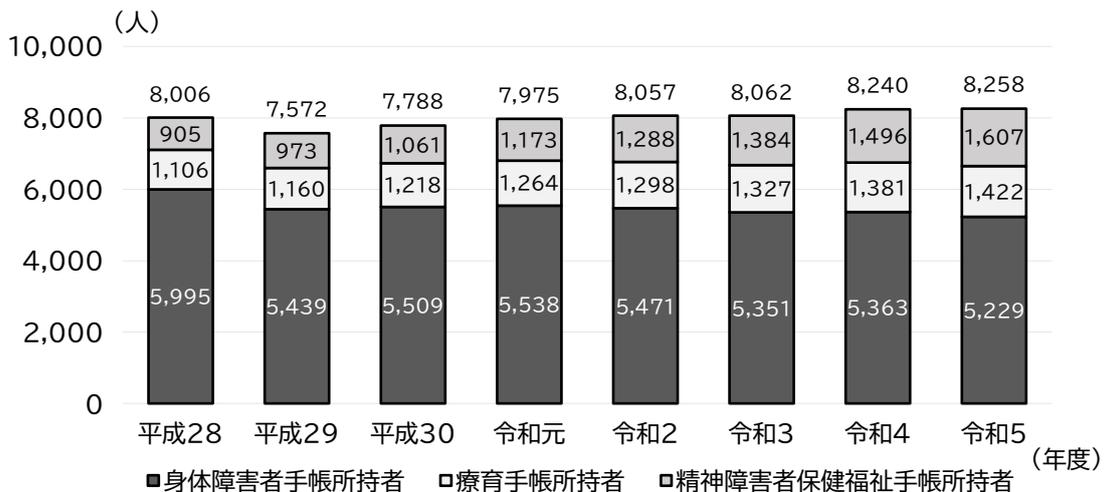


資料：教育委員会総務課

### ③ 障がい者の状況

本市の障害者手帳所持者数は増加傾向にあり、令和5年度では8,258人となっています。また、手帳種類別にみると、身体障害者手帳所持者は減少しているものの、療育手帳所持者と精神障害者保健福祉手帳所持者は増加傾向にあります。特に精神障害者保健福祉手帳所持者については、前計画を策定した平成28年と比べると、約700人増加しています。

#### ● 障害者手帳所持者数の推移



資料：社会福祉課

### ④ 在留外国人の状況

本市の在留外国人はコロナ禍で停滞したものの、増加傾向にあり、令和5年12月時点で、3,965人となっています。前計画を策定した平成28年と比べると、1,000人増加しています。

#### ● 在留外国人の推移



資料：出入国在留管理庁「在留外国人統計」

## 第2節 各務原市のスポーツ活動に関する現状と課題

ここでは、本市のスポーツに関する現状をテーマ別に分け、関連するアンケート調査結果を記し、現状を把握すると同時に本市のスポーツを取り巻く現状と課題についてまとめています。

### ①大人のするスポーツに関する現状と課題

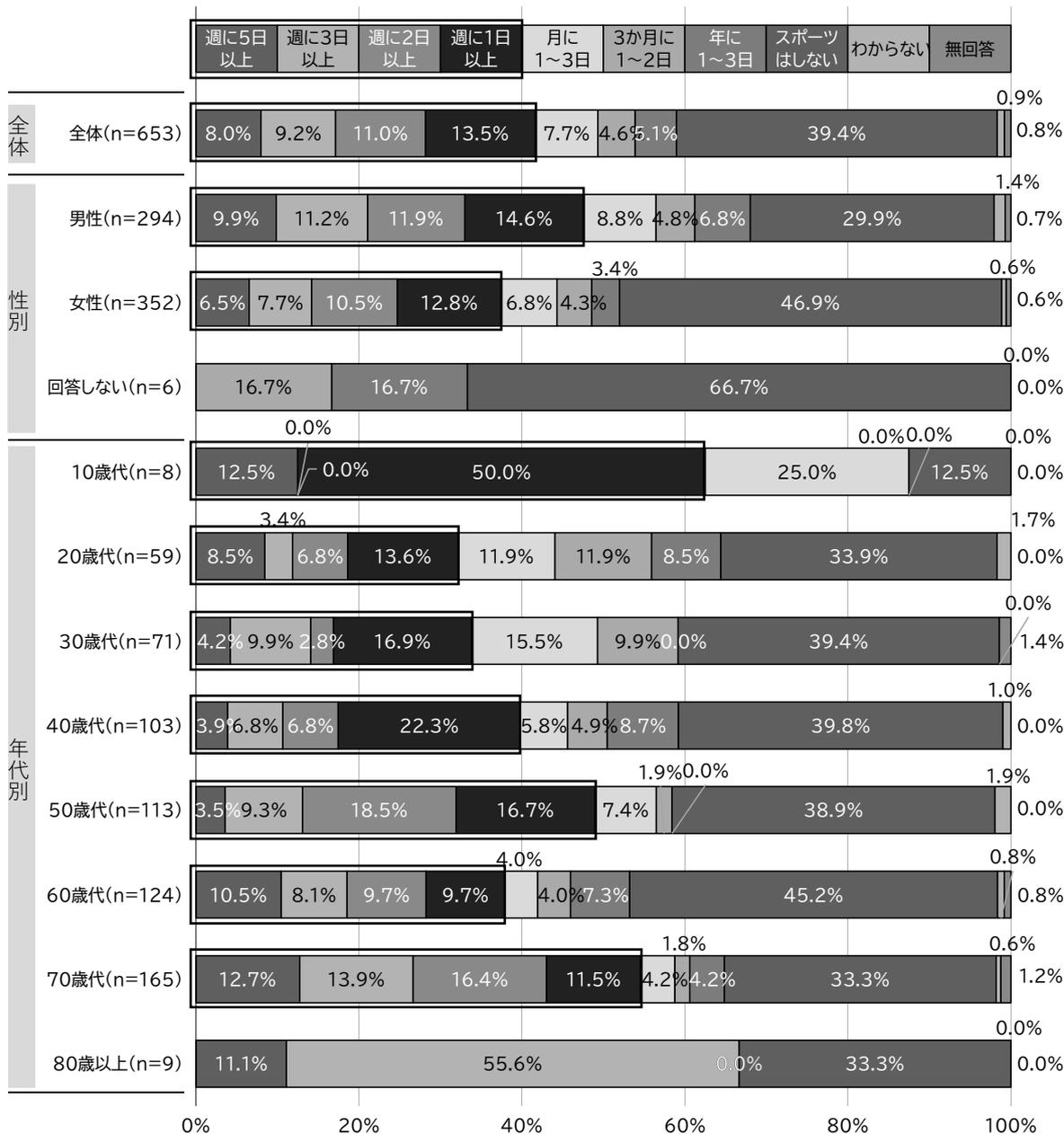
---

#### 1) スポーツ実施状況について

令和6年度に実施したスポーツ推進に関するアンケート結果をみると、週5日以上スポーツをしている人の割合が8.0%、週3日以上スポーツをしている人の割合が9.2%、週2日以上スポーツをしている人の割合が11.0%、週1日以上運動をしている人の割合が13.5%となっており、合わせて41.7%（成人のみでは41.4%）の市民が日常的にスポーツを行っています。

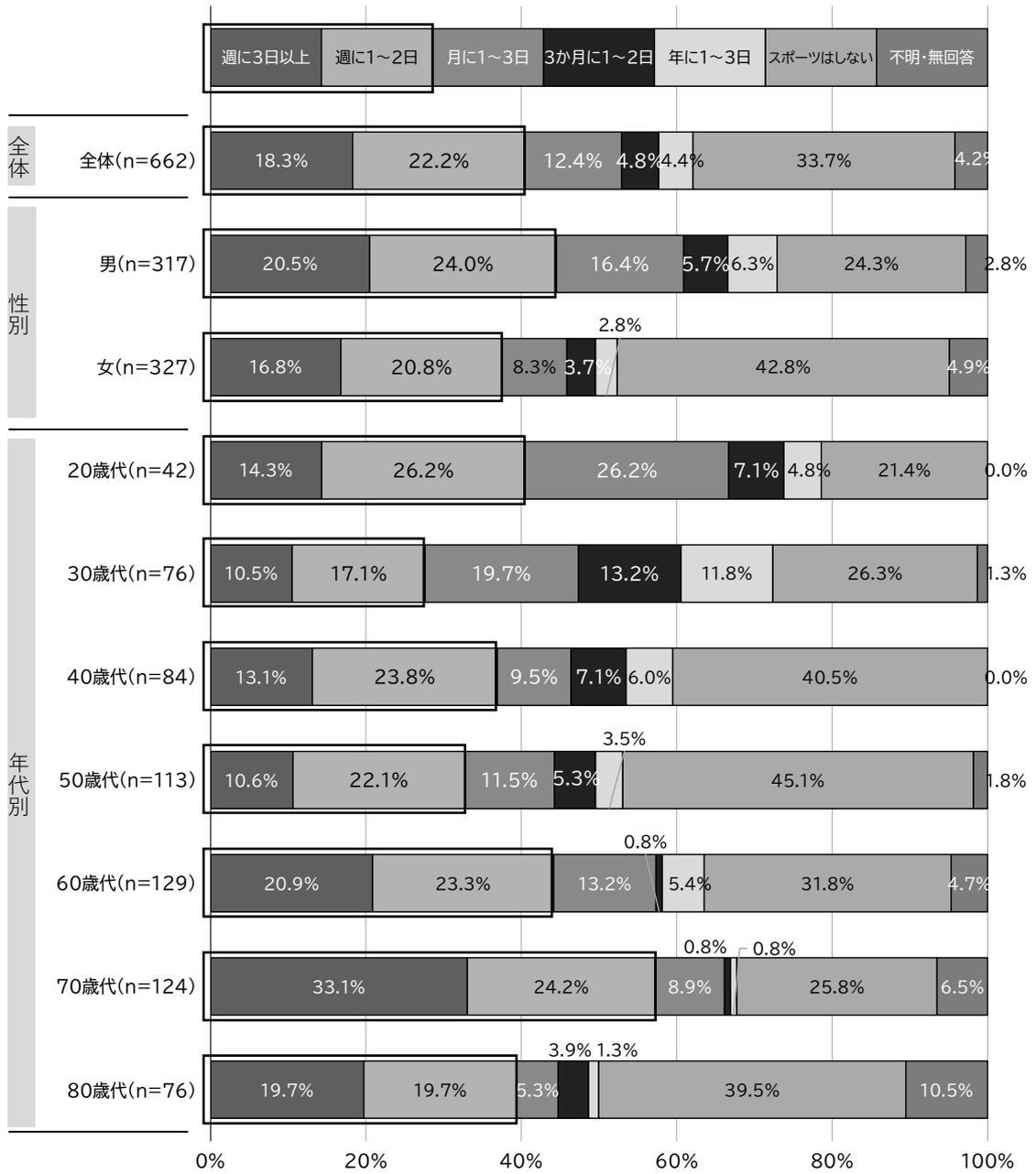
●本市のスポーツ実施率について

令和6年



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

平成 27 年



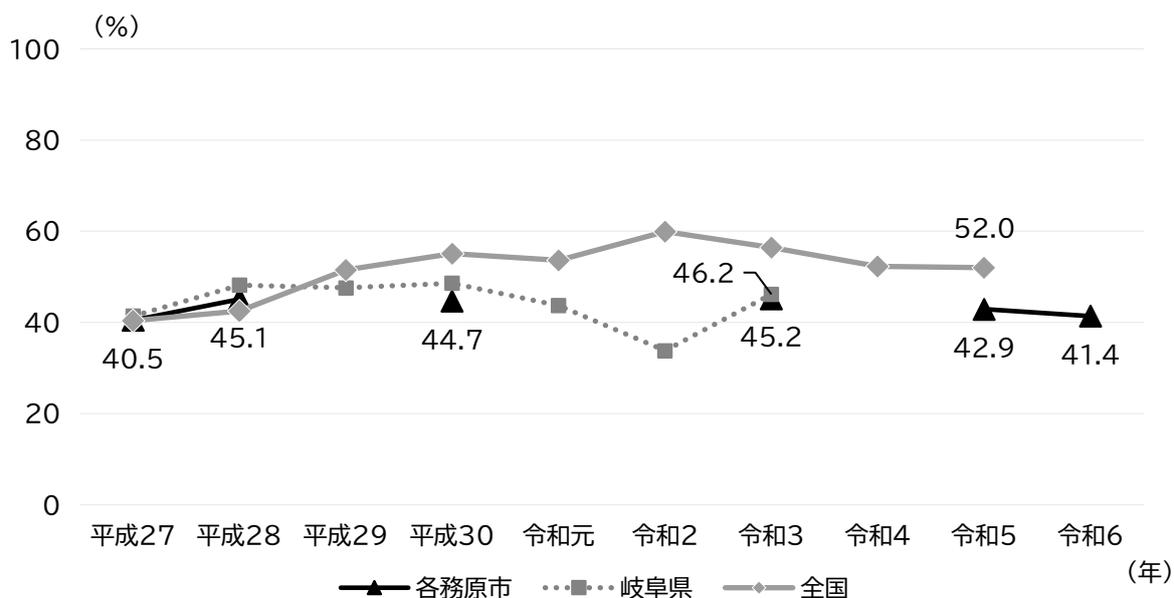
資料：各務原市 平成 27 年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

## 2) スポーツ実施状況の国や県との比較について

全国や岐阜県と比較すると、本市のスポーツ実施率は **41.4%** (令和 6 年) で、国の 52.0% (令和 5 年) や、岐阜県の 46.2% (令和 3 年) と比べて低調であることがうかがえます。

一方で、前計画策定時の本市のスポーツ実施率と比べると、**1.2** ポイント増加しています。

### ●スポーツ実施率の経年比較



※スポーツ実施率は、週に1日以上運動・スポーツをする20歳以上の人の割合として算出。

各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）  
 岐阜県 第2期 清流の国ぎふスポーツ推進計画  
 国 令和5年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」

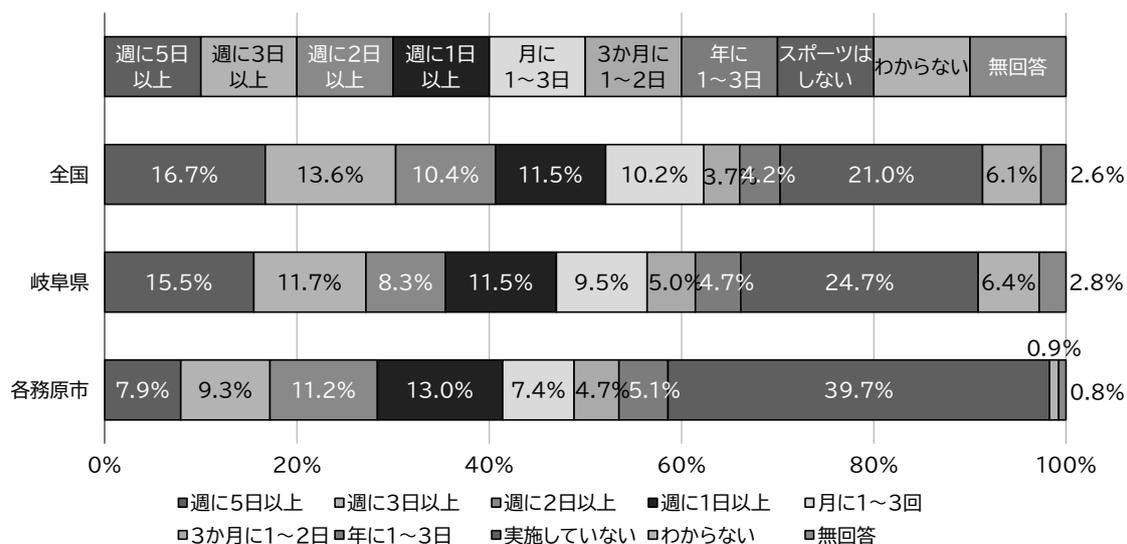
### 3) スポーツの実施頻度の比較について

本市のスポーツの実施頻度を全国や岐阜県と比較すると、「スポーツはしない」と答えた割合が39.4%と高くなっています。

また、スポーツする人の実施頻度については、「週に3日以上スポーツをする」割合は17.2%で、全国や岐阜県と比べると、低調となっています。

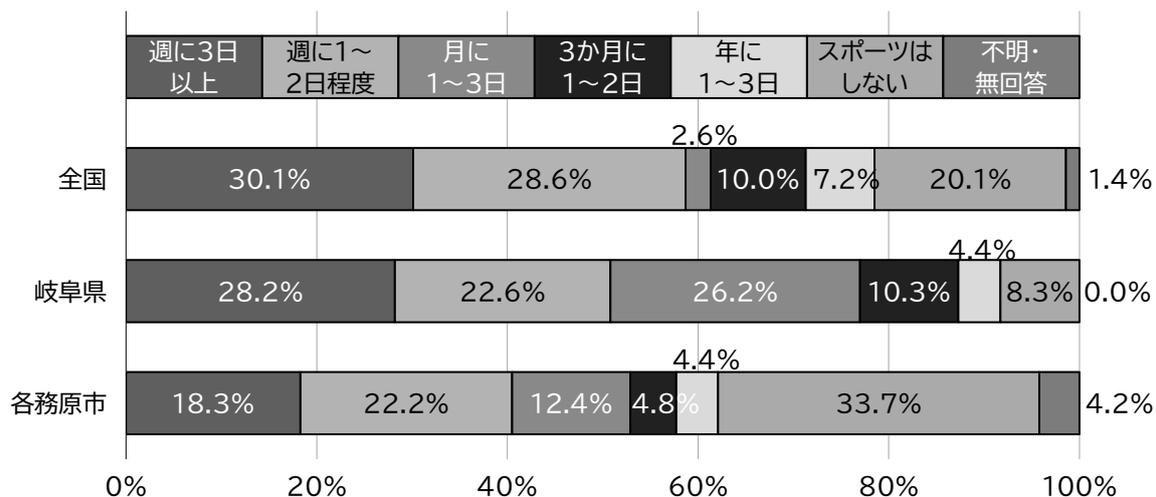
#### ●スポーツの実施頻度に関する全国および岐阜県との比較

令和6年



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）  
 全国・岐阜県 令和5年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」

平成27年

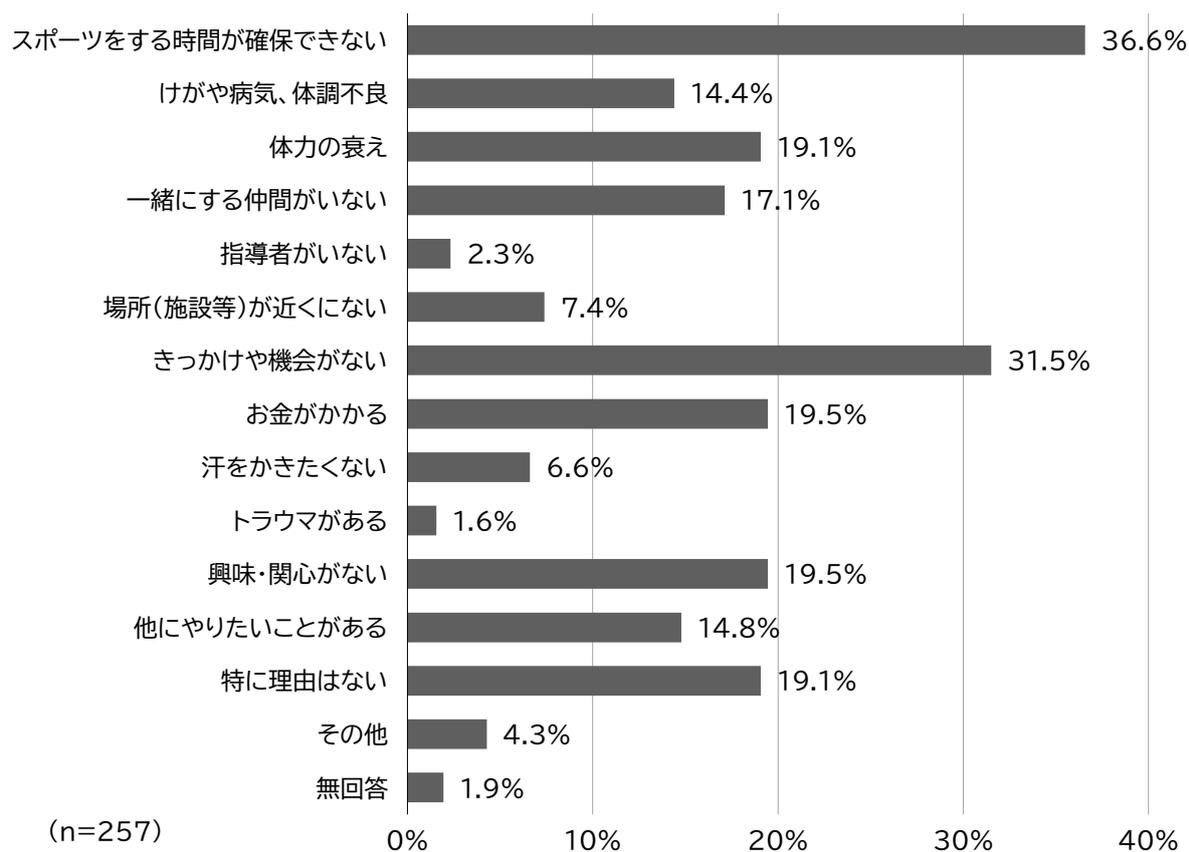


資料：各務原市 平成27年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）  
 岐阜県 運動・スポーツに関するアンケート調査  
 全国 平成24年 体力・スポーツに関する世論調査

#### 4) スポーツを実施していない理由について

令和6年度に実施したスポーツ推進に関するアンケート結果をみると、スポーツをしていない理由として、「スポーツする時間が確保できない」が36.6%と最も多く、次いで「きっかけや機会がない(31.5%)」となっています。

##### ●スポーツを実施していない理由

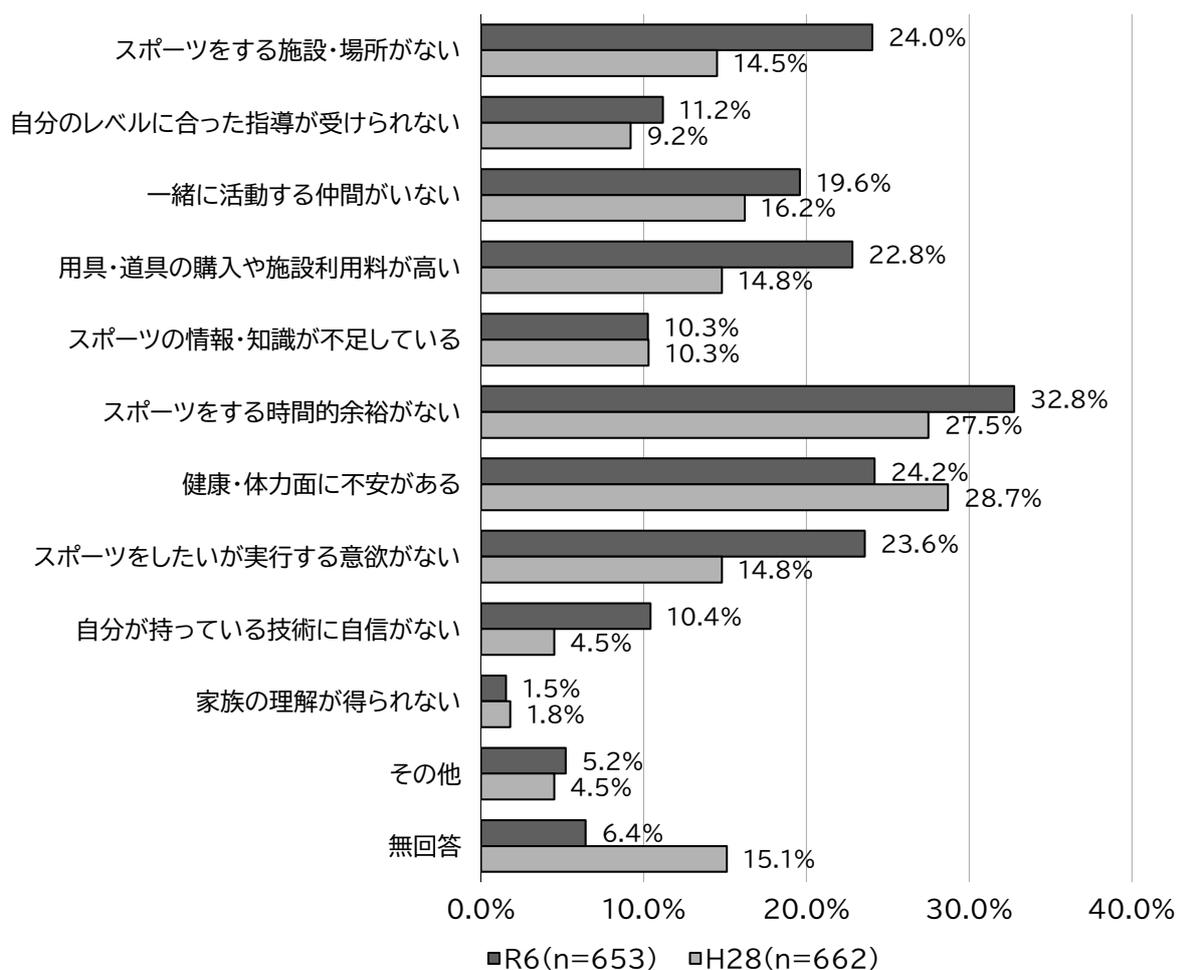


資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

## 5) スポーツをするときに、問題になると思うこと

令和6年度に実施したスポーツ推進に関するアンケート結果をみると、スポーツをするときに、問題になると思うこととして、「スポーツする時間的余裕がない」が32.8%と最も多く、次いで「健康・体力面に不安がある(24.2%)」「スポーツをする施設・場所がない(24.0%)」となっています。

### ●スポーツをするときに、問題になると思うこと

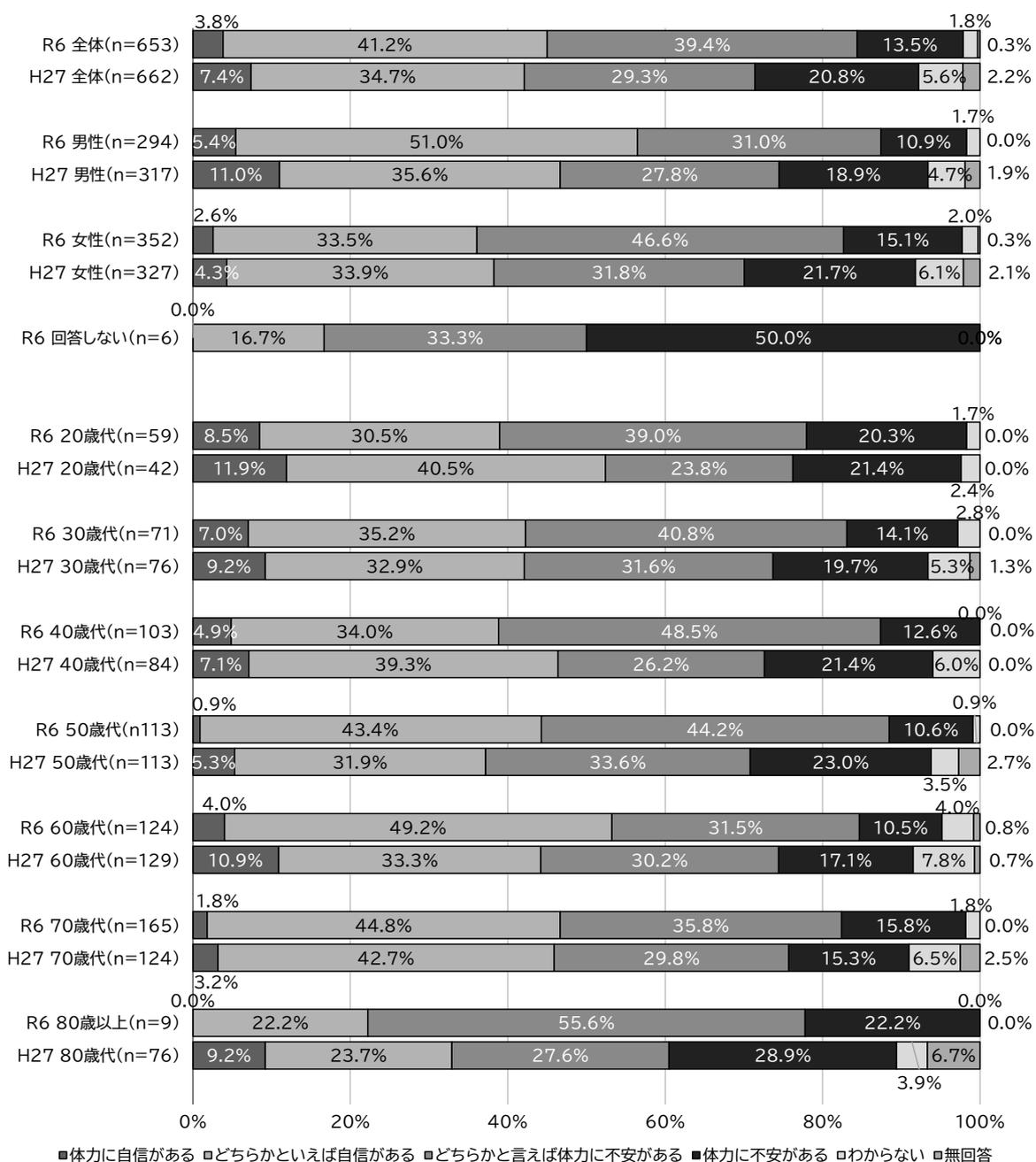


資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

## 6) 体力と運動不足に対する認識

市民の体力についての意識をみると、「体力に自信がある」が3.8%、「どちらかといえば体力に自信がある」が41.2%となっています。性別にみると、男性と比べて、女性の「体力に自信がある」「どちらかといえば体力に自信がある」の割合が特に低くなっています。平成27年と比較すると、「体力に不安がある」と答えた人の割合は7.3ポイント減少しています。

### ●体力に対する認識

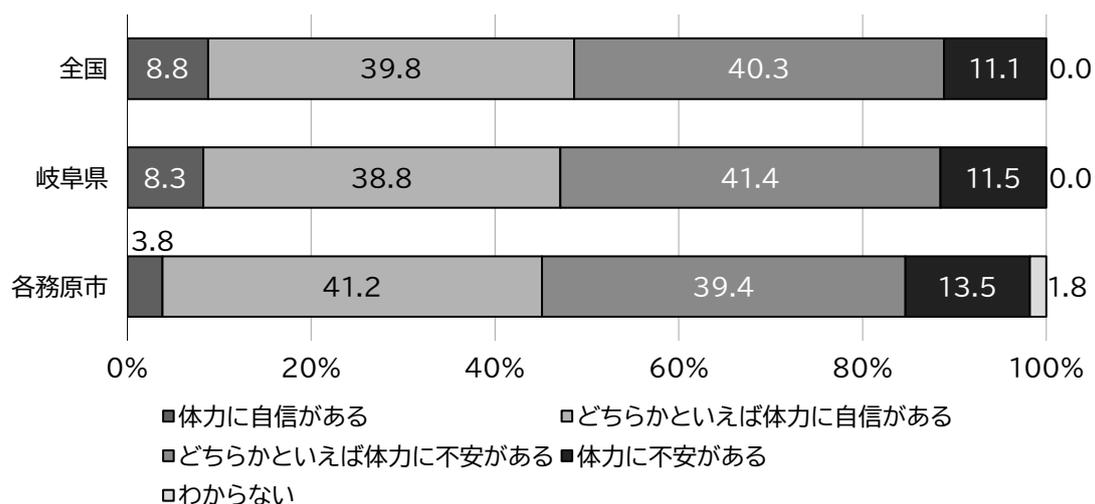


資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）  
各務原市 平成27年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

● 体力に対する意識の全国および岐阜県との比較

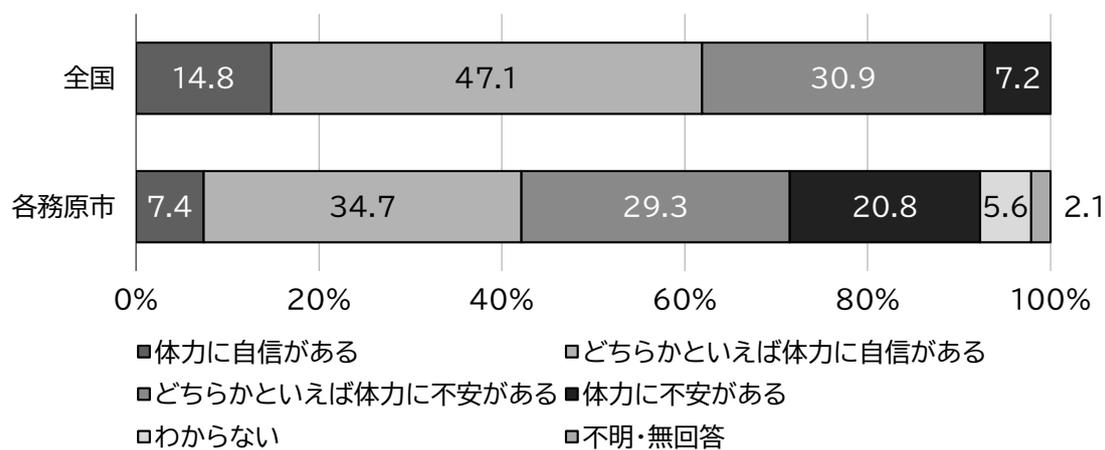
体力に対する意識について全国や岐阜県と比較すると、「どちらかといえば体力に不安がある」「体力に不安がある」の割合は全国や岐阜県と同水準となっています。

令和6年



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）  
 全国・岐阜県 令和5年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」

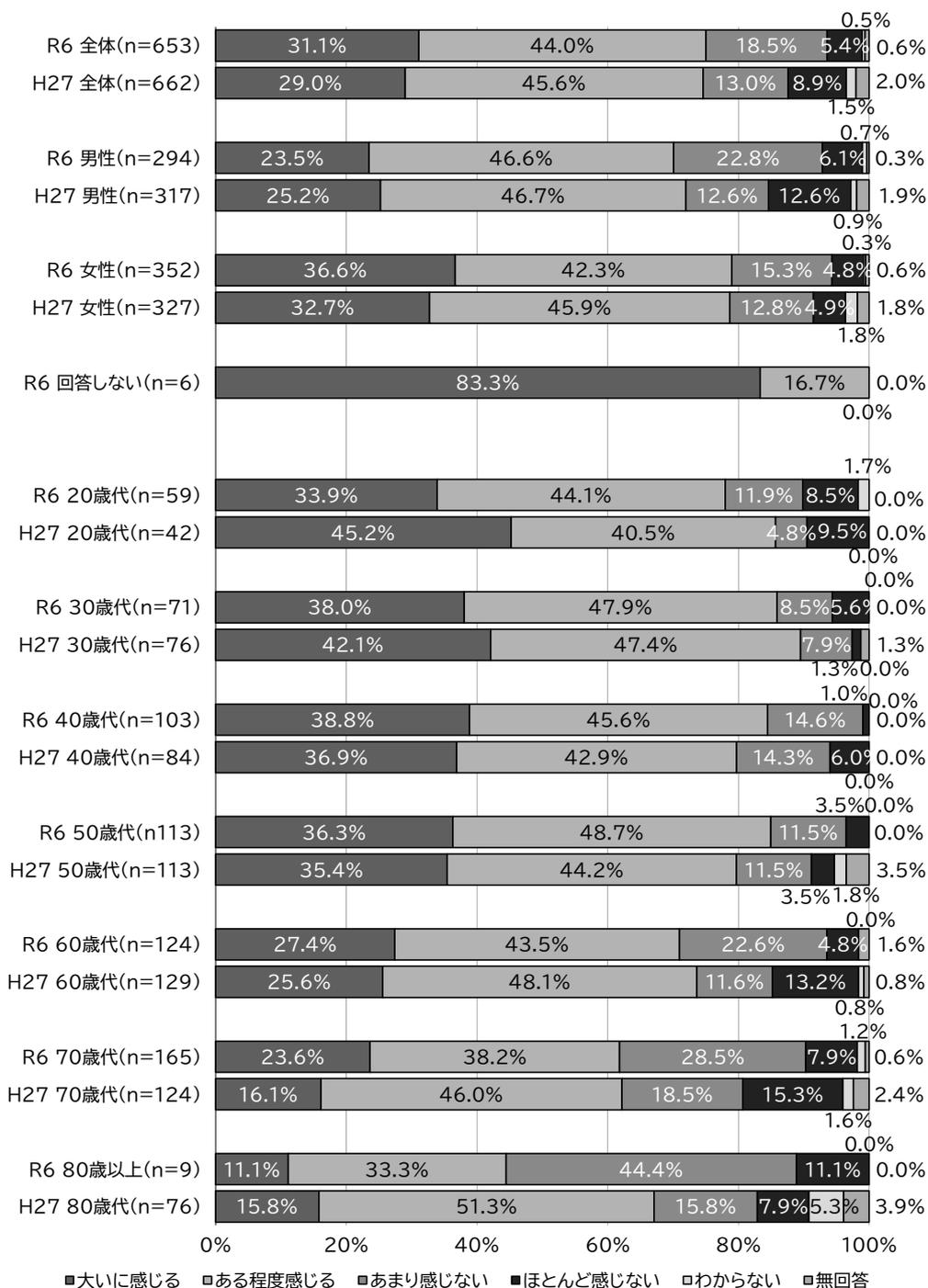
平成27年



資料：各務原市 令和27年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）  
 全国 平成24年 体力・スポーツに関する世論調査

●運動不足に対する認識

市民の運動不足についての意識をみると、「大いに感じる」が31.1%、「ある程度感じる」が44.0%となっています。性別にみると、男性と比べて、女性の「大いに感じる」「ある程度感じる」の割合が高くなっています。

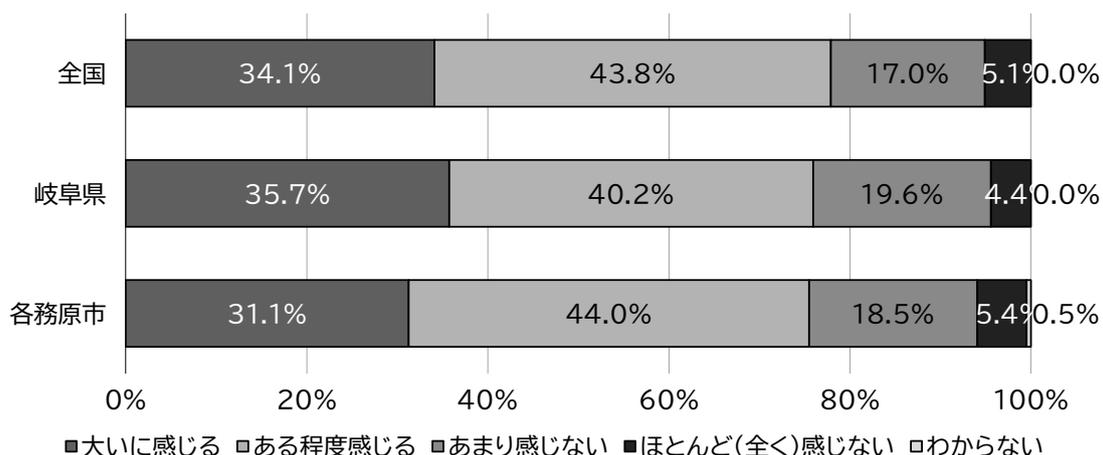


資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

● 運動不足に対する認識の全国および岐阜県との比較

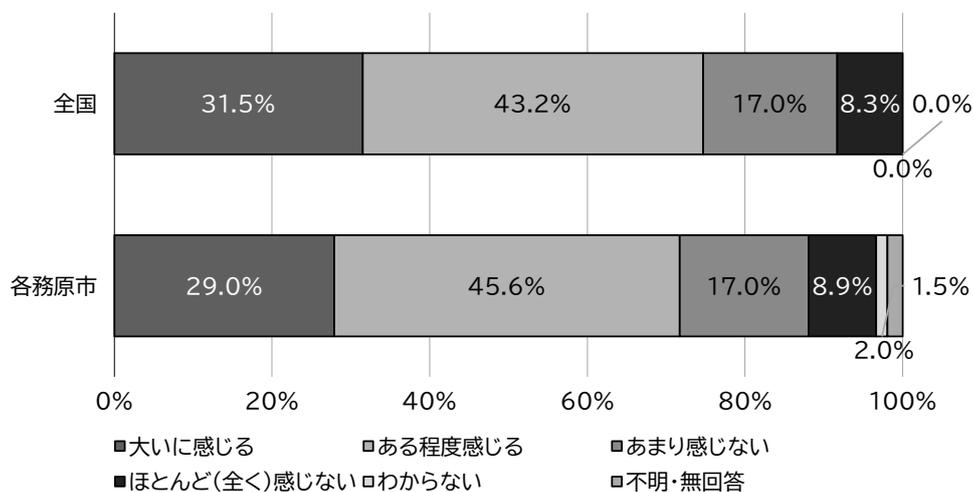
運動不足に対する認識について全国や岐阜県と比較すると、「大いに感じる」「ある程度感じる」の割合は全国や岐阜県と同水準となっています。

令和6年



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）  
 全国・岐阜県 令和5年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」

平成27年

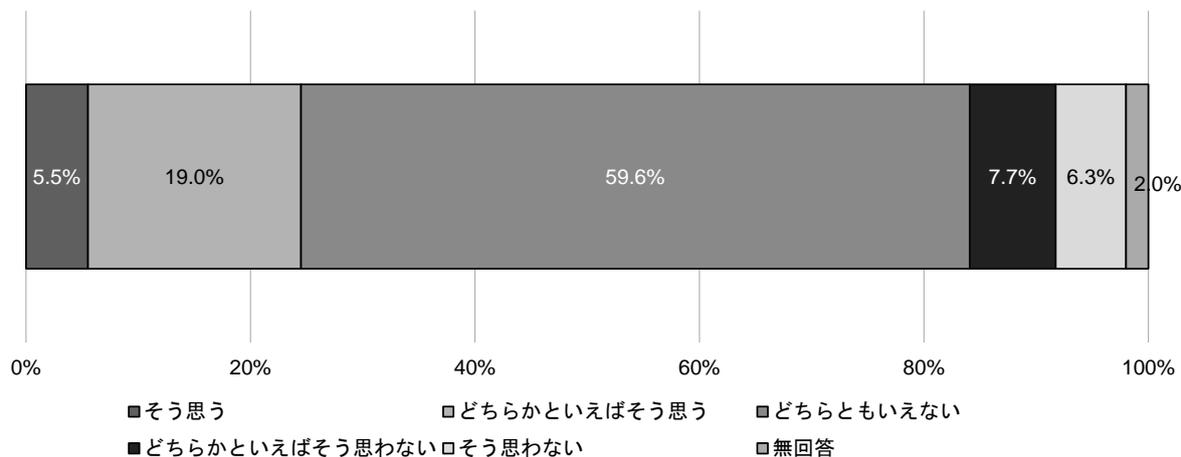


資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）  
 全国 平成24年 体力・スポーツに関する世論調査

## 7) スポーツを通じた健康まちづくりについて

令和6年度に実施したスポーツ推進に関するアンケート結果をみると、各務原市はスポーツと健康づくりを推進するまちであるに対して、「そう思う」の割合は5.5%、「どちらかといえばそう思う」の割合は19.0%となっています。また、「どちらともいえない」と回答している人の割合が6割近くとなっています。

### ●各務原市はスポーツと健康づくりを推進するまちであると思っている人の割合



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

### ●若者のスポーツに関する諸団体の意見（抜粋）

- ・スポーツそのものをする若者が減少している。
- ・スポーツをしている人としていない人が両極端になってきている。
- ・コロナ禍を経て、若者のスポーツをするための体力、精神力が低下している可能性がある。
- ・学校を卒業してもスポーツを続けられる環境が必要。

資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（団体向け）

### 大人のするスポーツに関する現状と課題 まとめ

1. 本市のスポーツ実施率は前計画策定時と比べて上昇しているものの、国や岐阜県と比べて、低調となっています。また、国や岐阜県と比べて、スポーツをしない人の割合が高くなっており、体を動かすことの重要性に関する周知・啓発に努め、市民のスポーツ参加を促すことが必要です。
2. スポーツを実施していない理由やスポーツをするときに支障になっていることとして、「時間の確保」が最も多くなっています。スキマ時間運動・ながら運動を普及し、日常

にスポーツを溶け込ませることが重要です。

3. 各務原市はスポーツと健康づくりを推進するまちであると思うかに対して、「どちらともいえない」が6割を超えており、より一層、スポーツ・健康まちづくりを推進し、すべての市民にも認知してもらい、また実施する環境を整えていく必要があります。

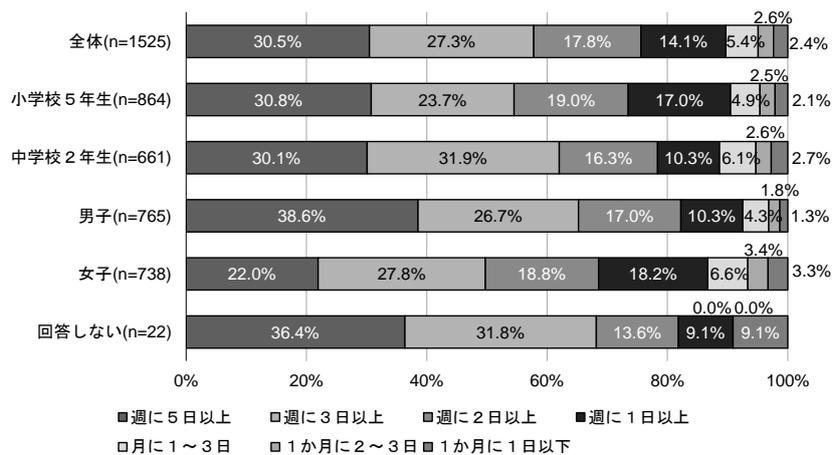
## ②子どものするスポーツに関する現状と課題

### 1) 子どものスポーツ実施頻度について

スポーツをする頻度については、中学生の「週5日以上」「週3日以上」の割合が小学生と比べて多くなっており、男女別では男子が「週5日以上」割合が4割近く、女子では2割以上となっています。平成27年度と比較すると、中学生の「週5日以上」の割合が下がっており、部活動実施の変化、授業後の時間の多様性が生まれていることが見受けられます。スポーツへの好感度については、「やや嫌い、嫌い」の割合が、小学生よりも中学生に多く、男子よりも女子が多くなっています。一方で、スポーツを「好き」と答えた人は平成27年度と比較して、どの区分でも増えています。なお、スポーツを「大切」だと思っている人は女子よりも男子が多くなっています。

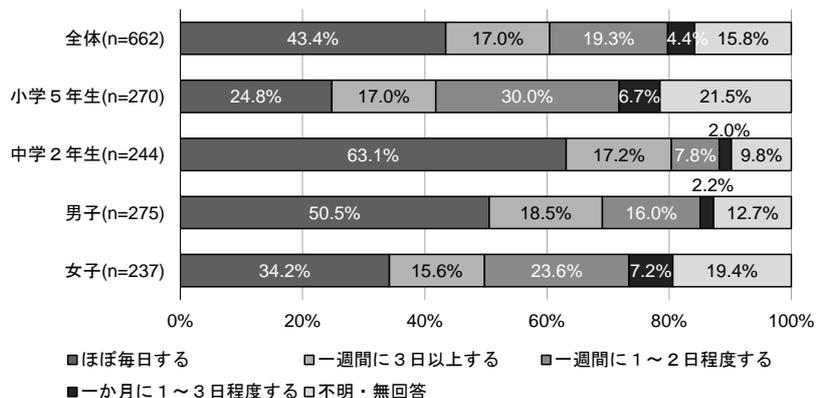
### ●問：スポーツをする頻度

令和6年



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（小・中学生向け）

平成27年



●問：スポーツをする場所

令和 6 年

	市内の公共スポーツ施設	市内の民間スポーツ施設	学校のグラウンド	学校の体育館	公園や広場	自宅	自宅近所の道路や空き地	市外のスポーツ施設	その他	無回答
全体 (n=1525)	28.0%	11.8%	31.3%	26.8%	29.2%	36.3%	21.4%	14.0%	5.5%	0.2%
小学 5 年生 (n=864)	24.8%	10.8%	31.6%	19.7%	33.3%	38.0%	18.9%	12.2%	6.3%	0.3%
中学 2 年生 (n=661)	32.2%	13.2%	30.9%	36.2%	23.9%	34.2%	24.7%	16.5%	4.5%	0.0%

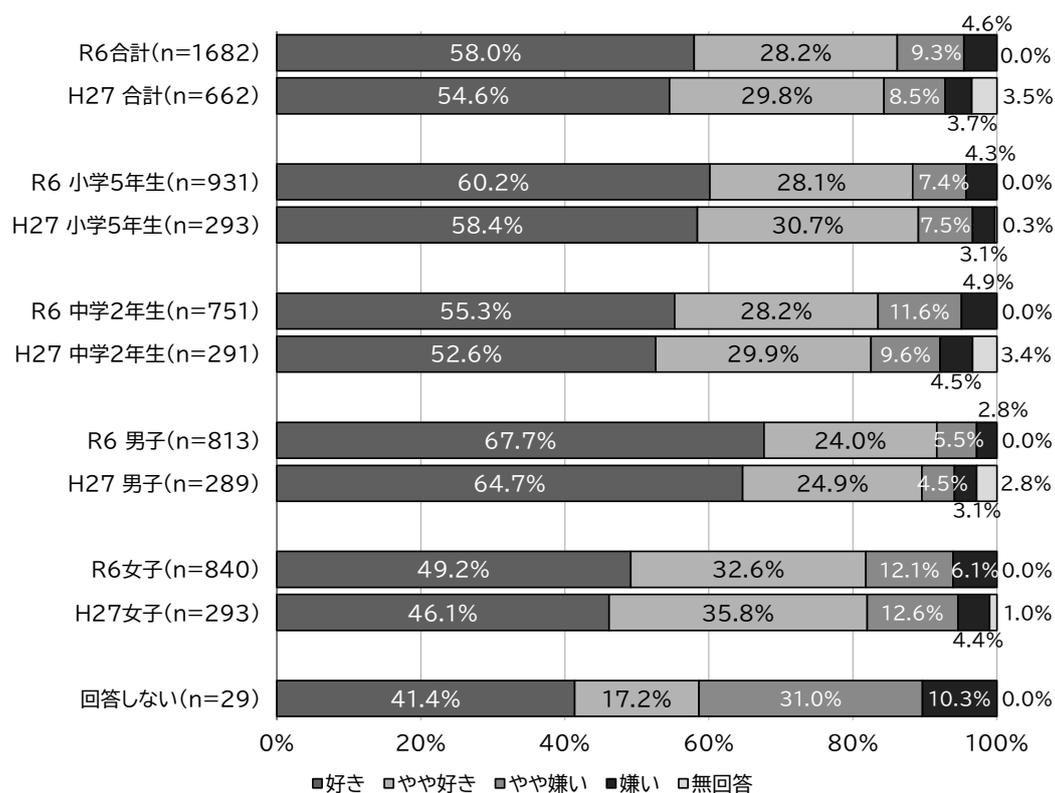
平成 27 年

	市内の公共スポーツ施設		学校のグラウンド	学校の体育館	公園や広場	自宅	自宅近所の道路や空き地	市外の施設	その他	不明・無回答
全体 (n=518)	29.5%		39.6%	23.2%	24.3%	20.8%	21.6%	12.5%	11.4%	7.1%
小学 5 年生 (n=270)	22.2%		27.4%	15.9%	31.5%	21.5%	24.1%	11.9%	13.7%	6.7%
中学 2 年生 (n=244)	37.3%		52.0%	31.6%	16.8%	20.5%	18.9%	13.5%	9.0%	7.8%

資料：各務原市 令和 6 年 スポーツ推進に関するアンケート結果（小・中学生向け）

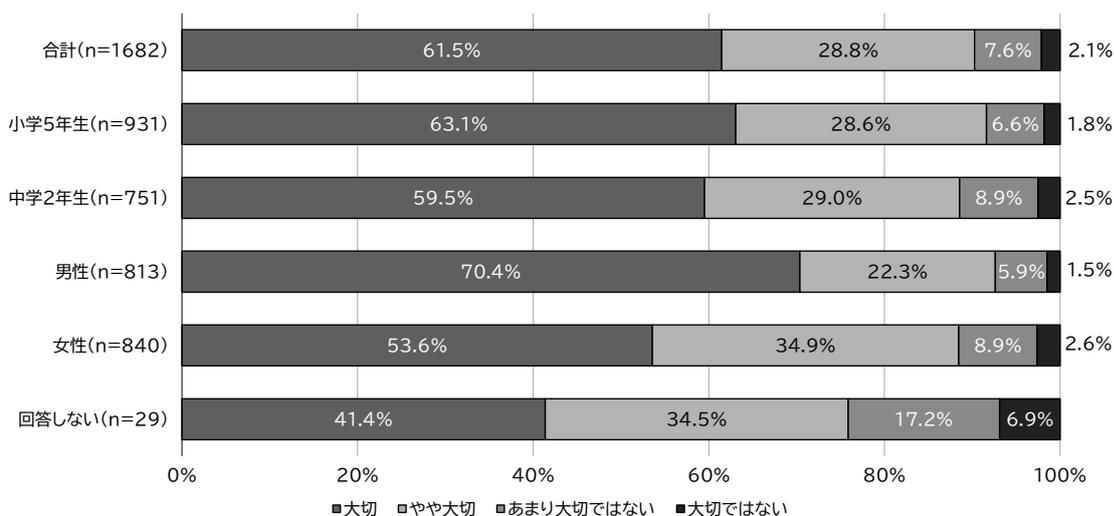
各務原市 平成 27 年 スポーツ推進に関するアンケート結果（小・中学生向け）

## ●スポーツを好きと感じている人の割合



資料：各務原市 平成 27 年 スポーツ推進に関するアンケート結果（小・中学生向け）  
各務原市 令和 6 年 スポーツ推進に関するアンケート結果（小・中学生向け）

## ●スポーツを大切だと思っている人の割合



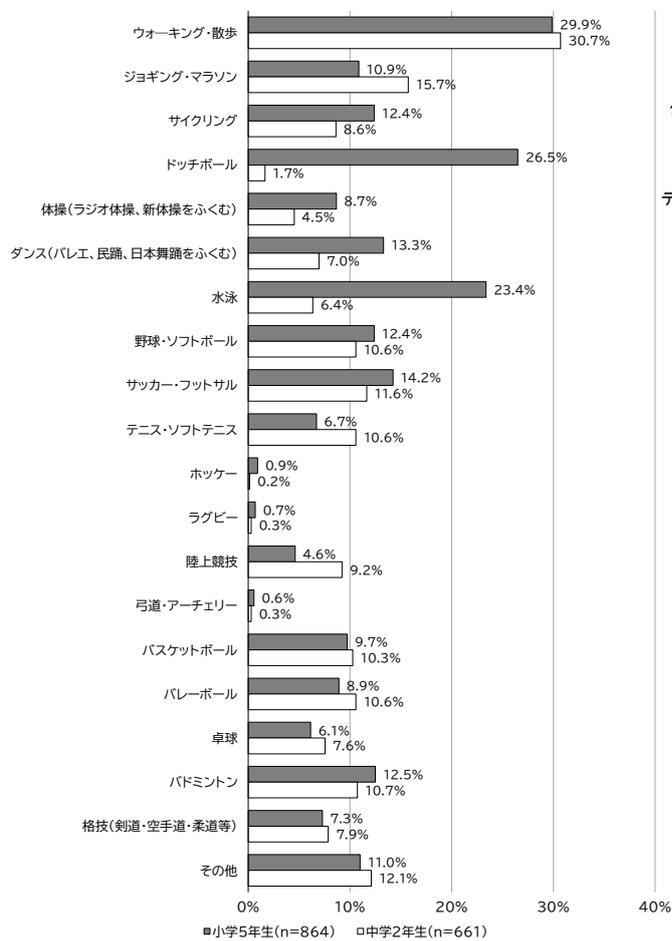
資料：各務原市 平成 27 年 スポーツ推進に関するアンケート結果（小・中学生向け）  
各務原市 令和 6 年 スポーツ推進に関するアンケート結果（小・中学生向け）

## 2) 種目について

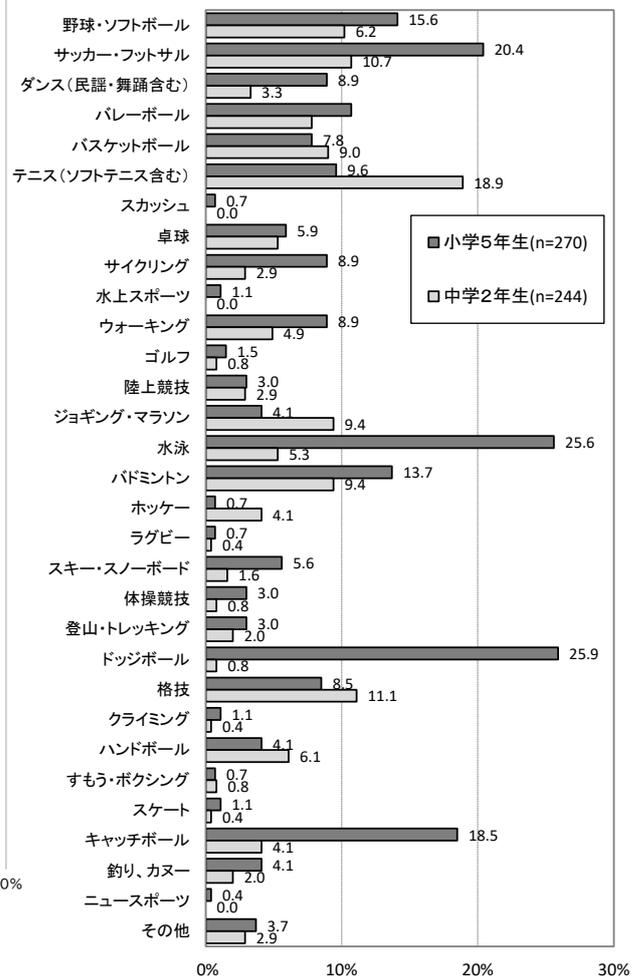
平成 27 年に実施した小学 5 年生と中学 2 年生を対象としたスポーツ推進に関するアンケートをみると、日頃行っているスポーツ種目は、全体として「ウォーキング・散歩」や「ジョギング・マラソン」が多くなっています。学年別に見ると、小学生で「ドッジボール」や「水泳」が多くなっています。また、これからしてみたいスポーツ種目は、「バドミントン」が最も多くなっています。

### ●日頃からしている運動やスポーツについて

#### 令和 6 年



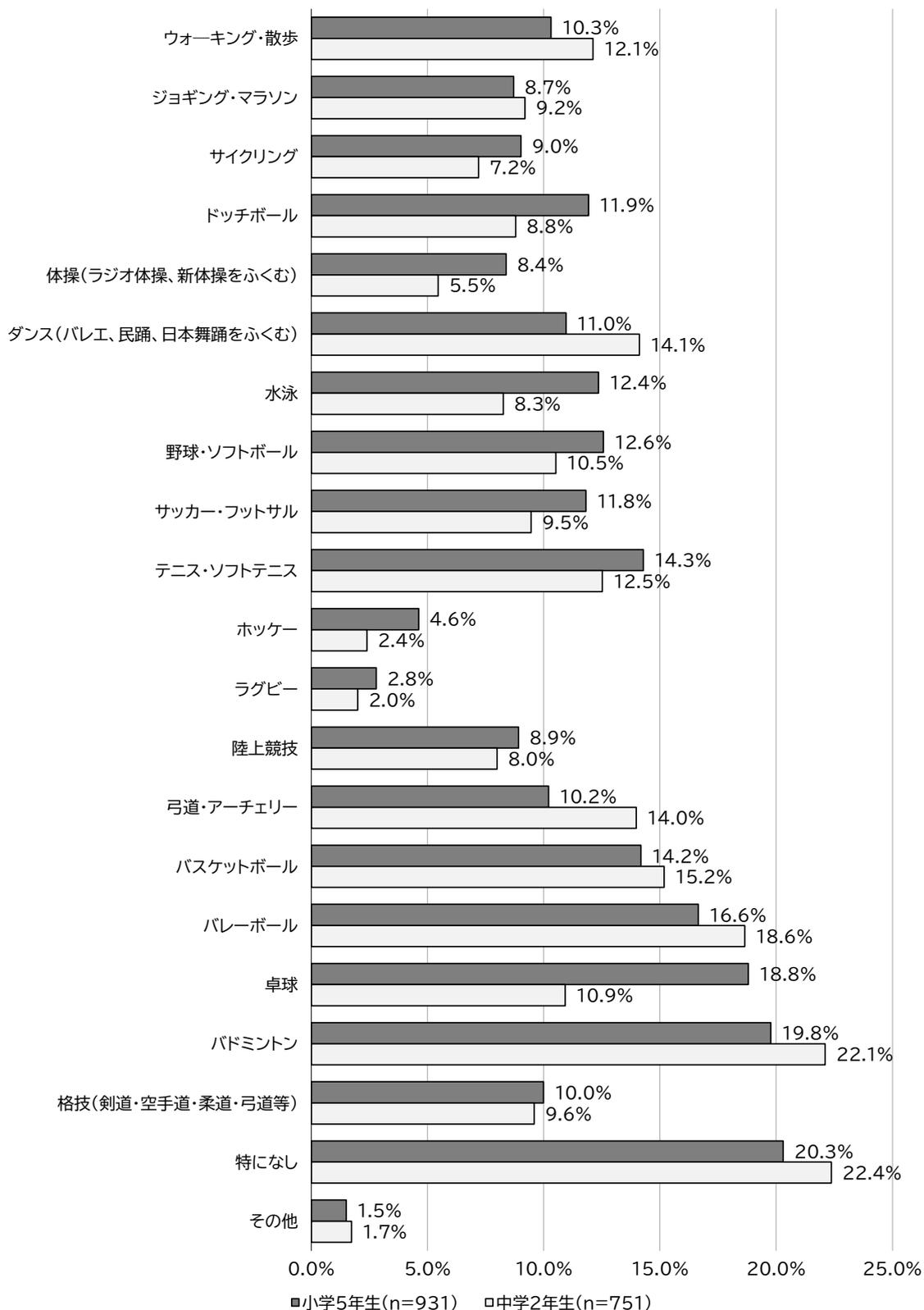
#### 平成 27 年



資料：各務原市 平成 27 年 スポーツ推進に関するアンケート結果（小・中学生向け）

各務原市 令和 6 年 スポーツ推進に関するアンケート結果（小・中学生向け）

●これからしてみたい運動やスポーツについて



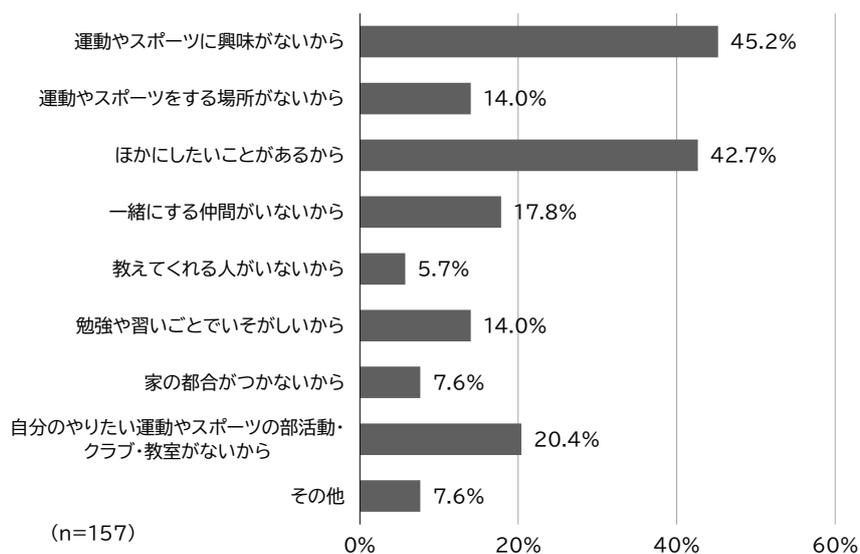
資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（小・中学生向け）

### 3) スポーツをしない理由

「スポーツをしない」と答えた 157 人に理由を聞いたところ、「運動やスポーツに興味がないから」が最も多く、次いで「ほかにしたいことがあるから」となっています。一方で、平成 27 年と比較すると、「勉強に影響するから」「勉強や習い事で忙しいから」という回答が減っています。

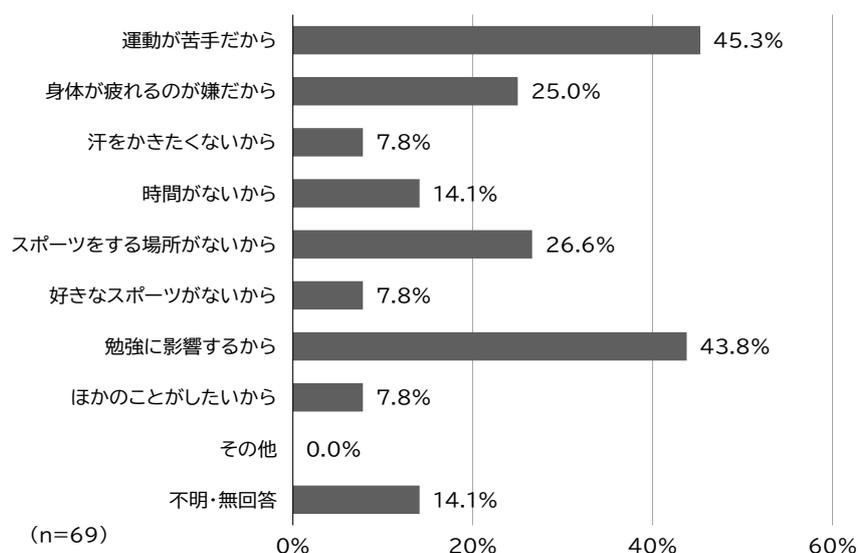
#### ●問：スポーツをしない理由

##### 令和 6 年



資料：各務原市 令和 6 年 スポーツ推進に関するアンケート結果（小・中学生向け）

##### 平成 27 年



資料：各務原市 平成 27 年 スポーツ推進に関するアンケート結果（小・中学生向け）

#### 4) 子どもの体力・運動能力について

令和5年度に実施した小中学生の体力テストの結果をみると、本市では、小学生、中学生ともに、長座体前屈や50m走で国や岐阜県の平均値を上回っています。一方、小学生では20mシャトルラン、立ち幅とび、中学生では上体起こしが国や岐阜県の平均値を下回る結果となっています。

	・国・県をともに上回る
	・国・県をともに下回る

#### ●令和5年度 体力テストの結果の比較

小学5年生男子	各務原市	岐阜県	全国
握力(kg)	16.31(変化量)	15.93	16.13
上体起こし(回)	18.67	18.67	19.00
長座体前屈(cm)	34.78	34.18	33.98
反復横とび(点)	41.48	40.62	40.60
20mシャトルラン(回)	43.45	44.39	46.92
50m走(秒)	9.44	9.49	9.48
立ち幅とび(cm)	147.62	149.55	151.13
ソフトボール投げ(m)	20.08	20.87	20.52

小学5年生女子	各務原市	岐阜県	全国
握力(kg)	16.00	15.83	16.01
上体起こし(回)	17.82	17.89	18.05
長座体前屈(cm)	38.69	38.14	38.45
反復横とび(点)	38.90	38.88	38.73
20mシャトルラン(回)	33.74	34.76	36.80
50m走(秒)	9.67	9.70	9.71
立ち幅とび(cm)	140.87	143.47	144.29
ソフトボール投げ(m)	13.87	13.99	13.22

中学2年生男子	各務原市	岐阜県	全国
握力(kg)	30.79	29.15	29.02
上体起こし(回)	24.94	25.69	25.82
長座体前屈(cm)	45.31	44.94	44.16
反復横とび(点)	51.82	51.88	51.22
50m走(秒)	7.89	7.97	8.01
立ち幅とび(cm)	199.93	198.17	197.02
ハンドボール投げ(m)	21.18	20.51	20.40

中学2年生女子	各務原市	岐阜県	全国
握力(kg)	24.28	23.49	23.15
上体起こし(回)	21.04	21.14	21.62
長座体前屈(cm)	47.74	46.95	46.27
反復横とび(点)	47.37	46.29	45.65
50m走(秒)	8.78	8.91	8.95
立ち幅とび(cm)	172.16	167.27	166.34
ハンドボール投げ(m)	13.18	13.01	12.43

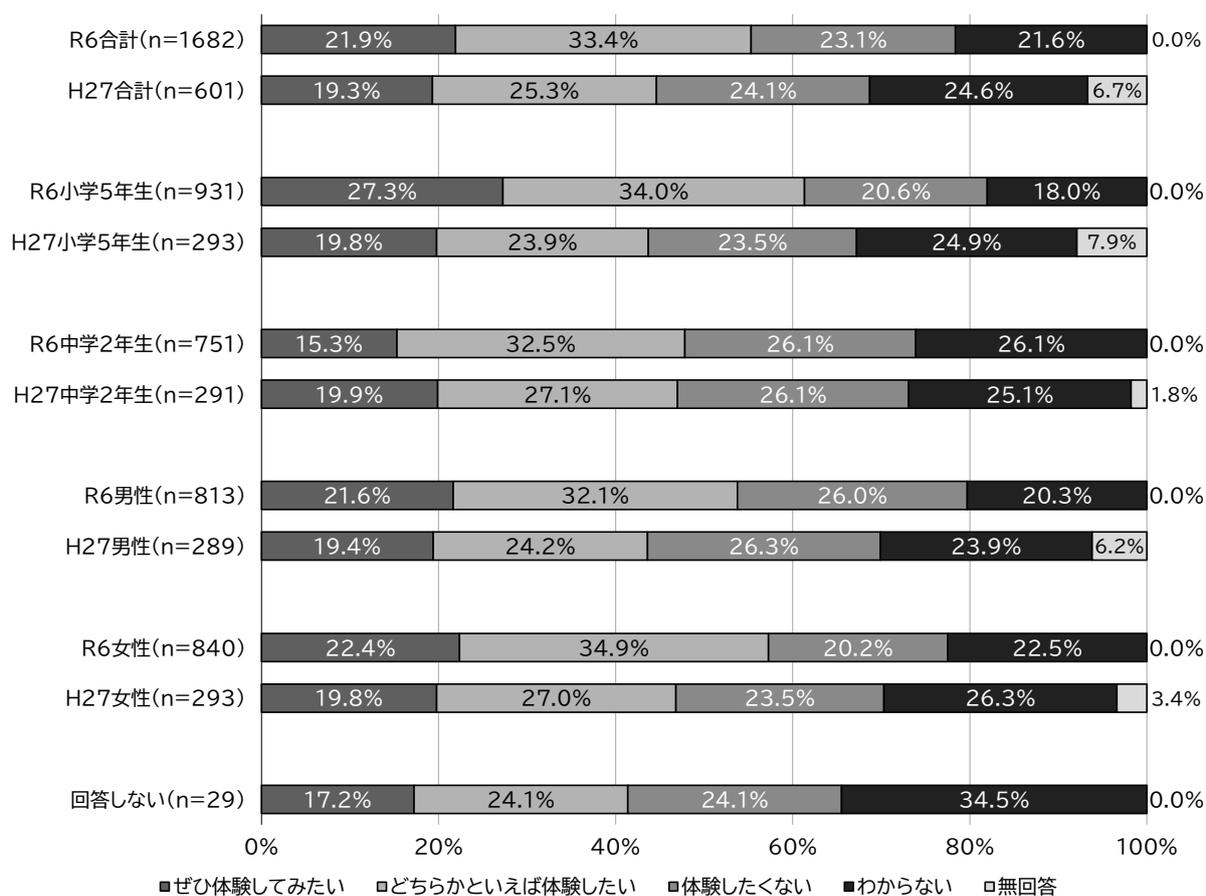
資料：各務原市 学校教育課（令和5年度）

全国・岐阜県 スポーツ庁「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果」

### 5) 各務原ならではのスポーツ機会創出について

本市では、ホッケー競技が盛んであり、オリンピックなどの国際的な大会に選手やコーチを派遣しています。トップレベルの選手や指導者からホッケー指導を受けられる体験への参加意向については、「ぜひ体験してみたい」「どちらかといえば体験したい」が5割を超えており、平成27年と比較しても増加していることから、本市ならではのスポーツ機会の創出を検討する必要があります。

#### ●日本代表の選手やコーチのもとでホッケーを体験してみたいと思っている人の割合

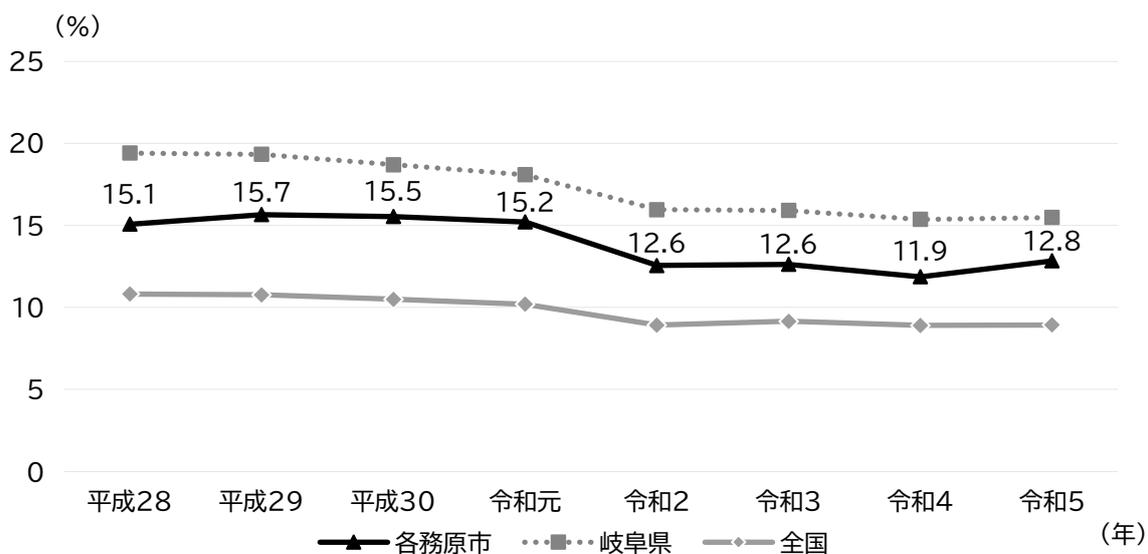


資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（小・中学生向け）  
各務原市 平成27年 スポーツ推進に関するアンケート結果（小・中学生向け）

## 6) スポーツ少年団の加入状況

スポーツ少年団は、小学生のスポーツ振興に寄与し、心身の健全な育成を図っています。本市のスポーツ少年団の団員加入率は、全国を上回って推移しているものの、岐阜県と比べて低調となっています。また、平成28年以降、減少傾向となっており、令和5年では12.8%となっています。

### ●スポーツ少年団の団員加入率の推移（各務原市、全国平均、岐阜県）



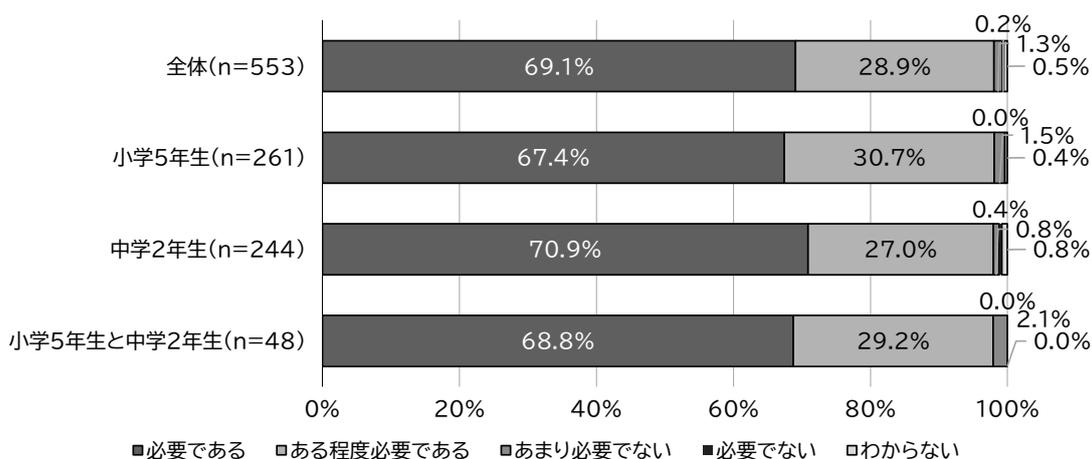
資料：各務原市 スポーツ課、教育委員会総務課  
全国、岐阜県 JSPO（公益財団法人日本スポーツ協会）「スポーツ少年団 登録状況」  
文部科学省「学校基本調査」

## 7) 子どもスポーツの必要性に対する保護者の意見

子どもスポーツの必要性に対する保護者の意見をみると、「する」・「みる」・「ささえる」いずれのスポーツも「必要である」「ある程度必要である」と答えた保護者が8割を超えています。特に「する」スポーツに関しては7割弱の保護者が「必要である」と答えています。

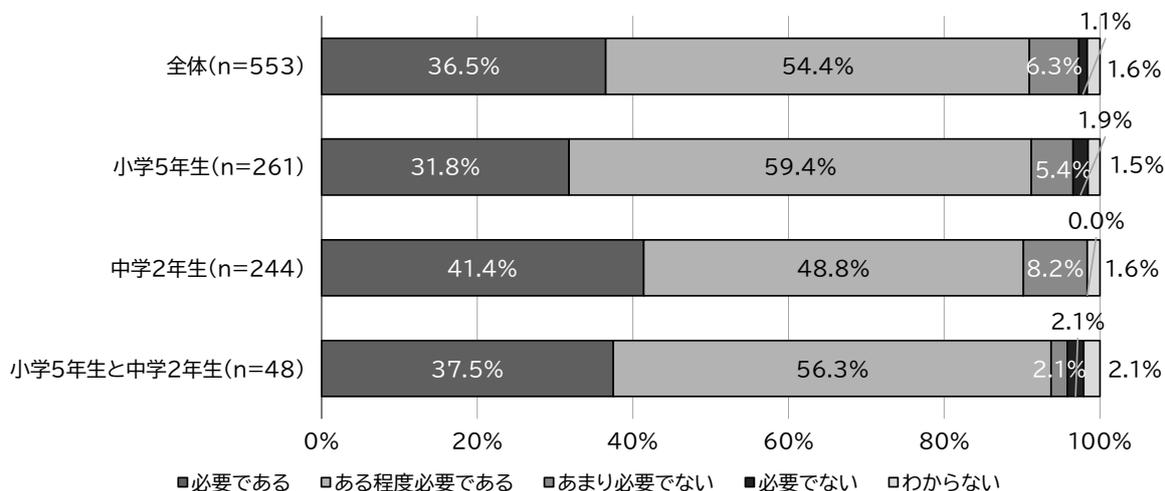
### ●子どもスポーツの必要性に対する保護者の意見

「する」スポーツに関して



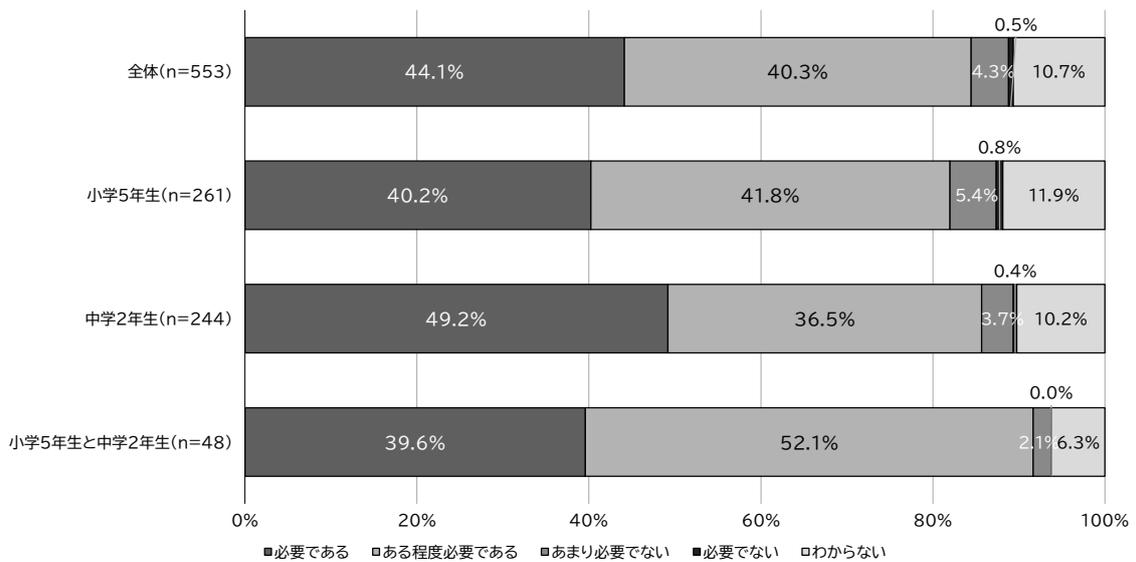
資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（保護者向け）

「みる」スポーツに関して



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（保護者向け）

「ささえる」スポーツに関して



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（保護者向け）

●子どものスポーツに関する諸団体の意見（抜粋）

- ・スポーツをしている子どもとしていない子どもが二極化している。
- ・部活動の地域移行に伴う指導者への報酬、運営費といった資金面での配慮・対応が必要。
- ・保護者の都合でスポーツができない子どもがいる。
- ・スポーツを通じてメンタルの強い子どもを育む環境が必要。
- ・熱中症対策など、スポーツをする環境の支障となる事への対応が必要である。

資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（団体向け）

## 子どものするスポーツに関する現状と課題 まとめ

1. スポーツする頻度については、「週に5日以上」の割合は、小学生と中学生がほぼ同程度となり、「ほぼ毎日する」の数値が中学生の方が上回っていた平成27年度からの変化といえます。自宅以外では、小学生は主に公園・広場において、中学生は主に学校（グラウンド、体育館）において部活を通じたスポーツをする傾向がみられるほか、中学生の市内公共スポーツ施設の値も比較的高い傾向にあります。
2. スポーツ種目については、「ドッチボール」といったレクリエーション要素の強いものの他、「水泳」、「ダンス」といった習い事の種目も顕著ですが、中学生の値は低く、小学生と中学生の違いが顕著に表れています。
3. スポーツをしない理由としては、「運動やスポーツに興味がないから」「ほかにしたいことがあるから」が、小・中学生ともに平成27年度に比べてより顕著になり、学習・生活を除く余暇時間の使い方への変化が見て取れます。「自分のやりたい運動やスポーツの部活動・クラブ・教室がないから」については、スポーツの実施環境を整えることで解消ができる課題と捉えます。
4. スポーツテストの結果では、国・県の記録を上回る種目もあれば、下回る種目もあり、今後も総合的に体力レベルの向上と保健体育授業の充実に努める必要があります。
5. ホッケー競技において、日本代表の選手やコーチに教えてもらいたいと思う小学生は半数を越えており、幼少期からのトップレベルのプレーに触れる体験を通じて、次世代のホッケー選手の発掘・育成に繋がる可能性があります。
6. スポーツ少年団の加入率は、全国を上回るものの、岐阜県の平均を下回り、また平成27年度よりも減少しており、必ずしも団体に所属しないスポーツの実施についても検討をする必要性があります。

### ③ 高齢者や障がい者のスポーツに関する現状と課題

#### 1) 高齢者のスポーツ参加についての実態

高齢者のスポーツについては、各地でウォーキングやグラウンド・ゴルフなどが行われています。また、令和4年度からは「運動で筋力づくり」や「外出と交流」を目的としたフレイル予防ウォーキングを開始しました。令和5年度の参加者数は800人となっており、増加傾向にあります。一方で、ペタンクを除き、コロナ禍以降、参加者数が戻りきっていない状況です。

#### ● 高齢者スポーツ大会参加者数

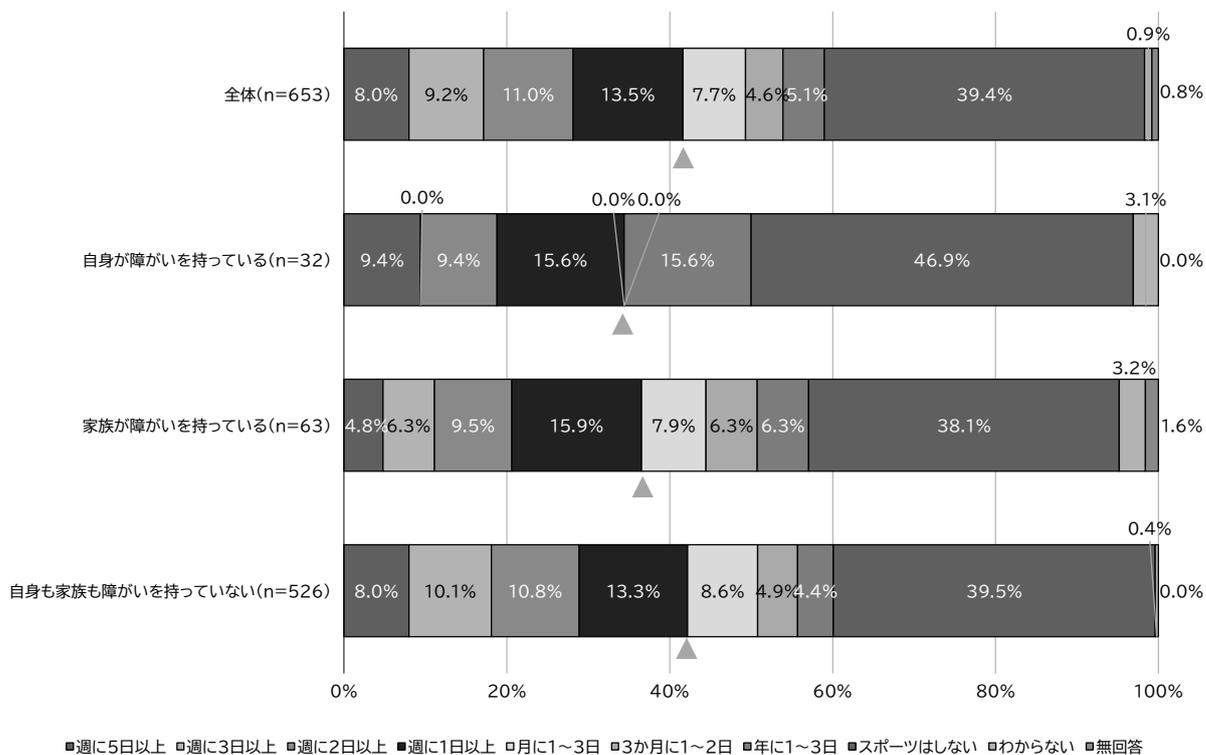
(単位：人)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
グラウンド・ゴルフ	534	543	538	532	未実施	未実施	492	44
クロッケー (1チーム5名)	575	575	575	575	未実施	未実施	未実施	240
クロリティー (1チーム5名)	480	480	480	480	未実施	未実施	未実施	未実施
ペタンク (1チーム3名)	144	144	144	144	144	144	144	144
フレイル予防 ウォーキング	-	-	-	-	-	-	598	800
合計	1,733	1,742	1,737	1,731	144	144	1,234	1,228

資料：高齢福祉課

## 2) 障がい者のスポーツ実施率について

令和6年度に実施したスポーツ推進に関するアンケート結果をみると、「自身が障がいを持っている」「家族が障がいを持っている」と答えた人は、「自身も家族も障がいを持っていない」と答えた人と比較して週に1日以上スポーツを行っている割合が低くなっています。



※自身が障がいを持っている (n=32) は10歳代を含む

資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

### 3) 障がい者スポーツについての実態

障がい者のスポーツについては、全国障がい者スポーツ大会に複数競技が参加しており、バレーボールへの参加実績が多くなっています。また、岐阜ブロック交流運動会については、令和3年度より身体障がい者岐阜Bブロックグラウンド・ゴルフ大会として実施していることから、参加者数は減少しています。現在各種大会で活躍している選手に対する支援のみならず、トップレベルの次世代パラスポーツアスリートの育成が可能な環境づくりが求められています。

#### ●全国障がい者スポーツ大会参加者数

(単位：人)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
陸上競技	-	-	2	-	-	3	2	1
卓球	-	-	-	-	-	1	1	2
ソフトボール	-	-	3	-	-	-	-	1
バレーボール	-	-	-	-	-	6	7	7
聴覚バレーボール女子	-	-	1	-	-	-	-	-
フライングディスク	-	-	1	-	-	-	-	1

資料：社会福祉課

#### ●岐阜ブロック交流運動会参加者数

(単位：人)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
岐阜ブロック交流運動会	20	21	19	17	中止	中止	-	11

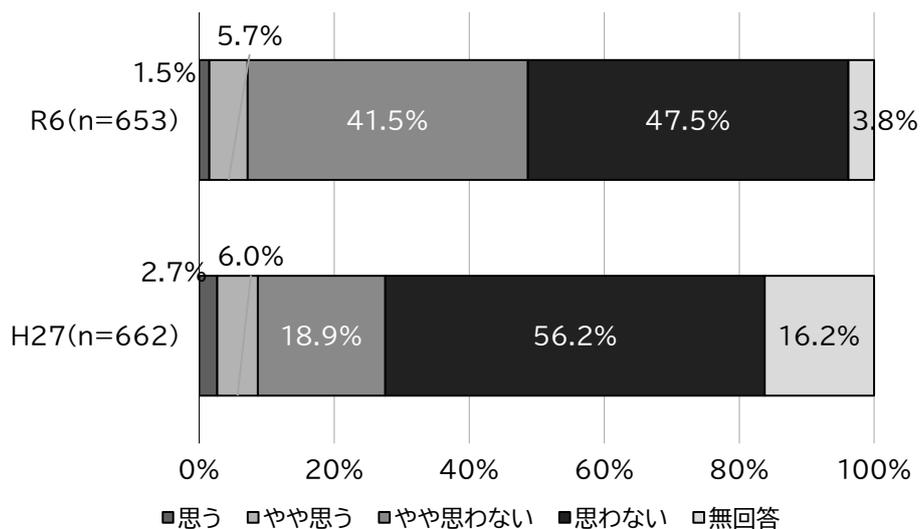
資料：社会福祉課

※令和2年度で岐阜ブロック交流運動会は終了。令和3年度より「身体障がい者岐阜Bブロックグラウンド・ゴルフ大会」の名称で実施。

#### 4) 障がい者スポーツの普及状況について

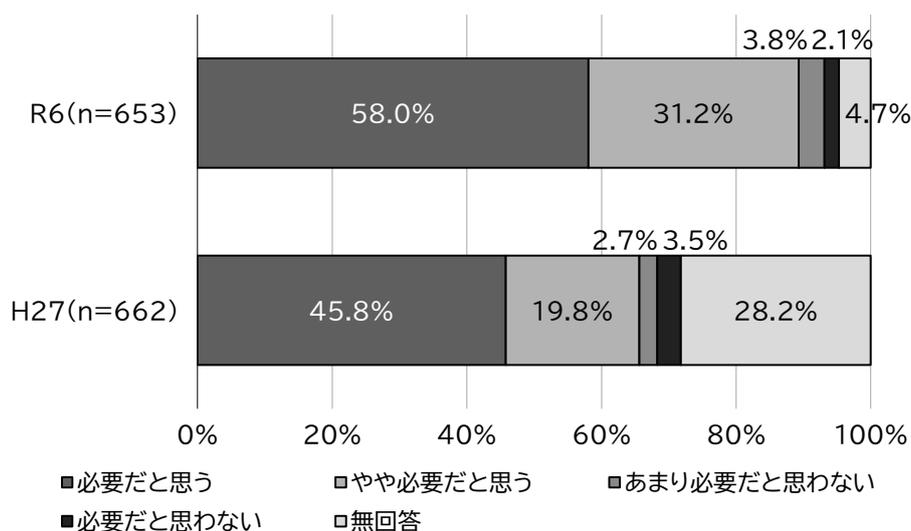
障がい者のスポーツについての意見では、平成 27 年と比較して障がい者スポーツに対する関心が高まっていることに伴い、活動支援の不足を感じている人が多いことがわかります。また、障がい者とその家族等の周囲の人たちの理解を促し、サポートできる環境が求められています。

#### ●職場や住んでいる地域で障がいのある人たちのスポーツ活動が普及していると思う人の割合



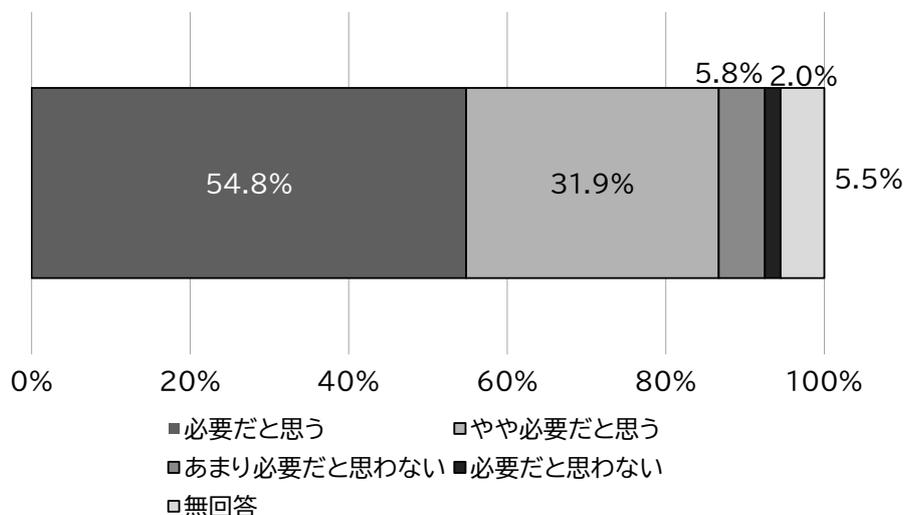
資料：各務原市 令和 6 年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

#### ●障がい者スポーツのための施設整備や専用備品等の充実が必要だと思う人の割合



資料：各務原市 令和 6 年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

● 障がい者スポーツ普及促進への本人（家族）以外のサポート・理解醸成



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

● 高齢者のスポーツに関する諸団体の意見（抜粋）

- ・シニアクラブの会員が減少している。
- ・生涯スポーツができる、移動手段も含めた環境整備が必要。
- ・高齢者から新しいスポーツに取り組むのは負担でもあり、取り組みやすい軽スポーツを楽しんでもらう。

資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（団体向け）

● 障がい者スポーツに関する諸団体の意見（抜粋）

- ・障がい者向けの施設のバリアフリー対応が必要。
- ・障がい者スポーツの指導者の育成とサポート体制が課題。
- ・障がい者向けのスポーツのPRが必要。

資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（団体向け）

高齢者や障がい者のスポーツに関する現状と課題 まとめ

1. 高齢者向けのスポーツイベントは、経年で行われていたものがコロナ禍により休止となり、その後、休止前の水準には至っていません。さらには、近年の夏季の猛暑など、屋外での活動が支障となっている他、シニア団体における会員も減少しています。
2. 障がい者のスポーツ推進について、スポーツ実施率では、4割が「スポーツをしない」と回答しており、誰もがスポーツに触れられるアクセスのしやすさへの課題が顕著となっています。また、バレーボールにおける全国大会参加者が近年増えており、障がい者アスリートへの支援や育成に取り組むとともに、より多くの障がい者がスポーツを楽し

める環境づくりが求められています。

3. 障がい者のスポーツ環境については、「普及していない」と感じている市民が半数を超えています。障がい者スポーツを行う機会が提供されることや、本人（家族）以外のサポート・理解醸成も必要と捉えられており、広く周知と理解を図る必要があります。

#### ④「スポーツイベントやスポーツ教室」に関する現状と課題

##### 1) 主なスポーツ大会の参加者数

平成 28 年度からのスポーツイベント参加者数推移をみると、「スポーツげんき祭」はコロナ禍以前から減少傾向にあることがうかがえます。「かかみがはらシティマラソン」については、コロナ禍等で中止されたこともあり、参加者数が戻りきっていない状況です。

##### ●主なスポーツ事業の参加者数

(単位：人)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
スポーツげんき祭	2,136	2,288	2,185	1,360	896	857	290	531
かかみがはら DE ウォーキング	717	977	972	950	934	1,259	1,126	1,186
かかみがはらシティマラソン	3,473	3,891	3,309	中止	中止	中止	2,276	2,659

資料：スポーツ課

※令和元年度スポーツげんき祭は雨天により午後中止。

令和 4 年度、令和 5 年度スポーツげんき祭は雨天によりグラウンド・ゴルフのみの実施。

## 2) スポーツスクール事業の実績

生涯スポーツの振興を図るため、初心者が気軽にスポーツに参加できる各種スポーツスクールを開催しています。令和5年度をみると、「ホッケー（2回開催）」が153人で最も多く、次いで「オーレサッカー」、「いきいきバドミントン」となっています。

### ●スポーツスクール事業実績の推移

(単位：人)

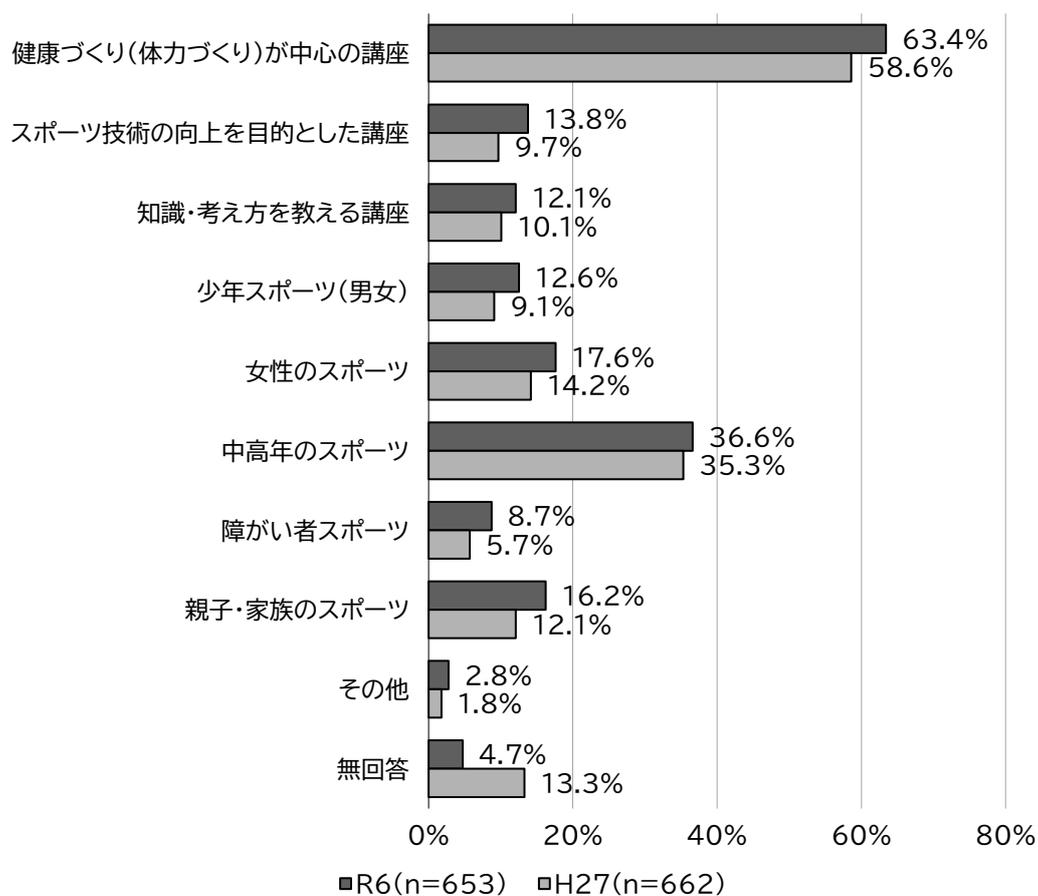
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
みんなでラジボール卓球	14	H29年度に終了						
かるやかに硬式テニス	20	20	20	20	R2年度に終了			
あざやか弓道	16	15	15	19	15	15	15	15
エンジョイバスケットボール	30	32	15	30	中止	15	20	13
さわやか太極拳(2回開催)	19	25	24	26	12	37	26	20
はじめてのアーチェリー	10	10	12	16	3	13	2	14
初心者からの山登り	25	23	24	25	14	19	11	12
いきいきバドミントン	45	40	42	40	29	32	39	41
スマイルバレーボール	14	28	27	24	20	28	25	20
オーレサッカー	45	30	30	30	30	30	32	57
トライラグビーフットボール	16	8	9	12	7	8	6	7
みんなでソフトテニス	25	15	19	19	20	15	20	15
ホッケー(2回開催)	80	167	219	209	中止	177	123	153
これからハンドボール	10	12	14	8	8	12	7	13
走る!跳ぶ!投げる! 陸上競技	17	25	16	18	11	6	9	14
やってみよう! グラウンド・ゴルフ	H30年度開始		6	8	7	17	7	終了
ヨガ体操	32	25	36	39	12	24	29	25
フラダンス	18	7	6	14	-	15	6	7
新体操	39	40	30	41	12	-	40	37
大人からはじめるダンス	R5年度開始							12

資料：スポーツ課

### 3) スポーツ教室・講座の開催要望について

市民が希望するスポーツ教室・講座については、平成27年と比較して全体的なニーズの高まりが見受けられます。また、教室・講座の内容は「健康づくり（体力づくり）が中心の講座」が最も多く、次いで「中高年のスポーツ」となっています。競技スポーツよりも、生涯スポーツや健康維持を意識したスポーツ教室・講座のニーズが高いことがうかがえます。

#### ●市民が開催を希望する今後のスポーツ・健康に関する教室や講座の内容について



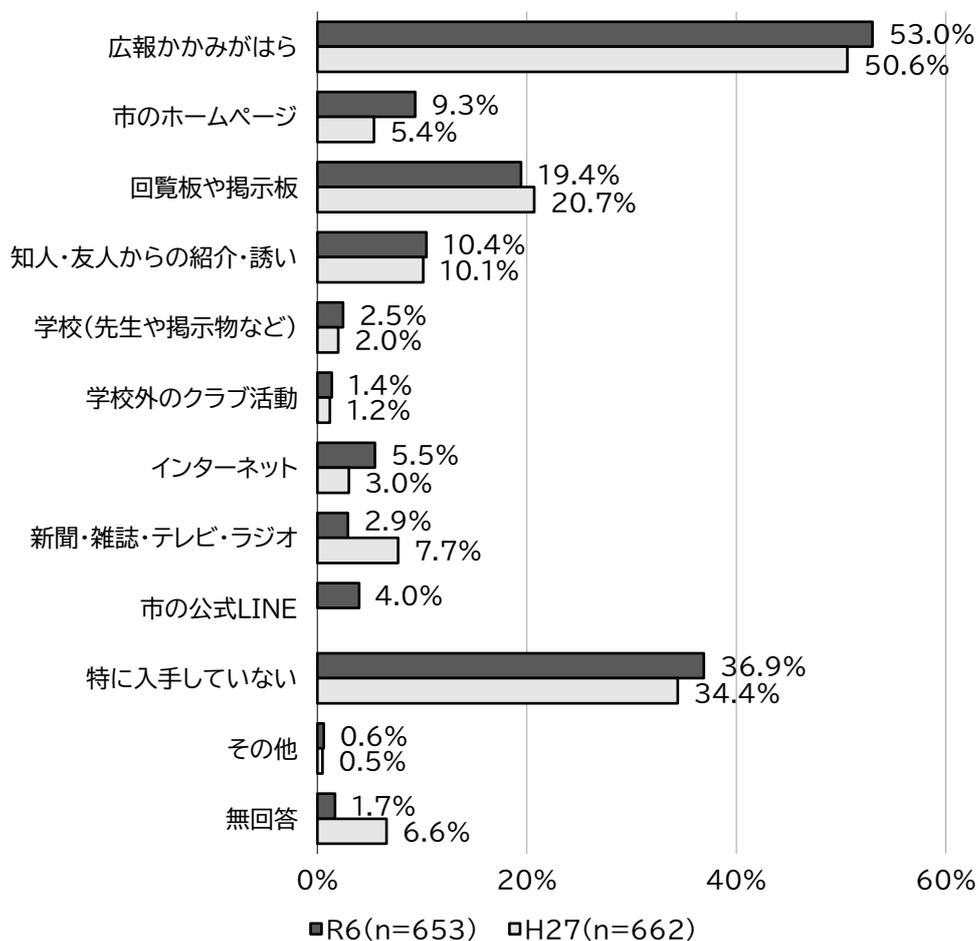
資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）  
各務原市 平成27年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

#### 4) スポーツに関する情報の周知について

スポーツ情報の周知と市民の情報収集の現状については「広報かかみがはら」が最も多く、「回覧板や掲示版」が続いています。

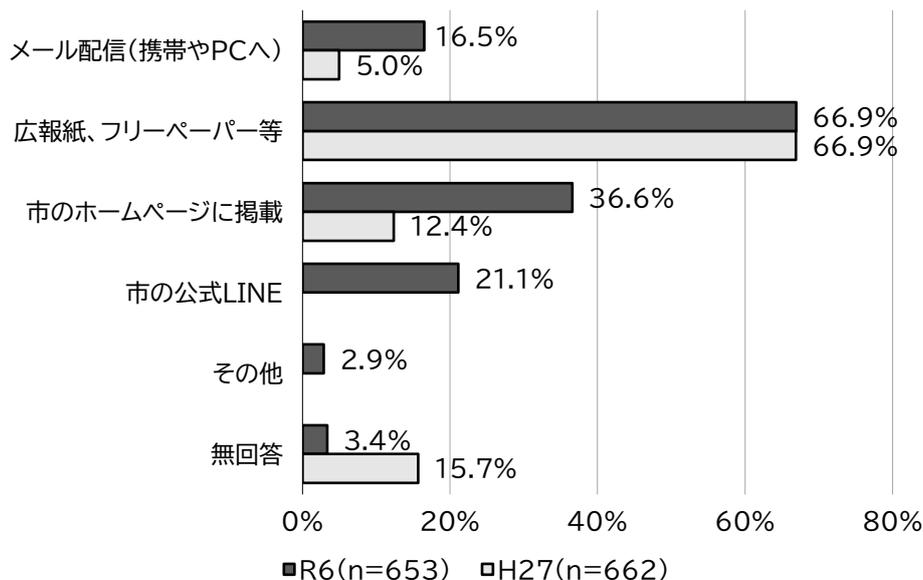
市民が求めるスポーツ情報の周知方法については「広報紙、フリーペーパー等」が66.9%と最も多く、「市のホームページに掲載」が36.6%、「市の公式LINE」が21.1%、「メール配信（携帯やPCへ）」が16.5%となっています。平成27年と比較すると、依然として「広報誌、フリーペーパー等」が多い一方で、ホームページやLINE、メールといったデジタルコンテンツによる情報提供の需要の高まりをみることができます。

#### ●各務原市のスポーツに関する情報の入手先



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）  
各務原市 平成27年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

#### ●スポーツ・健康に関する広報や情報提供の方法でよいと思うもの



※「市の公式LINE」は令和6年調査での新規追加項目

資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

各務原市 平成27年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

#### スポーツイベントやスポーツ教室に関する現状と課題 まとめ

1. 平成27年度からの参加者数の推移は、イベントの種別により変動しています。ウォーキングイベントの参加者数が増加していることから、年齢や体力を問わない、誰もが気軽に参加できるスポーツにも積極的に取り組んでいくことも必要となります。
2. スポーツイベントやスポーツスクールの認知度が低く、また参加を希望する意見も少ないことから、さらなる周知や魅力の向上も必要となります。
3. 市のスポーツイベントに関するアンケートでは、「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」、「スポーツに関する広報活動」、「年齢層にあったスポーツの開発普及」の値が高く、まずは認知してもらいながら、様々な層が参加できるスポーツの機会を創出する必要があります。
4. 現状、「広報かかみがはら」がスポーツの情報収集として最も一般的ではありますが、若者には浸透しておらず、さらには情報収集自体もしていないことから、広く周知するための手法の検討も必要となります。

## ⑤ 「ささえるスポーツ」に関する現状と課題

### 1) 各務原市スポーツ協会の状況

各務原市スポーツ協会は、加盟団体の競技力の向上及び団体相互の交流と親睦を図るとともに、市民の健全な心身の成長のため、スポーツの普及・振興の中心的な役割を担っていますが、会員数の推移をみると、減少傾向となっており、令和5年度では11,289人となっています。

### ●スポーツ協会会員数の推移

(単位：人)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
スポーツ協会会員数	-	13,025	13,087	-	13,034	12,625	11,688	11,289

資料：スポーツ課

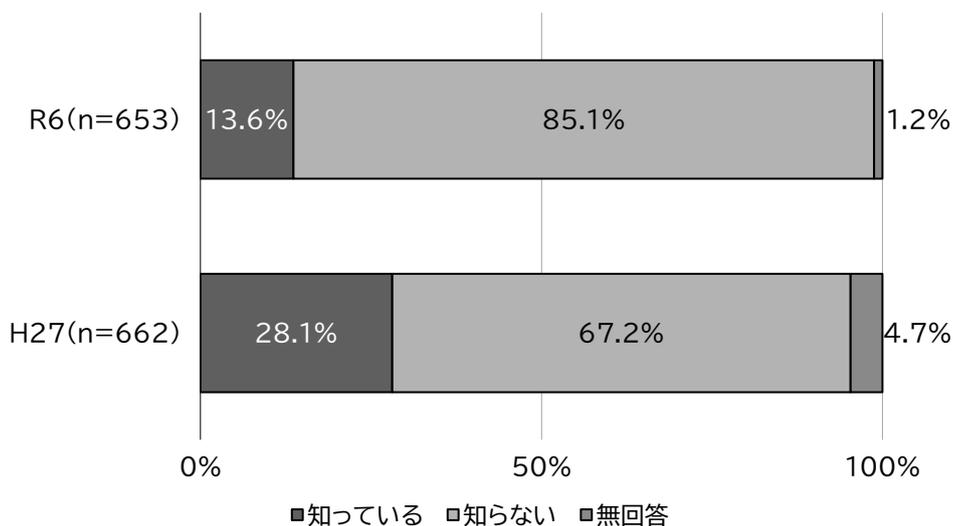
※H28、R1は記録がないため、会員数不明。

## 2) スポーツ推進委員の認知度について

本市では各小学校区に2名ずつ、合計34名のスポーツ推進委員が活動しており、市民が健康で豊かな生活ができるように、地域における様々なスポーツ活動を通じて、体力向上及び健康増進に寄与しています。一方で、スポーツ推進委員の認知度に関する市民アンケート結果をみると、スポーツ推進委員を「知らない」と答えた人の割合は平成27年をよりも多く、85.1%となっています。

スポーツ推進委員は軽スポーツの普及指導を重点目的とした「出前講座Viva軽スポーツ」や「軽スポーツ交流会」の開催をはじめ、「スポーツげんき祭」「かかみがはらDEウォーキング」などの運営協力を行っています。本市のスポーツ振興に重要な役割を果たしていることを普及・啓発していく必要があります。

### ●スポーツ推進委員の認知度



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

### ●軽スポーツ交流会 参加者実績の推移

(単位：人)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
参加者数	316	352	348	329	72	47	282	293
定員数	-	-	-	348	72	47	294	294
定員充足率	-	-	-	94.5%	100.0%	100.0%	95.9%	99.7%

資料：スポーツ課

### 3) スポーツ指導者育成について

スポーツ指導者の育成と知識向上のためスポーツ指導者講習会を開催しています。市民が健康で豊かな生活ができるように、地域における様々なスポーツ活動の運営やサポートの中心的担い手として、運動の普及及び健康増進に寄与しています。令和5年度の「コーディネーショントレーニング指導者講習会」の参加者数は145人で、累計参加者数は1,981人となっています。コロナ禍以降、講習会の参加者が減少傾向にあり、コロナ禍以前の水準まで戻りきっていません。

また、市民がスポーツをする際、指導者の有無については「いる」が14.7%となっています。一方で、「いない、いると嬉しいが探す方法が分からない」と答えた人が43.2%となっており、潜在的には指導者が欲しいと思っている状況であることが分かります。

#### ●スポーツ指導者講習会 参加者実績の推移

(単位：人)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
コーディネーショントレーニング指導者講習会 参加者数	245	232	235	253	中止	中止	185	145
コーディネーショントレーニング指導者講習会 累計参加者数	931	1,163	1,398	1,651	1,651	1,651	1,836	1,981
スポーツ少年団指導者認定員講習会 参加者数	137	1217	141	106	※1	-	-	-
スタートコーチ養成講習会 参加者数	-	-	-	-	※1	38	28	33
体育協会 中学校部活動指導者講習会(※2) 参加者数	47	49	54	41	-	-	-	-

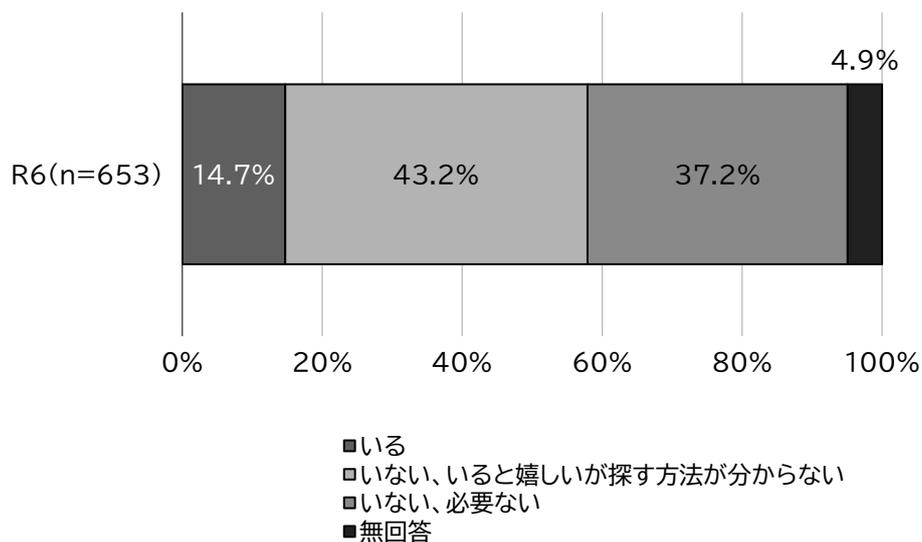
資料：スポーツ課

※1：令和2年度「スポーツ少年団指導者認定員講習会」はコロナ禍で中止。令和3年度より「スタートコーチ養成講習会」へ名称変更。「スタートコーチ養成講習会」へと名称変更時にライセンス制となったため、大勢の受講が必要でなくなり、受講人数が減っています。

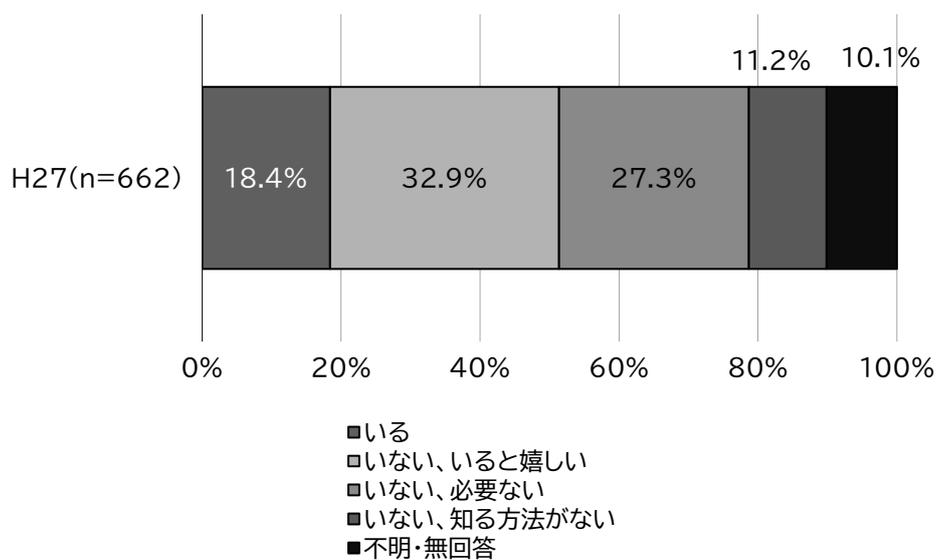
※2：「体育協会 中学校部活動指導者講習会」は令和元年度に補助が終了したため、事業も終了。

●運動やスポーツをする際、指導してくれる人がいる人の割合

令和6年



平成27年



指導者を必要とする人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いる (令和6年、平成27年)</li> <li>・いない、いと嬉しいが探す方法が判らない (令和6年)</li> <li>・いない、いと嬉しい (平成27年)</li> </ul>
指導者が必要でない人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いない、必要ない (令和6年、平成27年)</li> <li>・いない、知る方法がない (平成27年)</li> </ul>

資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）  
各務原市 平成27年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

#### 4) スポーツボランティアの参加数推移

スポーツボランティアのかかみがはらシティマラソンの参加者数の推移をみると、令和5年度は462人となっています。

#### ●スポーツボランティアのかかみがはらシティマラソンへの参加者数の推移

(単位：人)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
参加者数	397	431	574	中止	中止	中止	439	462

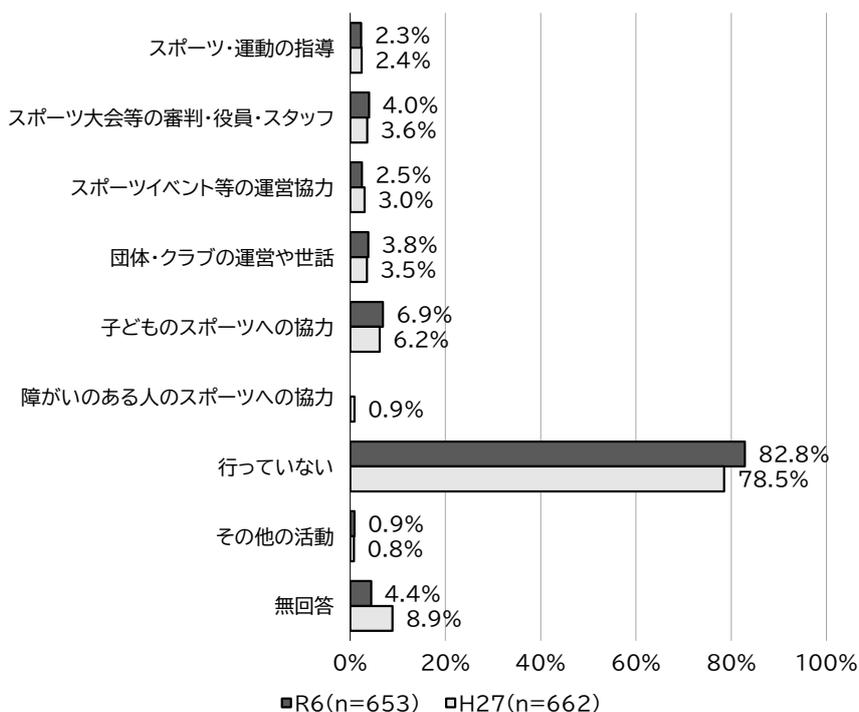
資料：スポーツ課

#### 5) スポーツボランティアの参加状況

スポーツボランティア活動については、82.8%が「行っていない」と答えています。一方で、ボランティア活動を通じて「自分の好きなスポーツの普及ができる」ことや、「出会い・交流の場」があることなどの要素があれば、参加したいと考えている割合が高いことがうかがえます。

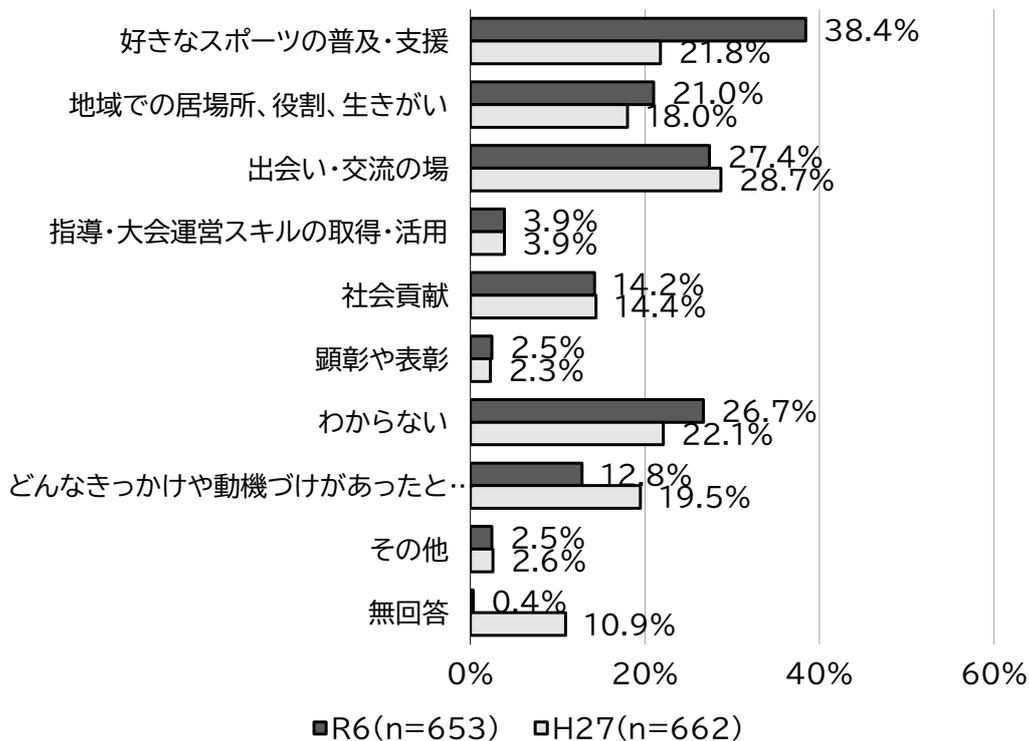
今後は主催者などがボランティアを募集する際、参加者の希望に近い活動内容の検討とその活動内容が伝わる周知や募集を行えば、より多くの参加者を得られる可能性があります。

#### ●スポーツ・運動に関するボランティア活動への参加状況（1年以内）



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

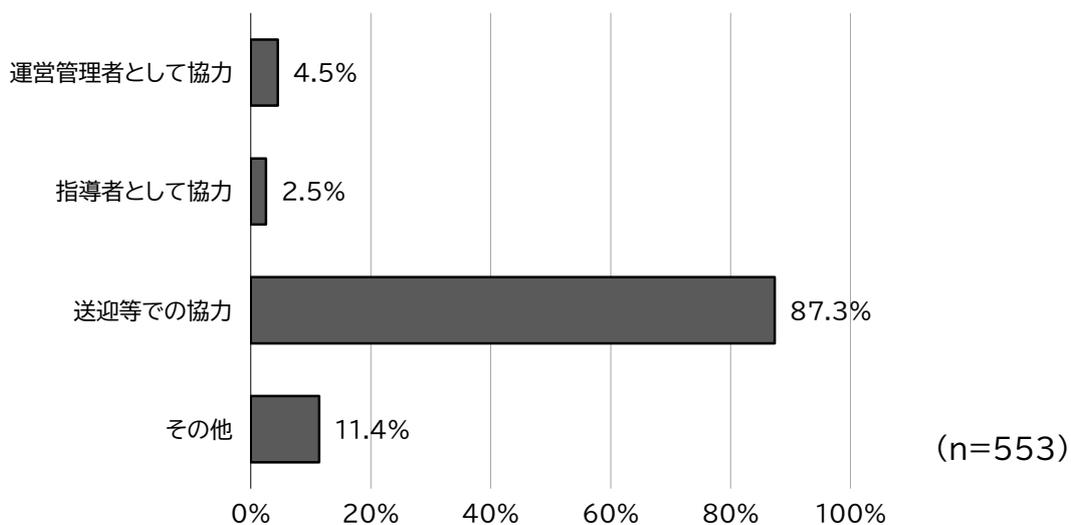
●スポーツに関するボランティア活動に参加したいと思うきっかけ



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

6) 部活動地域移行に対する保護者の協力について

国が進める部活動地域移行について、令和5年度から7年度にかけて段階的に地域移行できるよう進めています。部活動が地域移行する場合、協力できそうなことをみると、「送迎等での協力」が9割弱と、最も多くなっています。



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（小・中学生向け）

### ●スポーツの指導者に関する諸団体の意見（抜粋）

- ・指導者不足・高齢化が常態化しており、若い指導者が不足している。
- ・指導者としての資質が足りない人がいる。
- ・部活動の地域移行に伴い、指導者を配置するためには費用が掛かるため援助も必要となる。
- ・大学等から指導者の派遣を求めたい。

資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（団体向け）

### 「支えるスポーツ」に関する現状と課題 まとめ

1. 本市のスポーツ協会の会員数は減少傾向にありますが、本市のスポーツ団体の中心的存在として、異なるスポーツ種目同士の交流や連携を図り、スポーツ振興のための各種事業、取り組みを担う存在となっています。
2. スポーツ推進委員は8割以上の市民に認知されておらず、地域でのスポーツ振興のさらなる強化のため、スポーツ推進委員の認知度向上を図るとともに、その活躍の場の機会創出も課題となります。
3. スポーツ指導者の育成と知識向上は継続的な課題として、「スポーツ指導者養成研修」への参加を呼びかけるとともに、研修自体の内容の充実を図っていくことが必要となっています。また、優れたスポーツ指導者を派遣できる仕組みづくりを通じて、スポーツ指導者の活動機会を増やすとともに、質の高い指導機会の提供につなげていくことが必要となっています。
4. スポーツボランティアについては8割を超える市民が「行っていない」と回答しており、**愛知・名古屋 2026 アジア競技大会**を契機とした「ささえるスポーツ」の活性化も必要となっています。
5. ボランティア参加への誘因やモチベーションについては、「好きなスポーツの普及・支援」、「出会い・交流の場」に左右されることから、ボランティアでスポーツを支える楽しみを見出す意識啓発も必要となります。
6. 部活動の地域移行に際して、小・中学生の保護者は「送迎等での協力」で協力をいただけるため、地域での役割の明確化をする等、導入に向けた検討が必要となります。

## ⑥ スポーツ施設利用や整備に関する現状と課題

### 1) 統計データからみる主なスポーツ施設の利用状況

主なスポーツ施設の利用状況をみると、全体の利用者数はコロナ禍で減少したものの、回復傾向にあり、令和5年度では年間延べ約75万人となっています。また、令和5年度のスポーツ施設の利用シェアをみると、総合体育館が22.1%で最も高く、次いで総合運動公園(18.9%)、市民プール(12.1%)、スポーツ広場(9.6%)、桜体育館(5.8%)となっています。

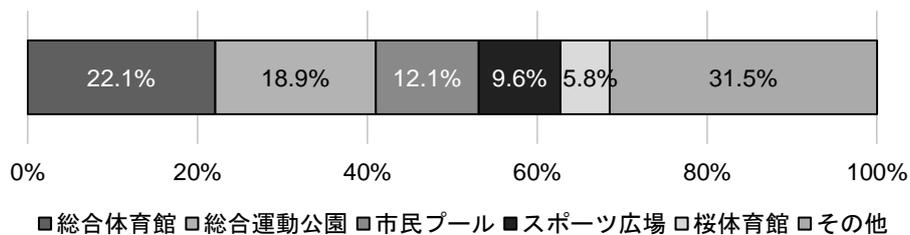
### ● 主なスポーツ施設の利用状況

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
総合体育館	220,840	219,778	218,054	193,924	93,433	130,630	152,636	166,133
那加地区体育館	14,570	13,754	13,168	14,484	9,998	10,558	11,699	12,127
稲羽地区体育館	14,417	16,262	16,055	6,892	8,863	9,106	11,500	12,340
鵜沼地区体育館	19,569	8,836	16,595	17,148	14,595	15,696	18,176	15,861
鵜沼西地区体育館	27,628	13,444	27,245	26,445	18,373	19,288	23,998	24,561
蘇原地区体育館	10,042	20,124	17,703	18,100	13,438	14,850	16,218	15,508
桜体育館	43,222	40,699	38,114	39,182	39,182	29,880	37,617	43,627
スポーツ広場	91,326	87,388	86,258	77,441	53,731	65,896	77,542	72,560
市民球場	12,769	15,380	15,290	16,376	9,167	10,297	14,135	13,337
勤労者総合グラウンド	16,836	15,230	17,400	16,617	10,521	7,258	13,809	11,536
飛鳥球場	14,215	12,944	15,312	14,990	10,726	11,930	14,524	14,210
総合運動公園	90,832	89,400	116,641	117,094	77,698	102,623	135,413	142,290
川島スポーツ公園	27,199	24,261	26,238	22,175	17,663	25,931	29,184	37,082
弓道場	7,883	7,067	5,864	6,706	8,642	9,892	10,586	10,610
協定グラウンド	22,575	15,903	16,480	17,540	17,126	18,286	12,832	15,310
市民プール	151,489	141,571	135,158	119,709	24,798	24,157	75,392	91,307
グリーンスタジアム	47,253	43,497	44,083	18,017	31,677	37,900	40,190	38,102
市ホッケー場	10,105	13,914	13,719	21,983	15,429	18,003	18,566	16,134
施設計	842,770	799,452	839,377	764,823	475,060	562,181	714,017	752,635

(単位：人)

資料：スポーツ課

### ● スポーツ施設の利用シェア（令和5年度）



資料：スポーツ課

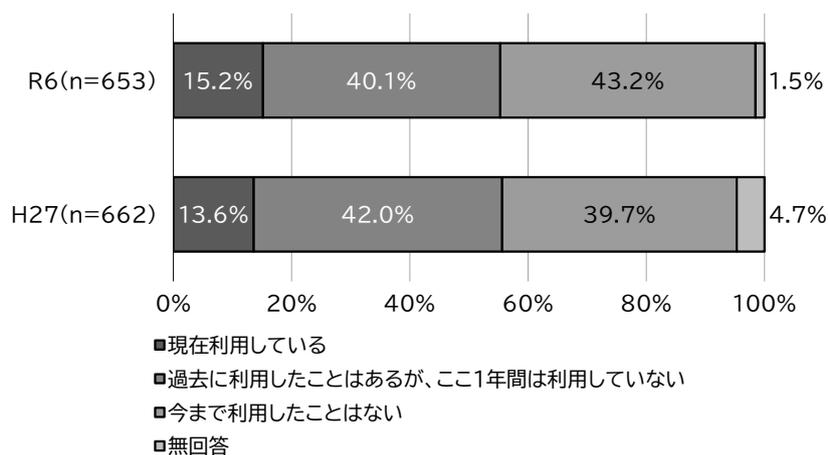
## 2) 市民アンケートからみるスポーツ施設の利用状況や要望について

本市の公共スポーツ施設の利用状況については、「現在利用している」「利用したことはあるが今は利用していない」と答えた人の割合が合わせて40.1%と、全体の5割強で利用経験があり、平成27年から大きな変化は見られませんでした。

気軽にスポーツに親しめるスポーツ施設があると思う人の割合をみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の割合は合わせて25.2%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と答えた人の割合は合わせて31.9%でした。

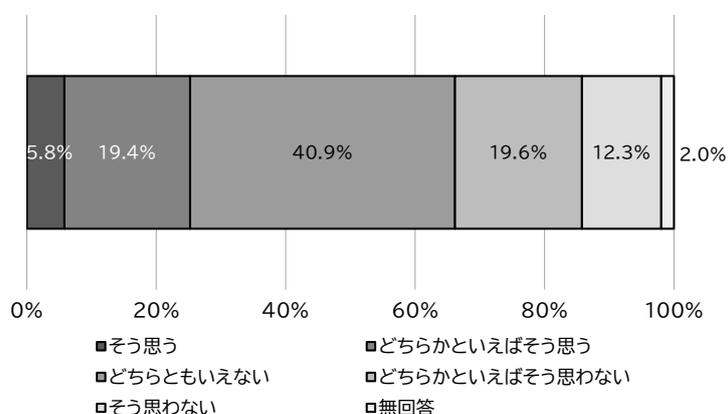
また、公共スポーツ施設に対する要望としては「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」や「利用手続き、料金の支払い方法等の簡略化」が多くなっています。

### ●本市の公共スポーツ施設を利用したことがある人の割合

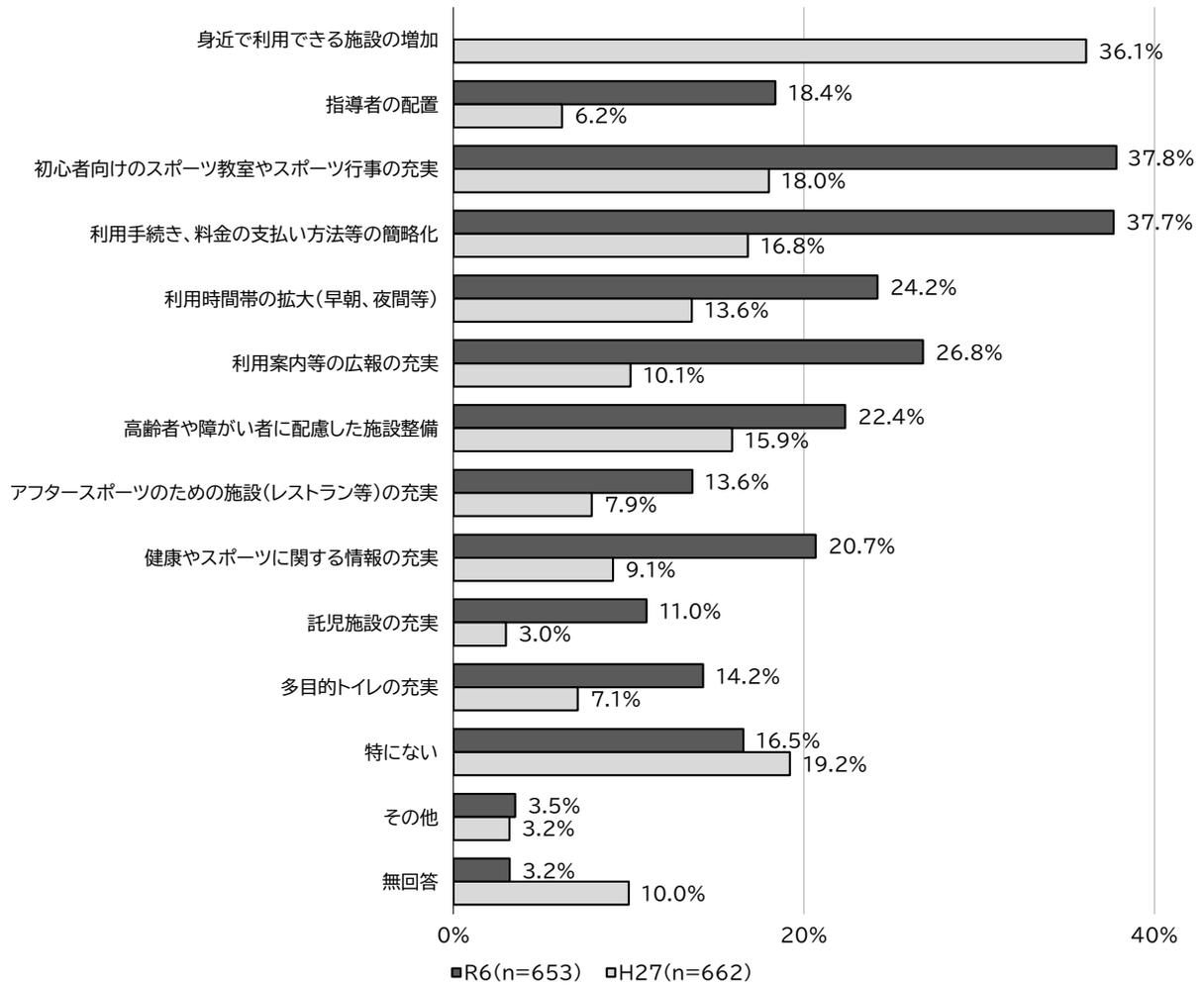


資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

### ●気軽にスポーツに親しめるスポーツ施設があると思う人の割合



●公共スポーツ施設に対する要望について

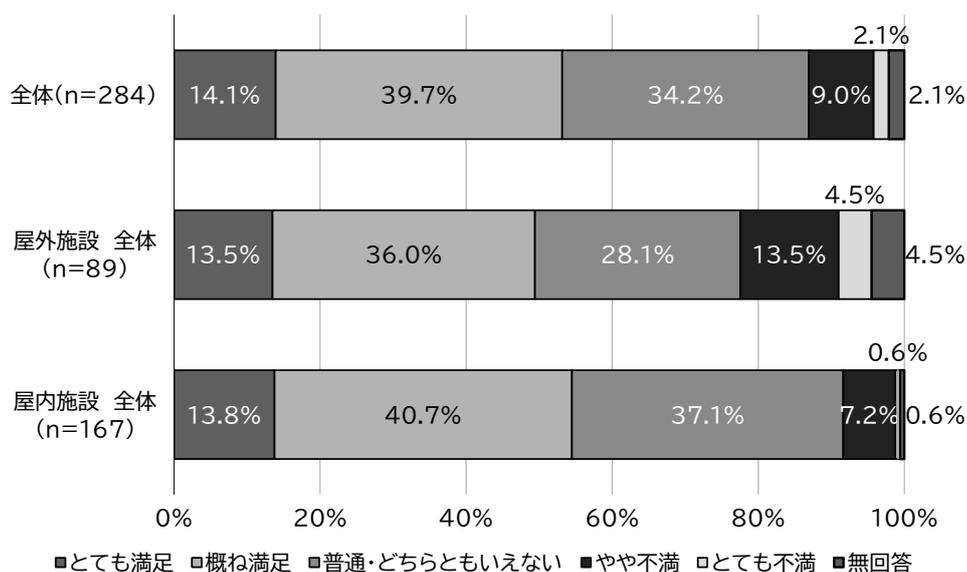


### 3) 施設利用者アンケートからみるスポーツ施設の満足度について

「市内公共スポーツ施設における満足度調査」の結果をみると、現状の施設について、全体的な満足度は「とても満足」が14.1%「概ね満足」が39.7%となっています。施設別にみると、屋外施設では「とても満足」と「概ね満足」が合わせて49.5%となっています。屋内施設では「とても満足」と「概ね満足」が合わせて54.5%となっています。

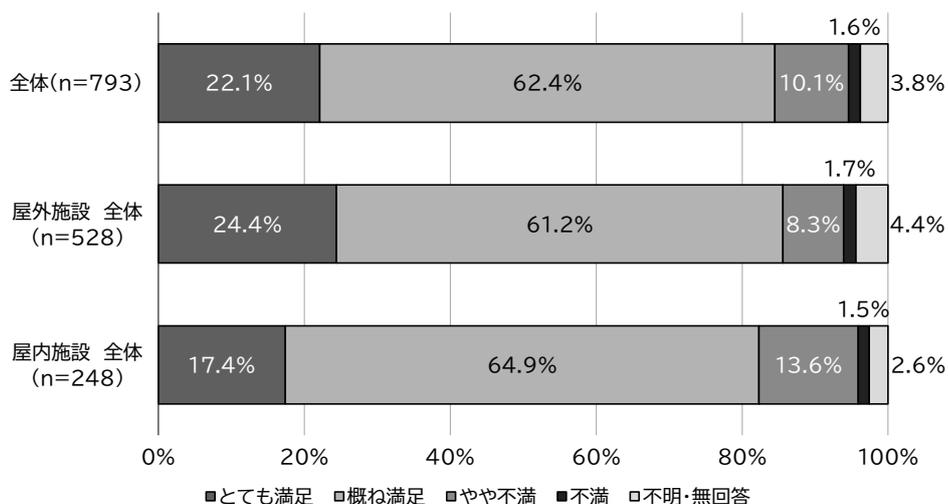
#### ●市内公共スポーツ施設の全体的な満足度について

令和6年



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（施設利用者向け）

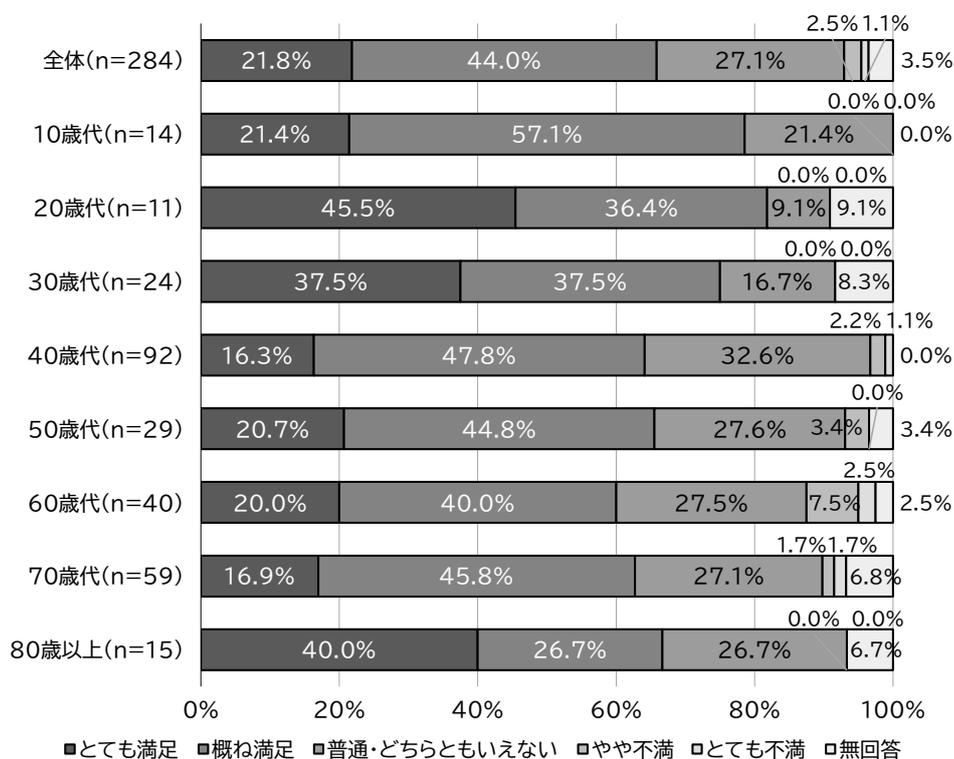
平成27年



資料：各務原市 平成27年 スポーツ推進に関するアンケート結果（施設利用者向け）

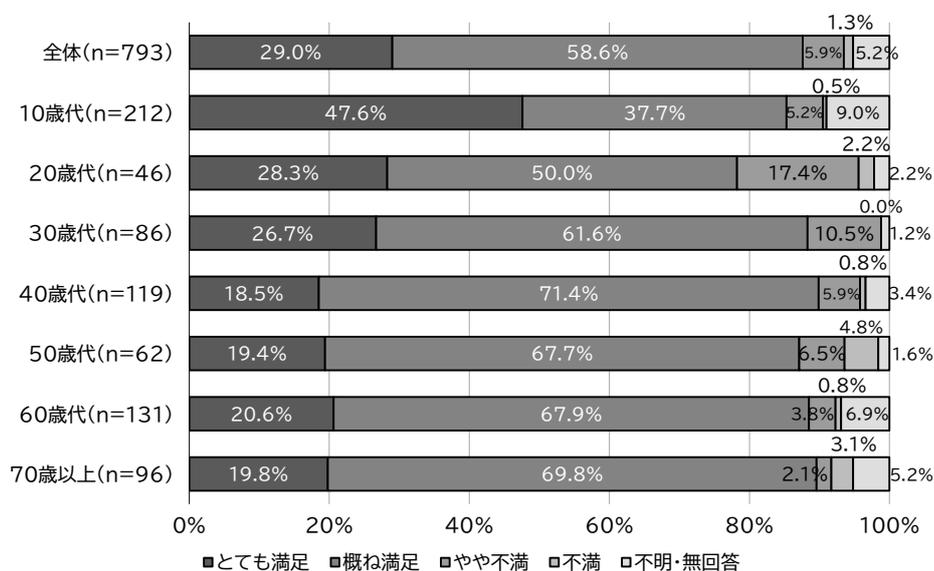
●施設の利用時間について

令和6年



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（施設利用者向け）

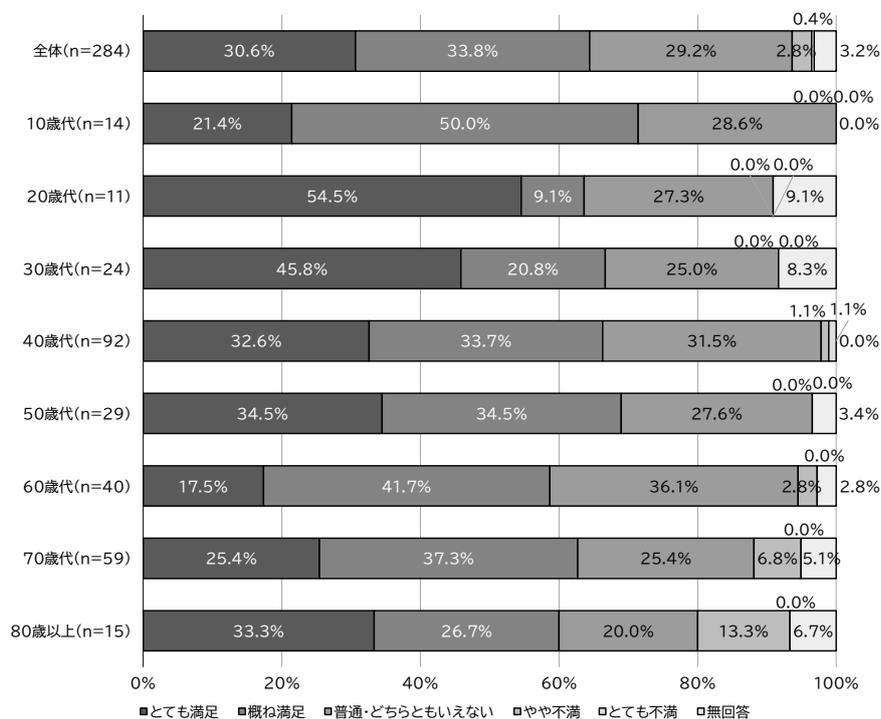
平成27年



資料：各務原市 平成27年 スポーツ推進に関するアンケート結果（施設利用者向け）

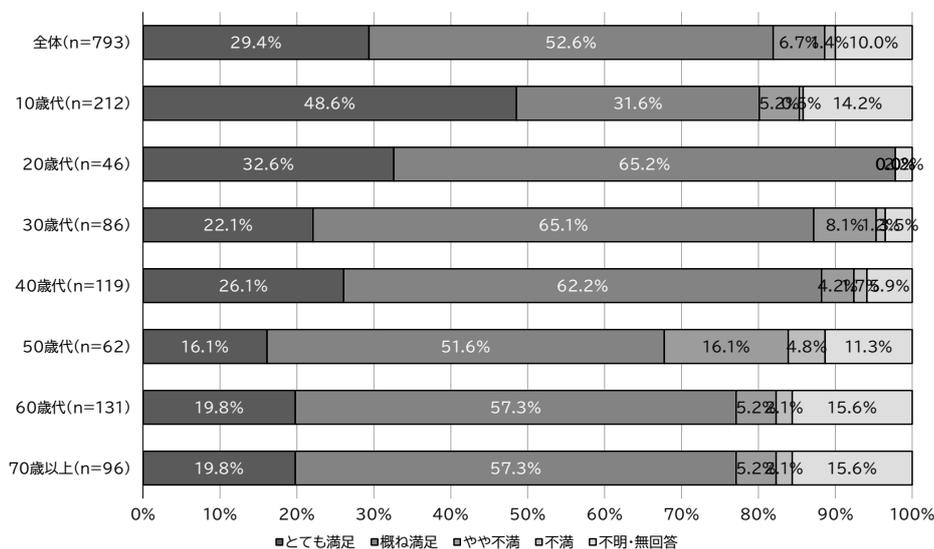
●施設の職員の対応について

令和6年



資料：各務原市 平成27年 スポーツ推進に関するアンケート結果（施設利用者向け）

平成27年



資料：各務原市 平成27年 スポーツ推進に関するアンケート結果（施設利用者向け）

#### 4) 学校開放体育施設の利用状況

身近なスポーツ施設として、市内の小中学校と特別支援学校において、学校施設（運動場・体育館・格技場・テニスコート）開放を行っています。学校施設開放体育施設の利用者数は、令和5年度では約28万人となっています。そのうち、小学校体育館が約16万人で、最も市民に親しまれています。

##### ●学校開放体育施設の利用状況

<件数>

(単位：件)

区分		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
小学校	体育館	8,642	8,752	9,913	8,686	6,335	7,582	9,017	8,903
中学校	体育館	2,755	2,706	2,751	2,735	1,559	2,108	3,198	2,890
	格技場	1,805	1,777	1,598	1,494	1,079	1,278	1,647	1,626
	運動場	985	957	963	863	561	753	1,030	1,000
	テニスコート	369	450	472	523	327	322	228	389
合計		14,556	14,642	15,697	14,301	9,861	12,043	15,120	14,808

資料：スポーツ課

<利用者数>

(単位：人)

区分		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
小学校	体育館	202,063	200,044	191,454	187,115	103,960	126,914	158,074	162,860
中学校	体育館	56,318	56,082	53,926	53,272	32,403	36,912	47,607	49,865
	格技場	38,936	39,510	37,217	35,395	24,609	28,133	36,541	37,198
	運動場	40,793	38,785	36,384	31,597	17,396	22,078	27,024	27,386
	テニスコート	1,652	1,732	1,595	2,025	1,571	1,018	897	1,226
合計		339,762	336,153	320,576	309,404	179,939	215,055	270,143	278,535

資料：スポーツ課

##### ●スポーツ施設に関する諸団体の意見（抜粋）

- ・老朽化への対応が必要（空調、バリアフリー対応等）。
- ・他団体、学校の部活動等と利用が被り、使いにくい時がある。
- ・市内外で利用料金を区分けし、市内在住者・団体外で利用しやすい環境整備が必要。
- ・夏季の猛暑への対応が必要。
- ・スポーツ施設の数不足している。

資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（団体向け）



## スポーツ施設に関する現状と課題 まとめ

1. スポーツ施設の年間のべ利用人数の推移をみると、**コロナ禍**を契機として大幅に減少し、**コロナ禍以前**の水準には戻っていない状況です。
2. 市のスポーツ施設利用者アンケートでは、「とても満足」、「概ね満足」の合計は、平成 27 年度より低くなっており、老朽化している施設を継続的に利用するあめの整備と、ライフスタイルに合わせた利便性の高い予約システムの導入等の施設づくりが求められています。
3. 学校開放施設の利用状況については、利用件数は僅かに増加傾向にあるものの、利用人数は、年間約 27 万人となっており、減少が続いています。
4. 現総合体育館は、昭和 58 年に建設し約 40 年を経過していますが、個別施設計画において、その使用目標年数を令和 30 年としており、まだ使用に耐え得る状況にあります。また、当施設の利用率及び抽選倍率は高く、新総合体育館の建設後であっても利用者が著しく減少することは考えにくい状況です。以上のことから、新総合体育館供用開始後の市内一円の体育館（総合体育館、地区体育館、学校体育館等）の利用状況等を注視しつつ、当面の間は適切な維持管理を行いながら現総合体育館を有効活用していきます。
5. 各務原市民プールについて、屋内プールは、まだ耐用年数があることや学校の水泳授業の受け入れを行っていることなどを理由に今後も適切に維持管理を行い運営していきます。  
屋外プールについては、市民が安全に利用できる環境を整えるとともに、利用状況や維持管理費等を注視しつつ、環境改善等について引き続き検討していきます。

## ⑦ 競技スポーツに関する現状と課題

本市はホッケー競技が盛んであり、ホッケーチームのレベルも高い水準を維持しています。また、オリンピック出場経験を持つ選手や日本代表選手・コーチも多く輩出しており、スポーツ少年団から中学、高校、大学生までの各世代において、**世界大会**を見据えたさらなる競技の振興と競技レベルの向上を目指しています。

**ホッケーを含む全競技においては、令和5年度では432人が全国大会に出場しており、本市には多くの競技者が在住しています。**

### ● 全国大会・国際大会への参加件数および参加人数

#### <件数>

(単位：件)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
<b>全国大会</b>	111	100	114	111	20	52	105	124
<b>国際大会</b>	15	7	9	6	1	9	9	11

資料：スポーツ課

#### <参加人数>

(単位：人)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
<b>全国大会</b>	430	397	462	511	170	269	374	432
<b>国際大会</b>	28	22	40	14	1	24	15	29

資料：スポーツ課

### 競技スポーツに関する現状と課題 まとめ

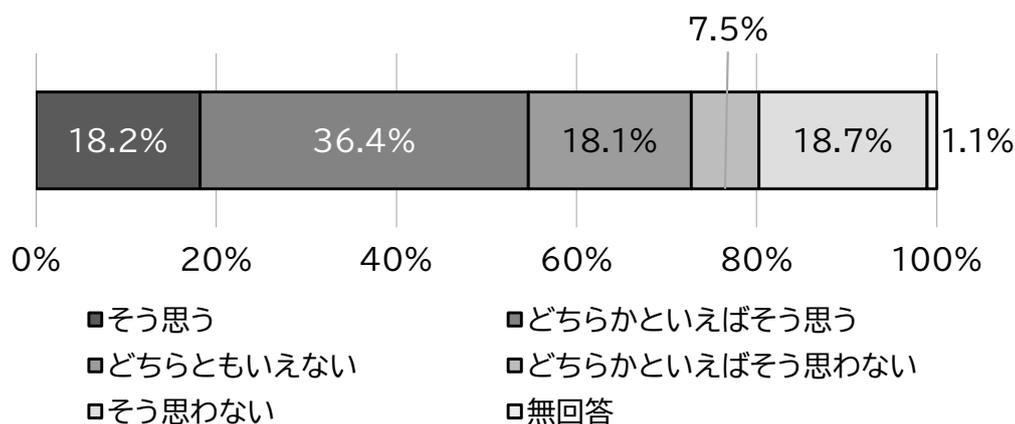
1. **愛知・名古屋2026アジア競技大会**の開催を好機ととらえ、スポーツ気運の醸成やスポーツを始めるきっかけづくりとなる取り組みが必要となっています。
2. 本市ではホッケー競技が盛んであり、市内のホッケーチームのレベルも高い水準にあります。オリンピック等、国際大会で活躍する、本市ゆかりの選手も多数輩出しており、ホッケーを基軸とした、次代を担う子どもたちに夢と希望を与える競技スポーツの進展が必要となります。

## ⑧ スポーツを通じた国内外との交流促進に関する現状と課題

### 1) ホッケーを通じた交流について

「ホッケー王国かかみがはら」というイメージを持っている人の割合をみると・・・

#### ● 「ホッケー王国かかみがはら」というイメージを持っている人の割合

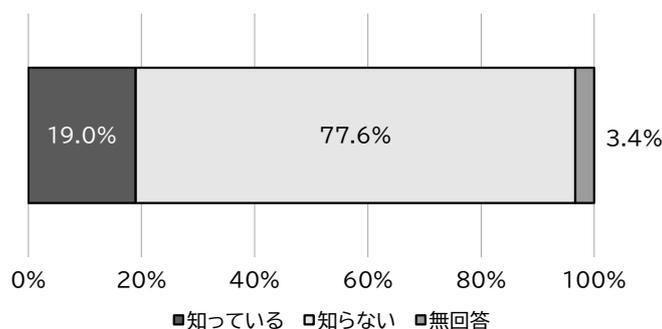


資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

### 2) 愛知・名古屋 2026 アジア競技大会の認知度や期待すること

「岐阜県グリーンスタジアム」がホッケーの会場となる予定であることを知っている人は19%と十分に認知されていない状況です。また、愛知・名古屋 2026 アジア競技大会に向けて期待することをみると、「地域のスポーツイベントの活性化、スポーツ関連施設の有効活用」が19.9%を示しています。

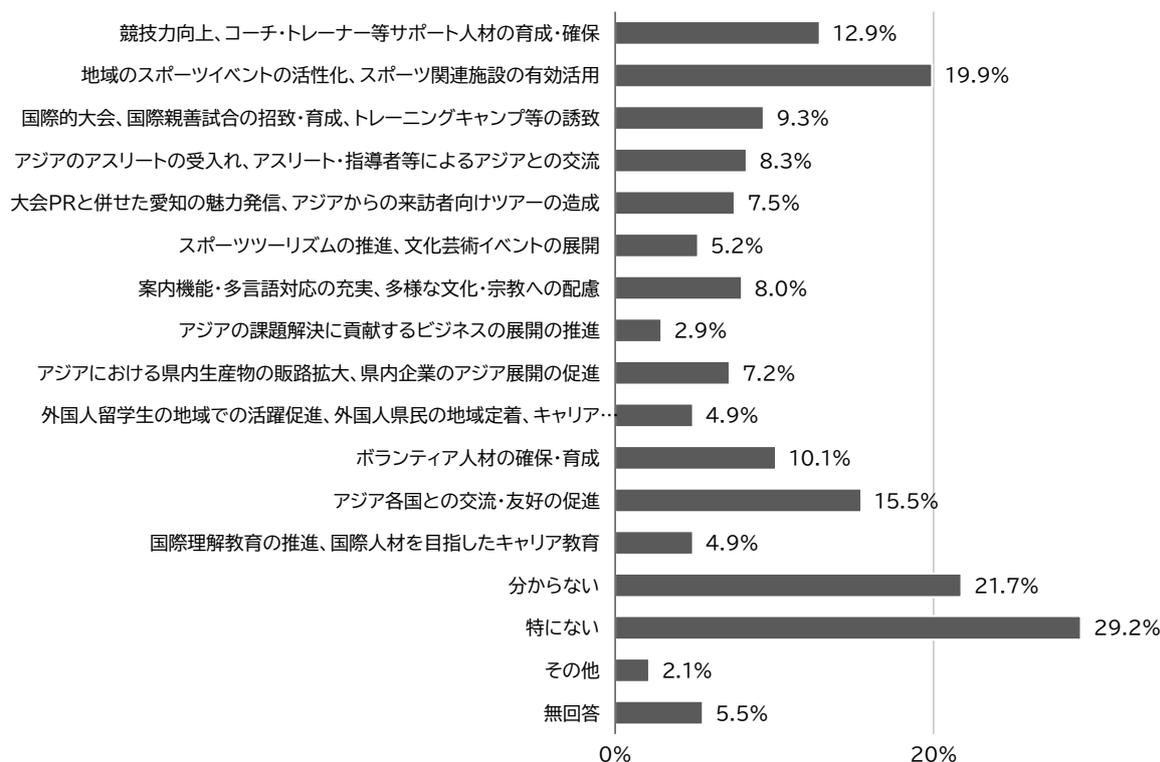
#### ● 「岐阜県グリーンスタジアム」がホッケーの会場となる予定であることを知っている人の割合



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）



● 愛知・名古屋 2026 アジア競技大会に向けて期待すること



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

3) ホストタウンとしての取組について

東京 2020 大会を契機に実施された事前合宿や、オランダとのホストタウン交流の成果を一過性のものとせず、次世代に継承・発展させることが必要です。

○県内のホストタウン登録一覧（10件登録、12カ国）

No.	自治体	相手国
1	岐阜県、高山市、下呂市	イギリス、フランス、アメリカ
2	岐阜市	スロバキア
3	羽島市	スリランカ
4	八百津町	イスラエル
5	郡上市	コロンビア、マダガスカル
6	岐阜県、岐阜市	カナダ
7	岐阜市、関市	コートジボワール
8	中津川市	アメリカ
9	恵那市	ポーランド
10	岐阜県、各務原市	オランダ

出典：第2期清流の国ぎふスポーツ推進計画（岐阜県）

## スポーツを通じた国内外との交流促進に関する現状と課題 まとめ

1. 「ホッケー王国かかみがはら」というイメージを持っている市民は約5割ではありますが、20歳代、30歳代の値は低い状況です。また、愛知・名古屋2026アジア競技大会において、岐阜県グリーンスタジアムがホッケーの会場になることは8割以上の市民が認知していない状況です。ホッケーを気軽に見てふれ合う機会を設けることで若年層を中心に、ホッケーへの興味・関心の意識醸成を図る必要があります。
2. 東京2020を契機としてホストタウン登録をしたオランダの女子ホッケーチームを受け入れた実績をもとに、国内外からホッケーをはじめとして様々なスポーツでの合宿や大会の誘致に取り組み、スポーツを通じた交流を深めていく必要があります。

### 第3節 各務原市スポーツ推進計画の振り返り

平成28年度から平成36年度までの9年間を計画期間とする「各務原市スポーツ推進計画」において実行された各種施策・事業について、目標値と実績値を以下に示します。

#### ●各務原市スポーツ推進計画（第1期）の進捗状況

目標数値	目標値	実績値
スポーツ実施率の上昇	50%	41.4% (R6)
各種スポーツスクールへの参加する小学生の割合	78%	78.1% (R5)
スポーツ指導者育成研修の参加者のべ人数 (平成25年から積上げ)	2,900人	1,981人 (R5)
軽スポーツ交流会 定員充足率の増加	95%	99.7% (R5)
公共スポーツ施設の満足度「とても満足」「概ね満足」と答えた人の割合	85%以上	52.5% (R6)
公共スポーツ施設利用者数	73万人	752,635人 (R5)
全国大会への参加件数	145件	124件 (R5)
国際大会への参加件数	25件	11件 (R5)

※各務原市スポーツ推進計画の目標値は令和6年度で設定しているが、令和6年度の実績値が公表前（取得前）の場合は令和5年度の実績値で代用している。

国、県のスポーツ推進計画や各務原市のスポーツをとりまく状況は以下のように整理されます。

■強み (Strength)	■弱み (Weakness)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ホッケー王国かかみがはら」としての整備されたプレー環境</li> <li>・県内3位の人口</li> <li>・県内有数の航空宇宙産業関連企業の集積</li> <li>・企業スポーツ（アマチュアスポーツ）の展開</li> <li>・スポーツ施設に対する市民満足度</li> <li>・スポーツ環境の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ実施率の低迷</li> <li>・障がい者のスポーツの機会の低迷</li> <li>・スポーツへの興味・関心の低迷（スポーツ以外への関心の高まり）</li> <li>・競技スポーツの人口の減少</li> <li>・市民への情報・周知が不十分</li> <li>・スポーツ団体の活動縮小（会員減少）</li> </ul>
■機会 (Opportunity)	■脅威 (Threat)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知・名古屋 2026 アジア競技大会におけるホッケー競技の開催地</li> <li>・スポーツ大会等におけるボランティア機会</li> <li>・健康増進への意識の高まり</li> <li>・働き方改革による余暇時間の拡大</li> <li>・Well-being、QOL への関心の高まり</li> <li>・コンプライアンス・ハラスメントへの社会的な意識の高まり</li> <li>・様々な業界での DX の進展</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ以外の余暇活動の進展</li> <li>・スポーツ施設の老朽化・更新の必要性</li> <li>・人口減少による活力低下・持続可能性への懸念</li> <li>・部活動の地域移行に基づく指導者不足・保護者負担の増加</li> <li>・部活動縮減による児童・生徒のスポーツに関わる時間の減少</li> <li>・気候変動（猛暑）による夏季の屋外スポーツの実施への支障</li> </ul>

各務原市のスポーツ活動に関する現状・課題や、国の「第3期スポーツ基本計画」および、岐阜県の「第2期清流の国ぎふスポーツ推進計画」の動向をふまえ、「第2期 各務原市スポーツ基本計画」で念頭におくべき視点は以下の様に整理されます。

国や県のスポーツ関連計画の動向や、各務原市のスポーツを取り巻く状況を踏まえ、各務原市が今後10年で対処すべき、スポーツに関する課題を以下のように整理されます。

- 誰もが参加可能なスポーツ環境（大人・子ども・高齢者・障がい者等）
- スポーツイベント、スポーツ教室の持続性
- スポーツを支える体制、担い手
- スポーツをする環境の整備
- 競技スポーツの活性化・強化
- スポーツを通じた国内外との交流促進

次章以降に、具体的な方向性について示していきます。

(参考) 国・県の関連計画

### ■ 第3期スポーツ基本計画（スポーツ庁）

基本目標

■ 4つの目標の実現

- ①スポーツで「人生」が変わる
- ②スポーツで「社会」を変える
- ③スポーツで「世界」とつながる
- ④スポーツで「未来」を創る

+

■ 「新たな3つの視点」を支える施策

- ①スポーツを「つくる／はぐくむ」
- ②「あつまり」、スポーツを「ともに」行い、「つながり」を感じる
- ③スポーツに「誰もがアクセス」できる

重点施策

■ 東京大会のスポーツ・レガシーの継承・発展に向けた重点施策

- ①持続可能な国際競技力の向上
- ②安全・安心に大規模大会を開催できる運営ノウハウの継承
- ③共生社会の実現、多様な主体によるスポーツ参画の促進
- ④地域住民等のスポーツへの関心を活かした地方創生、まちづくり
- ⑤官民ネットワーク等を活用したスポーツを通じた国際交流・協力
- ⑥スポーツに関わる者の心身の安全・安心確保に関する課題を踏まえた取り組みの実施

今後5年間に総合的に取り組む施策

- 多様な主体におけるスポーツの機会創出
- スポーツ界におけるDXの推進
- 国際競技力の向上
- スポーツの国際交流・協力
- スポーツによる健康増進
- スポーツの成長産業化
- スポーツによる地方創生、まちづくり
- スポーツを通じた共生社会の実現
- 担い手となるスポーツ団体のガバナンス改革・経営力強化
- スポーツの推進に不可欠な「ハード」「ソフト」「人材」
- スポーツを実施する者の安全・安心の確保
- スポーツ・インテグリティの確保

### ■ 岐阜県：第2期 清流の国ぎふスポーツ推進計画

**誰一人取り残されないスポーツ立県・ぎふ**

子どもから高齢者まであらゆる世代の県民が、  
それぞれの関心、適性等に応じて、  
多様なスタイルでスポーツを楽しみ、  
スポーツの持つ力で生涯にわたり健康と生きがいを得られる  
「清流の国ぎふ」の実現

基本目標の実現に向けて推進する5つの柱

- ①生涯にわたる健康と生きがいづくりのスポーツ推進
- ②世界や全国を目指すアスリートの競技力向上
- ③障がい者の活躍を広げるパラスポーツの推進
- ④地域資源を活かしたスポーツによるまちづくり
- ⑤誰もが楽しめるスポーツ環境の整備

## 3章 スポーツ推進の方向性

### 第1節 各務原市総合計画（前期基本計画）（目指す姿）

本市のさらなるスポーツ推進のため、各務原市総合計画（前期基本計画）に掲げられた目指す姿は以下の4点となります。

- 生涯スポーツ普及のための機会が充実し、すべての市民が日常的にスポーツに親しみ、心身ともに健康に暮らすまちとなっている。
- 地域のスポーツ団体やボランティア等に支えられ、市内のスポーツ活動の一層活性化している。
- 市民の多様なニーズに対応したスポーツ施設が身近に整備されており、安全かつ快適にスポーツや健康づくりに親しんでいる。
- 「ホッケー王国かかみがはら」として、ホッケー競技のさらなるレベルアップが図られている。

### 第2節 各務原市教育大綱

「Ⅲ 健康で活力ある地域づくりを支えるスポーツ活動を推進します より抜粋」

健康の保持・増進を図るための生涯スポーツの普及から、スポーツ競技力の向上の推進に至るまで、すべての市民が日常的にスポーツに取り組み、心身ともに健康に暮らせるまちづくりを目指します。

### 第3節 各務原市教育振興基本計画

「基本目標5 スポーツの振興 より抜粋」

健康に対する意識の高まりにより、スポーツを「する」「観る」「支える」など、多様なニーズに応えるための機会の創出や仕組みづくり、施設の充実が求められています。スポーツでは、「健康で活力ある地域づくり」を目指して、市民が生涯にわたって気軽にスポーツに親しむことができる環境づくりを推進します。また、市内で活発に行われ、ホッケー競技を通じた交流の促進と各務原市の魅力の発信のための取り組みを推進します。

## 第4節 基本理念

本市のスポーツ・運動に関する現状と課題、総合計画で示された「目指す姿」、「各務原市教育大綱」加えて「各務原市教育振興基本計画」の内容をふまえ、今後のスポーツ推進施策を展開するにあたり、考え方の基礎となる本スポーツ推進計画の基本理念を、以下のように掲げその実現を目指します。

### はばた 翔け！ かかみがはら ～スポーツでひろ げよう、えがお 感動～

基本理念の「<sup>はばた</sup>翔け！ かかみがはら」は、市民が元気に生涯スポーツや競技スポーツに励み、地域あるいは全国や世界の舞台上で様々な活躍している姿をイメージしました。

「<sup>ひろ</sup>スポーツでひろ げよう、<sup>えがお 感動</sup>笑顔と感動」は、人々の幸せ（笑顔や感動）の輪が、スポーツ活動を通じて市内に広がっていくことをイメージし、これらを実現していきたい、という想いが込められています。

#### 代替案

（案1）スポーツでつながり、笑顔と感動の輪を広げよう 輝き彩りのあるまち かかみがはら！

- ・現計画のフレーズ〈笑顔、感動〉を踏襲しつつ、スポーツで広げるまえにつながってほしい（小単位で）という思いを込めました。
- ・輝き彩りのあるまち は総合計画における【文化・スポーツ・生涯学習】の基本目標を参酌しています。

（案2）誰もがスポーツを楽しみ、輝くまち かかみがはら～スポーツが紡ぐ、笑顔と元気の輪～

- ・競技（＝感動）寄りから生涯スポーツ（＝元気）寄りにした案で、第3期基本計画で謳われている「誰もが」を盛り込んだ案です。

（案3）スポーツでつながる未来 健康・交流都市 かかみがはら

- ・各務原の市民や関わりのある方の全てがスポーツを通じて自身が健康に、またスポーツでの交流機会により様々な生きがいを感じられ、活気のある街になることをイメージしています。



## 第5節 施策の体系

基本理念の実現のために、各務原スポーツ推進計画（第1期）に掲げられた4つの基本目標に加え、「スポーツを通じたまちづくりの推進」を新たに基本目標として設定し、その具体的な施策について、取り組みを進めます。

基本目標1 スポーツ機会の創出	施策1 誰もが参加できるスポーツ大会の推進
	施策2 子どもの成長段階に合わせたスポーツ機会の創出
	施策3 誰もがスポーツができる環境づくり
	施策4 継続的なスポーツへのアクセス性
基本目標2 地域スポーツ活動への支援	施策1 指導者の育成支援
	施策2 地域スポーツ活動の支援と連携促進
基本目標3 スポーツ施設の充実	施策1 スポーツ施設の整備実施
	施策2 適切な施設運営の推進
基本目標4 ホッケーを基軸とした競技スポーツの全体の底上げ	施策1 ホッケー競技の強化
	施策2 各種スポーツのレベル向上
	施策3 質の高いスポーツ指導者の育成
	施策4 スポーツ関連団体・体制の強化
	施策5 スポーツにおけるDXの導入
基本目標5 スポーツを通じたまちづくりの推進	施策1 2026年アジア競技大会ならびにレガシーの活用
	施策2 スポーツツーリズムの促進
	施策3 地域関連機関との連携強化



## 4章 具体的な施策

本章では、基本目標とその具体的な施策を推進する事業内容を示すとともに、施策の効果や進捗具合を測り、評価、改善の基礎資料となるよう、施策ごとに数値目標を掲げています。

### 基本目標 1. スポーツ機会の創出

#### 現状と課題

第3期スポーツ基本計画（スポーツ庁）では、新たな視点として、性別や年齢、障がい、経済・地域事情の違いによるスポーツ機会の差を生じさせない「誰もがアクセスできる」社会の実現を目指していることから、本市においても、様々な立場の方がスポーツに関わる機会を醸成し、それを継続していく必要があります。

現状では、本市で行われる各種スポーツイベントは、参加者の年齢や属性に偏りがあるため、より多様な市民にスポーツに対する関心や意識の高揚を図ることが必要です。

#### 今後の方向性

気軽に参加できるイベントやスクールの開催、全国・国際レベルの大会の誘致・開催を通じて、市民がスポーツを始める機会の創出や、生涯に渡ってスポーツに親しむ機会の充実を図ります。また、ライフステージや個々の状況に配慮した多くのスポーツ機会を創出し、「運動をまったくしない」市民の割合を減らし、より多くの人々が、日々の暮らしの中にスポーツを習慣として取り入れることを目指します。

【基本目標 1 目標数値】

スポーツ実施率				
現状値 令和 6 年		中間目標 令和 11 年		最終目標 令和 16 年
41.4%		57%		62%
<p>スポーツ推進に関するアンケート（一般向け）より            国：52.0%(令和 5 年)、岐阜県：46.2%(令和 3 年)に比して、本市のスポーツ実施率は            低いため、様々な施策を通してスポーツ実施率を上昇させていく。            数値の設定方法：国および岐阜県の現状値から目標値までの変化量の平均を加算したも            のを令和 11 年の数値とした。</p>				

各種スポーツスクール参加者数				
現状値 令和 5 年		中間目標 令和 11 年		最終目標 令和 16 年
394 人		520 人		550 人
<p>スポーツスクール参加人数の統計より            将来を担う子どもたちや市民の運動・スポーツを促進するため、各種のスポーツスクー            ルを開催している。スポーツを好きになり、より多様な市民がスポーツに対する関心を            高められるよう、各種スポーツスクールの参加者数を増加させていくことを目指す。            数値の設定方法：中間目標の数値は現状のスポーツスクールの定員数。今後、スポーツ            スクールの定員ならびに種目を増やす事で、最終目標の数値を 550 人と設定した。</p>				

## 施策1 誰もが参加できるスポーツ大会の推進

愛知・名古屋 2026 アジア競技大会のホッケー競技が各務原市で行われることを契機として、市民がスポーツ大会に触れる機会を活用し、各種スポーツ大会の実施・主催などを担い、市民のさらなるスポーツ参加機会を創出します。

また、市民のスポーツ実施率を向上させ、日々の生活の中で全ての市民・関係者がスポーツの価値を享受できる社会を構築していきます。

### ●具体的事業

事業名	概要
かかみがはらシティマラソン事業（継続）	かかみがはらシティマラソン大会を、地域活性化あるいはシティセールスの重要なイベントと位置付け、参加者に本市の魅力を知っていただけるような周知活動を行います。また、スポーツボランティアとしての参加者が多い本事業を、市民活動機会の中心として円滑な運営に努めつつ、より多くの市内外のランナーが楽しむことができる大会にします。
スポーツげんき祭事業（継続）	生涯スポーツの観点から、軽スポーツ体験を通して運動する喜びと楽しさを味わうことができ、様々な種目を楽しむことができるイベントにします。子どもたちが今後どのようなスポーツに取り組むか、選択できる「体験の場」となるよう努めます。
スポーツスクールの開催（継続）	生涯スポーツの振興を図るため、初心者でも気軽に参加できる各種スポーツスクール、ホッケー講習会を開催します。
かかみがはらDEウォーキング事業（継続）	本市の美しい自然や街並みを、多くの仲間と一緒に楽しく歩くことで、本市の魅力やウォーキングの楽しさを感じてもらい、健康維持を目的として今後のスポーツ（体力づくりや健康維持）へのきっかけになることを目指します。
軽スポーツ交流大会（継続）	誰でも気軽に参加できる交流大会を実施し、市民のスポーツ推進を支援します。また、大会参加者が住んでいる地域へ戻り、地域交流の担い手としてスポーツを通じた地域振興ができる土台づくりに努めます。

各小学区体育振興会事業（継続）	17小学区体育振興会への支援を通じ、市民運動会やウォークラリーなどのイベントを計画・実施します。各学区において、2～3世代が参加できるクロリティ大会や、ウォークラリーなどを実施します。
-----------------	--

●取組のアイデア（今後検討）

<p>■スポーツ情報の周知推進</p> <p>誰もが気軽に取り組めるよう、ウォーキングマップやスポーツ関連情報を様々な媒体に掲載するとともに、スポーツができる場所や情報などを見ることができる「（仮称）スポーツ情報マップ」を作成します。</p>
---

施策2 子どもの成長段階に合わせたスポーツ機会の創出

子どもの成長段階における運動・スポーツへの参加は健康な体づくりだけでなく、社会性の向上や、心の健康づくりにも重要な役割を担っており、それらの力を育むことができる運動機会を創出し、スポーツ人口の裾野を広げます。

●具体的事業

事業名	概要
コーディネーショントレーニングの推進	神経の働きが最も伸びる幼児期から成長期に、身体を巧みに操る能力を身につけるトレーニングを実施します。（継続）
「集まれ！冬遊び隊」（継続）（旧：わんぱくテント泊）	テント泊などのアウトドア体験を実施します。子どもたちが自然に親しむ機会づくりとともに、集団での社会生活の中で心身を鍛えることを目的として実施します。
各務原中学校体育連盟総合体育大会（継続）	各務原市中学校体育連盟が主催し、各種体育大会を開催します。熱中症対策や落雷への安全面の対策を講じつつ、大会を継続して実施します。
体力テストの実施（継続）	全小中学校で体力テスト（全国共通）を実施します。国や県の平均を上回ることを目標に、日頃の体育授業の質向上と、生徒が運動を親しむための環境づくりを実施します。
家庭でできる運動の紹介（継続）	正しいストレッチ方法や筋力トレーニングなどの紹介と啓発を行います。

<p>トップアスリート講師による講演会と実技指導イベントの開催（継続）</p>	<p>オリンピックや国際大会、プロスポーツなど、トップレベルのアスリートや指導者を招き、講演会や実技指導を行うとともに、子どもたちが将来の夢を抱くことができるよう支援をします。また、市内企業に所属するアスリートを講師に迎え、学校の部活動への技術指導を実施し、スポーツ競技レベルの向上を推進します。</p>
---	--

●取組のアイデア（今後検討）

<p>■放課後子ども教室  地域と学校の協力で、小学校ごとに実施する放課後子ども教室において、様々な活動の中でスポーツメニューとして子どもと地域住民がドッジボールやペタンク、大縄跳びなどの運動を行う機会をつくります。</p>
--

**施策3 誰もがスポーツができる環境づくり**

65歳以上の高齢者がこれからも健やかに過ごしていくためには、日頃からの運動習慣は欠かすことができません。ウォーキングをはじめ、ペタンクなど軽スポーツの啓発などを図るとともに、スポーツを行うことで得られる生きがいや交流、健康へのメリットを伝えられるような取り組みを進めます。

また、障がいのある人が気軽にスポーツへ取り組むことができる環境づくりに努め、心と体の健康を同時に得ることができるスポーツ環境の整備に努めます。

これら高齢者や障がい者だけでなく、性別、職業、居住地、国籍に関わらず、誰もがスポーツができる環境を整えます。

また、誰もが「する」「みる」「ささえる」スポーツの価値を享受し、多様な人がスポーツに触れられ、楽しめる環境の構築し、スポーツをきっかけとした共生社会を実現します。

● 具体的事業

事業名	概要
フレイルチェック大会 (継続)	65歳以上の高齢者を対象に、毎年フレイルチェック大会を実施し、健康への意識づけに努めます。
軽スポーツ用具の貸出 (ニュースポーツ) (継続)	市民の生涯スポーツ・学習活動を支援するために、軽スポーツ用具を無料で貸出します。
かかみがはらフレイル 予防ウォーキング	ウォーキングを通じて高齢者の運動習慣の定着を図るため、スマートフォンアプリを活用したウォーキング事業を実施します。
市シニアクラブ連合会 開催の軽スポーツ大会 (継続)	市シニアクラブ主催で、グラウンドゴルフ、クローケーゴルフ、クロリティー、ペタンクなどの軽スポーツ大会を開催します。
障がい者を対象とした 各種スポーツ大会 (継続)	岐阜県の障害者スポーツ協会が開催する各種スポーツ大会を支援します。
フレイル予防の推進 (継続)	高齢者が健康を維持するための介護予防に関する情報発信と、市民が参加しやすい講座づくりに努めます。

● 取組のアイデア (今後検討)

<p>■ 多文化共生連携事業</p> <p>各務原市に縁のある外国人との多文化共生・国際交流イベント「KIA フェスティバル」において、スポーツを通じて言語の壁を越えた交流機会を創出します。</p>
<p>■ 市内在住外国人およびその家族とのスポーツを通じた交流イベント</p> <p>市内に居住・滞在する外国人の、それぞれの多様な文化、価値観への理解を深めるため、スポーツイベントを開催し、交流、相互理解を推進します。</p>

## 施策 4 継続的なスポーツへのアクセス性

市民の誰もが、性別、年齢、障がいの有無、生活環境や地域環境にかかわらず、気軽にスポーツに親しめる「場づくり」等の機会の提供を図るとともに、全ての人々がスポーツにアクセスできるような社会の実現・機運の醸成を目指します。

加えて、本人が望まない理由でスポーツをすることを諦める事が無いよう、生涯において安全・安心にスポーツができる環境を維持します。

### ●具体的事業

事業名	概要
e スポーツ推進事業	障がいや年齢等の壁を無くし、誰もが平等な舞台で対等に競技できる新しいスポーツとしての「e スポーツ」の体験機会を担当課と創出する。

### ●取組のアイデア（今後検討）

#### ■スポーツチームを活用した地域活動実施事業

スポーツチームを有する企業とともに、各務原の各種事業を連携して取り組むことにより、市民のスポーツへの意識を深めます。

#### ■大学連携プログラム

学生による子どもとのスポーツ交流、栄養学・トレーニング学講座の開催等、大学生の研究・実習の機会として各務原の子どもやスポーツ団体関係者との交流機会を創出します。

## 基本目標 2. 地域スポーツ活動への支援

### 現状と課題

各務原市スポーツ協会、各務原市スポーツ少年団、各務原市スポーツ推進委員会、各小学校区体育振興会などの各種スポーツ団体では、指導者不足や役員の高齢化が課題となっています。また、中学校部活動の地域移行に伴い、地域における指導者不足も懸念されることから、早急に指導者の育成・確保に努める必要があります。

さらに、各種スポーツ団体同士の連携をより一層深め、団体や競技種目の枠を超えた活動の連携ができるよう、支援方法を検討していく必要があります。

### 今後の方向性

各スポーツ団体の活動を支援するとともに、スポーツ指導者の育成支援に力を入れて取り組みます。また、各スポーツ活動団体間の連携を深め、スポーツ全体の振興、市内のスポーツ活動の活性化を図ります。さらに、現在実施している各スポーツイベントの継続や、新たな企画により関係団体との協力体制を築き、市内のスポーツ活動が一層活性化するよう努めます。

【基本目標 2 目標数値】

スポーツと健康づくりを推進するまちと感ずる市民の割合				
現状値 令和 6 年		中間目標 令和 11 年		最終目標 令和 16 年
24.5%		29.5%		34.5%
<p style="text-align: right;">スポーツ推進に関するアンケート（一般向け）より</p> <p>スポーツによる健康増進を達成すべく、重点施策として推進する。市民に対して、スポーツが健康にもたらす効果を普及・啓発し、スポーツと健康づくりを推進するまちと感ずる市民の割合を高める。</p> <p>数値の設定方法：中間目標の数値は、現状と比べて、スポーツと健康づくりを推進するまちと感ずる市民が、アンケート対象者のうち 100 人（5%）増加することを前提に算出した。最終目標の数値も同様。</p>				

市民スポーツ大会参加者数				
現状値 令和 5 年		中間目標 令和 11 年		最終目標 令和 16 年
4,754 人		5,500 人		6,000 人
<p style="text-align: right;">スポーツ課 統計より</p> <p>広く市民の間にスポーツの振興を図り、アマチュアスポーツ精神を高揚し、市民の健康増進と体力向上を図ることを目的として、市民スポーツ大会への参加者数を増加させていくことを目指す。</p> <p>数値の設定方法：中間目標の数値は各務原市総合計画【前期計画】の値を採用した。最終目標の数値はコロナ禍前の水準まで回復させる事として、令和元年度の参加者数（5,961 人）を踏まえて設定した。</p>				

## 施策1 指導者の育成支援

各スポーツにおける指導者の高齢化および人材不足の解消を図るため、次世代の指導者育成のための研修実施と、指導レベル向上のための研修参加費用の助成など、これからの指導者人材を育てるための支援を充実します。

### ●具体的事業

事業名	概要
スポーツ指導者養成研修（継続）	夏季教職員研修や、スポーツ指導者育成事業において、コーディネーショントレーニングやフィジカルコンディショニングの講座を実施し指導の参考となる環境をつくります。
スポーツ指導者資格取得助成事業（継続）	部活動の地域移行に伴い、学校運動部活動の指導者育成のため、指導資格取得に必要な経費を助成し、指導資格取得が容易になるよう支援します。
スポーツ少年団指導者認定養成講習会	スポーツ少年団において講習会を実施し、受講認定をすることで指導者のスキルアップを図ります。
小学校保健体育担当者会（継続）	市内児童の体力や健康の向上について、各小学校の取り組みの情報交換や検討の場を開催し、担当者間での情報共有を図り、間接的に授業を支援できるよう努めます。
スポーツ協会指導者派遣事業（継続）	市内の各中学校部活動からの依頼に応じて、各種目協会からの指導者の派遣の仲介を通じて支援を行い、市内スポーツレベルの向上を支える体制を確立します。
団体間意見交換会（継続）	スポーツ協会種目団体間の活動連携を促すための意見交換の場を持ち、指導者のレベル向上を図ります。

## 施策2 地域スポーツ活動の支援と連携促進

地域のスポーツ関連団体による活動への継続的な支援を図るとともに、団体同士、あるいは個人同士の活動の連携が可能となるような支援を実施します。また、各団体が取り組む活動内容を市民に周知し、参加を促す取組を進めます。

### ●具体的事業

事業名	概要
スポーツ協会・スポーツ少年団・体育振興会活動の支援（継続）	スポーツ協会、スポーツ少年団、体育振興会の活動に関する周知活動をはじめ、連絡会議などの開催により、関係者との連絡・連携を図ります。
【再掲】軽スポーツ用具の貸出（ニュースポーツ）（継続）	市民の生涯スポーツ・学習活動を支援するために、軽スポーツ用具を無料で貸出します。
スポーツボランティア活動の支援（継続）	市が主催するスポーツイベントへのボランティア参加を呼び掛けるとともに、安全に参加してもらえるよう努めます。
スポーツ推進委員の充実（継続）	スポーツ推進委員の認知度を高め、各地域での生涯スポーツを盛んにする活動を支援します。（スポ推だよりの作成、金銭面の協力等）
地域が主体で運営されるスポーツクラブ（旧総合型）への支援（旧：総合型地域スポーツクラブへの支援）（継続）	地域が主体で運営されるスポーツクラブ（旧総合型）の開催の場を引き続き提供していくとともに、活動の周知を図ります。

## 基本目標 3. スポーツ施設の充実

### 現状と課題

市内における様々なスポーツ施設の一部は、公式競技の環境が整えられておらず、また市民のライフスタイルの変化や多様なニーズに応じた管理運営が求められています。誰もが安心して安全に快適な利用ができるよう、スポーツ施設そのものの整備に加え、更衣室やトイレの環境など、周辺施設についても、適切な整備が求められています。加えて、施設の老朽化の懸念もあり、その対策として、計画的な施設設備の改修など、適切な維持管理に努める必要があります。

### 今後の方向性

新総合体育館の建設をはじめ、各スポーツ施設の機能維持及び延命化を図り、安全な利用に努めます。また、バリアフリーなどの施設整備を推進し、利便性向上に努めます。

#### 【基本目標 3 目標数値】

気軽にスポーツに親しめるスポーツ施設があると感じる市民の割合				
現状値 令和 6 年		中間目標 令和 11 年		最終目標 令和 16 年
25.3%		30.3%		35.3%
<p>スポーツ推進に関するアンケート（一般向け）より市民のスポーツ施設に対するニーズの高まりや多様性に対応するとともに、誰もが安全にスポーツを行うことができる環境を整え、気軽にスポーツに親しめるスポーツ施設があると感じる市民の割合を高める。</p> <p>数値の設定方法：中間目標の数値は、現状と比べて、気軽にスポーツに親しめるスポーツ施設があると感じる市民がアンケート対象者のうち 100 人（5%）増加することを前提に算出した。最終目標の数値も同様。</p>				

公共スポーツ施設利用者数				
現状値 令和 6 年		中間目標 令和 11 年		最終目標 令和 16 年
752,635 人		82 万人		89 万人
<p>主なスポーツ施設の利用状況より気軽にスポーツに親しめるスポーツ施設があると感じる市民の割合の増加に加え、利用者数も目標としていく。</p> <p>数値の設定方法：中間目標の数値は各務原市総合計画【前期計画】の値を採用した。最</p>				

終目標の数値は中間目標の数値に現状値と中間目標値の変化量を加算し、算出した。

公共スポーツ施設の満足度「とても満足」「概ね満足」と答えた人の割合

現状値 令和 6 年		中間目標 令和 11 年		最終目標 令和 16 年
52.5%		57.5%		62.5%

スポーツ推進に関するアンケート（施設利用者向け）より利用者数の増加に加えて、利用満足度も目標とし、満足度の高い施設整備や運営に努める。

数値の設定方法：中間目標の数値はアンケート時に、現状と比べて、公共スポーツ施設の満足度に関して、「とても満足」「概ね満足」と答えた施設利用者が 100 人増加することを前提に算出した。最終目標の数値も同様。

※前計画策定時の施設利用者アンケートでは、「とても満足」「概ね満足」「やや不満」「とても不満」の 4 択であったが、本計画策定時の施設利用者アンケートでは、「普通・どちらともいえない」を加えた 5 択にしたため、データ取得の基準が異なる。

施策 1 スポーツ施設の整備実施

安全かつ快適にスポーツを行うことができる環境づくりを念頭に置いた整備に努めます。現在ある施設の延命化を図り、利便性を向上させることを基本とした整備に取り組むとともに、新総合体育館のあり方について、規模・場所・内容など、市民のニーズを把握しながら、今後予想される少子高齢化や人口減少を見据え、適切な施設となるよう整備を進めます。また、高齢者や障がいのある人が快適に施設を利用するための手すりの設置やバリアフリー化を進めます。

●具体的事業

事業名	概要
スポーツ施設備品整備事業（継続）	スポーツ施設の安全性のため、経年劣化が見られる備品の更新等、必要な備品整備を推進します。
福祉スポーツ環境の構築（継続）	障がい者や高齢者に考慮したスポーツ環境の構築を検討します。
新総合体育館の整備（継続）	当面の財政事情と既存施設の利活用を考慮しながら、長く市民に親しまれる総合体育館となるよう、具体的な配置と規模など

	について協議を進め、整備を推進します。(令和11年度完成予定)
--	---------------------------------

## 施策2 適切な施設運営の推進

市内にある体育施設は指定管理制度のもとで管理しており、今後も適切な管理者の選定と指導、および連絡・連携を密にし、円滑な施設運営を図ります。また、国内有数のホッケー施設である岐阜県グリーンスタジアムの適切な管理を行い、さらなる競技レベルの向上を支えます。また、スポーツ施設を快適に利用するために、誰もが公平に施設の予約ができるよう、システムなどの見直しを進めます。

### ●具体的事業

事業名	概要
体育施設指定管理の円滑運営(継続)	総合運動公園、総合体育館、スポーツ広場など、市内体育施設の適切な管理を指定管理者とともに実施し、市民が快適に利用できる環境を整えます。
岐阜県グリーンスタジアム管理事業(継続)	岐阜県の施設であるグリーンスタジアムの管理・運営を通じて、トップレベルの競技を支えつつ、誰もが参加できるイベントなどを実施し、市民に親しまれる施設づくりに努めます。
公共施設予約システム管理(継続)	市民が円滑かつ公平にスポーツ施設を利用できる、予約システムの利便性向上に努めます。

## 基本目標 4. ホッケーを基軸とした競技スポーツの全体の底上げ

### 現状と課題

ホッケーは本市の誇りであり、またその競技レベルや実施環境は全国トップレベルです。国際大会などの誘致や子ども向けのホッケーの体験機会を通じて、ホッケーの普及促進、ホッケー人口の拡大に努めていく他、本計画機関中に開催される愛知・名古屋 2026 アジア競技大会を契機として、「ホッケー王国かかみがはら」としてさらなる推進を図ります。

また、ホッケー以外の種目についても、高校サッカーの全国大会出場や車いすテニスでの世界大会への出場など、各種スポーツにおいて実績を積み上げており、今後も競技スポーツレベルの底上げと活動への協力が望まれています。

### 今後の方向性

「ホッケー王国かかみがはら」として、世界と戦えるトップレベルの選手を今後も育成するとともに、そのほかの競技スポーツについても牽引役となって、市のスポーツレベル全体を向上させるきっかけとなるよう、活動の支援を図ります。また、すべてのスポーツ種目において、競技レベルを上げるため、指導者の交流や派遣などができる土台づくりに努めます。

#### 【基本目標 4 目標数値】

「ホッケー王国かかみがはら」のイメージを持っている市民の割合				
現状値 令和 6 年		中間目標 令和 11 年		最終目標 令和 16 年
54.7%		59.7%		64.7%
スポーツ推進に関するアンケート（一般向け）より ホッケーは本市の誇りであり、国際大会などの誘致やホッケーの体験機会を通じて、ホッケーの普及促進、ホッケー人口の拡大に努め、「ホッケー王国かかみがはら」のイメージを持っている市民の割合を高める。 数値の設定方法：中間目標の数値は、現状と比べて、「ホッケー王国かかみがはら」のイメージを持っている市民が、アンケート対象者のうち 100 人（5%）増加することを前提に算出した。最終目標の数値も同様。				

ホッケー講習会の参加者数				
現状値 令和 6 年		中間目標 令和 11 年		最終目標 令和 16 年
153 人		175 人		200 人
<p style="text-align: right;">スポーツ課 統計より</p> <p>各務原市ホッケー協会と連携し、子どもたちがホッケーに触れ、ホッケーの楽しさを知る機会を創出し、ホッケー人口拡大を目的として、ホッケー講習会の参加者数を増やします。</p> <p>数値の設定方法：中間目標の数値は各務原市総合計画【前期計画】の値を採用した。最終目標の数値は中間目標の数値に現状値と中間目標値の変化量を加算し、算出した。</p>				

### 施策 1 ホッケー競技の強化

本市の特徴であり、競技レベルにおいても全国有数な力を持つホッケー競技の更なるレベルアップを目指し、競技人口の拡大、企業などへの協力・連携などに取り組みます。

特に、**オリンピック・パラリンピック大会**に引き続き、**愛知・名古屋 2026 アジア競技大会**に向けて、選手の育成と代表選手の輩出のため、関係機関との連携を図りつつ施策を推進します。また、ホッケー競技者の増加と、次世代の代表選手育成を見据え、社会人選手などの派遣により、中学校部活動での技術指導の機会を創出するなど、競技レベルを向上させる取り組みを推進します。

#### ● 具体的事業

事業名	概要
全国大会や国際大会の招致 (継続)	国内外のホッケー大会を支援するとともに、今後も全国ならびに <b>愛知・名古屋 2026 アジア競技大会</b> をはじめ国際レベルのホッケー大会を招致し、円滑な大会運営を支援します。
大規模大会におけるホッケーチームキャンプ地誘致 (継続)	国際大会において、ホッケー競技の <b>事前合宿</b> 、キャンプ地として本市のグリーンスタジアムなど、恵まれた環境であることのPRを積極的に行い、誘致に努めます。
ホッケー講習会の実施 (継続)	市内で活躍するトップ選手による子どもたちへのホッケー体験会の開催や、市内企業との協定による中学校ホッケー部

	活動での技術指導を実施し、競技レベル向上を目指します。
グリーンスタジアムの充実 (継続)	「岐阜県グリーンスタジアム」の一層の充実のため、県との調整を図ります。また、市民が気軽にホッケーを観戦できる環境や仕組みを整えます。

## 施策2 各種スポーツのレベル向上

各団体や関係者との協働により、市内で活動しているスポーツ愛好者の競技レベルの向上を図り、スポーツに対する意識の変化と、競技レベル向上によるスポーツ活動全体の機運が高まるような支援に努めます。また岐阜県で取り組まれている、次世代アスリートの発掘・育成・強化、パラスポーツの競技力向上について、本市としても取組を進めます。

さらに、岐阜県では複数の企業が選手を雇用し、クラブを形成する「岐阜方式」による競技力の強化が成功していることも鑑み、本市で育った選手が、本市で就職し、スポーツを続けていくための環境の整備等、スポーツ関係団体と連携した競技力向上を図ります。

### ● 具体的事業

事業名	概要
スポーツ大会出場者奨励事業 (継続)	様々なスポーツ大会への参加者を支援します。特に遠方への大会参加や、サポートが得られにくい種目などへの切れ目のない支援を実施します。
【再掲】コーディネーショントレーニングの推進 (継続)	神経の働きが最も伸びる幼児期から成長期に、身体を巧みに操る能力を身につけるトレーニングを実施します。
有力選手の紹介 (継続)	市の広報紙やウェブサイトなどの媒体を利用し、本市にゆかりのあるアスリートを紹介します。

### ● 取組のアイデア (今後検討)

#### 企業スポーツチーム連携プロジェクト

企業版ふるさと納税等を活用し、企業スポーツチーム等と連携し、市民がスポーツに触れられる機会を創出します。



### 施策3 質の高いスポーツ指導者の育成

本市で活動するトップアスリートによるスポーツ少年団や地域が主体で運営されるスポーツクラブ（旧総合型）等との関わりを強め、関係性を構築していくとともに、スポーツ分野におけるあらゆるハラスメント（暴力、不適切指導等）の根絶を図り、アスリートが安心してスポーツに取り組める環境づくりを進めます。

#### ●取り組みのアイデア（今後検討）

##### ■スポーツ医科学講座（リハビリ）

スポーツ医科学の観点のサポートの質向上と、ジュニア層やパラアスリートまで対応できるサポート体制を構築します。

##### ■スポーツ管理栄養学講座

市と大学が連携して、地域活性化に取り組み、指導者の知見の向上を図ります。

##### ■障がい者スポーツ指導者育成支援

障害者を含む一般競技団体の指導者、スポーツ推進委員、現役の教師等に対する障害者スポーツ指導員資格の取得を促します。

##### ■各種スポーツ指導者の資格取得促進

各種スポーツ指導者の資格取得を促進するとともに、指導力の向上ならびに専門知識を習得した指導者を育成します。

### 施策4 スポーツ関連団体・体制の強化

指導者不足などの共通課題を解消し、スポーツ関連団体の連携強化を推進します。

#### ●具体的事業

事業名	概要
補助金の活用	スポーツを通じた健康増進に資する取組の支援補助事業を活用する。
ボランティア情報の提供	市のデータベースにより、スポーツ大会やスポーツイベント等で過去に活動経験のあるボランティア情報を提供する。

## 施策5 スポーツにおけるDXの導入

また、スポーツをより「豊かに、安心に、便利に」するDXを活用していくため、市内スポーツ施設における予約の仕組みにDXを導入し、円滑にすることで、利便性向上を図り、スポーツ機会の拡大を図ります。また、スポーツに関する様々なデータを活用することで、トレーニング等の様々なスポーツ活動の効率性向上や最適化を図ります。DXを通じて新たなスポーツ実施機会の創出に係る技術開発や普及啓発の推進を図ります。

### ●具体的事業

事業名	概要
スポーツ施設の予約・使用にかかるDX導入事業	スポーツ施設の予約、利用手続き、利用料収受において、DXを進め、利用環境の促進を図ります。

### ●取組のアイデア（今後検討）

#### ■オンラインを活用したスポーツ教室

外出が困難な方も自宅等の自由な場所でスポーツを楽しむ環境を整えるため、仮想空間や動画を活用したスポーツ教室を実施します。

#### ■スポーツ施設へのAIカメラ導入

主要なスポーツ施設へAIカメラ等を設置し、当該施設で開催される試合を配信することにより、スポーツ大会や試合の発信力の強化、生涯スポーツの振興、地域コミュニティの活性化を図ります。

## 基本目標 5. スポーツを通じたまちづくりの推進

### 現状と課題

全国でも随一の「ホッケーの聖地」として、国内有数の専用スタジアムを有し、大規模なスポーツ大会やホストタウン交流における事前合宿等、ホッケーを基軸としたスポーツ交流が盛んです。また、スポーツ以外では、県内でも最大級の集客性を誇る「河川環境楽園」や「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」を有し、市内外からの多くの来客がある立地環境にあります。

これらの環境を最大限活用し、スポーツを通じた交流を促すまちづくりを推進し、地域活性化に繋げていくことが必要です。

### 今後の方向性

国内で開催される国際・全国的な大規模スポーツイベントなどをターゲットに、県内スポーツ施設における合宿誘致を推進するほか、県内プロスポーツチームをはじめトップチームがその知名度を活かし、連携して取り組む地域貢献活動を支援するなど、県が誇るスポーツ資源を活かしたスポーツによるまちづくりを推進します。（県 p:52）

特に、ホッケーを中心とし、その他様々なスポーツを通じて交流を促進し、地域活性化に繋げるとともに、既存の集客性を活用し、スポーツアクティビティを活性化させ、滞在の促進ならびに市内施設の利用に繋げ、地域活性化を図ります。

### 【基本目標 5 目標数値】

川崎重工ホッケースタジアム(岐阜県グリーンスタジアム)の市外利用者数				
現状値 令和 5 年		中間目標 令和 11 年		最終目標 令和 16 年
11,189 人		15,400 人		19,600 人
スポーツ課 統計より				
国内有数のホッケー専用スタジアムである「川崎重工ホッケースタジアム(岐阜県グリーンスタジアム)」において、ホッケーを通じた市内外の交流を促進すべく、市外利用者を増やします。				
数値の設定方法：グリーンスタジアム利用者(令和 5 年)の利用者数は 38,102 人で、うち市外の利用は 11,189 人で全体の 29%を占めていました(12.6 人/時間・1 面)。今後は、利用可能な時間帯(余剰分)の利用を促進し、市外利用を 50%で満たすとする、8,429 人の市外受入が可能と試算され、これを 10 年で達成することを前提として、				

算出しています。

### 施策1 愛知・名古屋2026アジア競技大会ならびにレガシーの活用

スポーツを通じた国際交流は、国際的な相互理解を図るために有効であり、スポーツに携わる全ての人材を世界水準に導くとともに、国際大会の開催を支援することで、国際競技力向上、国際交流・協力、経済・地域の活性化等に寄与していきます。

また、大会の開催を契機として培ったネットワークや知見、さらには市外から訪れる人をもてなす市民意識を、次なる交流機会に活用していきます。

#### ●具体的事業

事業名	概要
スポーツボランティア登録制度	ボランティアへの登録制度などを用い、多くのボランティアの確保に努めます。
ボランティア団体同士の連携・組織化	ボランティア団体同士の連携・組織化を進め、ボランティアの力でスポーツイベントをはじめ、スポーツに限定しない各種イベントでの活躍の場を拡大します。
日本代表ホッケーチームとの交流イベントの開催	ホッケー選手との交流を通じて、市民のホッケーへの愛着と誇りの意識の醸成と、新たなホッケー選手の創出を図ります。
パブリックビューイングの開催	各務原市にゆかりのある選手が参加する大規模なホッケーの大会において、公共空間を活用したパブリックビューイングを実施し、市民のホッケーへの愛着と誇りを醸成します。

## 施策2 スポーツツーリズムの推進

スポーツツーリズムによる地域活性化や、スポーツ合宿等で本市のスポーツ施設の利用を促進するとともに、隣接自治体との連携により、宿泊・飲食や観光スポットへの立ち寄りを促す等、スポーツを基軸とした地域活性化に取り組みます。

また、本市の国内有数のホッケー環境を活用し、国際大会や国内外からの合宿を誘致し、スポーツを通じた交流の促進を図ります。

### ●具体的事業

事業名	概要
ウォーキングマップの制作	各務原市の名所を巡るウォーキングプランを設定し、ウォーキングマップを作成し、市内外に情報発信し、各務原でのウォーキング人口を拡大します。

### ●取組のアイデア（今後検討）

#### ■スポーツ大会誘致に関する連携協定の締結

各務原市のホッケーの環境を活用し、隣接市の施設等とも連携し、大規模なスポーツ大会を誘致していく事について連携協定を締結し、各種取組の円滑化を図ります。

#### ■合宿の誘致及び受入

国内外のホッケーのチームに対する合宿の誘致活動の実施及び合宿コーディネート機能の構築（練習試合対戦相手の調整、宿泊施設・ランドリー斡旋、飲食調達支援）により、地域経済の活性化を図ります。

#### ■民間会社とのウォーキングイベントの実施

鉄道会社が主催で実施するウォーキングイベントの開催支援を行うとともに、市内の飲食店等への周知を図り、地域活性化にも繋がります。

### 施策3 地域関連機関との連携強化

また、岐阜県下の市町村、競技団体及び観光団体で構成する「清流の国ぎふスポーツコミッション連絡会議」によるスポーツを通じたまちづくりに倣い、本市における合宿、大会誘致、スポーツツーリズムの取組みを推進するコミッション組織の構築に向けた検討を行います。また、様々なスポーツ関連団体の連携体制を構築できるように支援していくとともに、スポーツ政策に関わる多様な部署との連携を促進します。

#### ●具体的事業

事業名	概要
地域スポーツコミッション設立に向けた検討	各務原市とスポーツ団体、観光事業者等の多様な主体が一体となって地域資源を有効に活用したスポーツツーリズムの実現に向けた支援組織の構築に向け、検討を行っていきます。

#### ●取組のアイデア（今後検討）

##### ■地元企業等と連携した市内施設割引クーポン配布事業

スポーツ大会・イベントの参加申込時に市内の飲食店等で使用できるクーポン券を配布し、大会・イベントの前後に市内を回遊でき仕組みを構築します。

## 5章 計画の推進体制

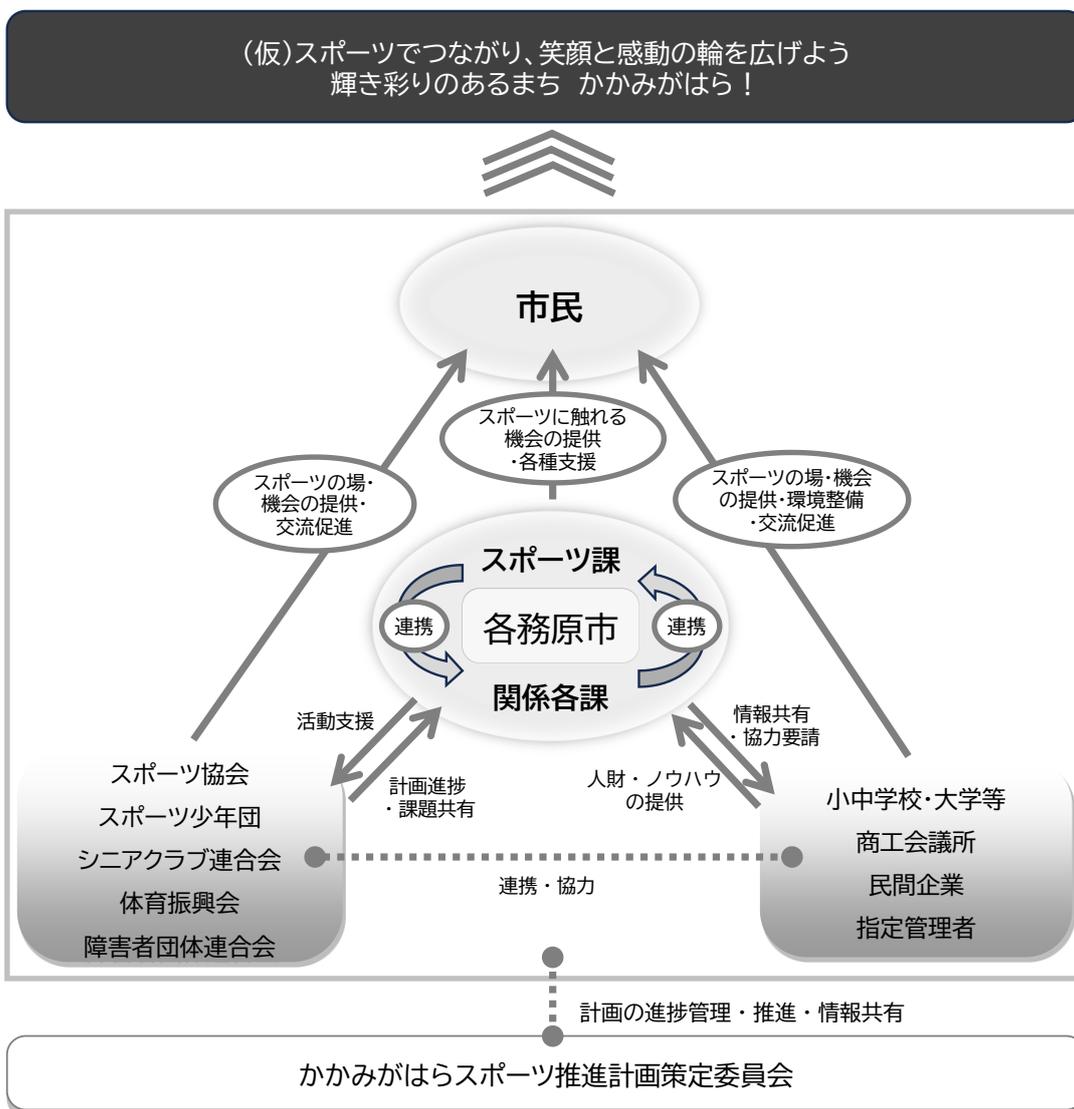
### 第1節 計画の進捗管理

本計画は令和16年度を目標年度とし、中間年度にあたる令和11年度には、その間のスポーツを取り巻く社環境の変化や各種取り組み状況の推移を踏まえ、計画の中間評価を行います。数値目標については、各種統計データおよびアンケート調査を通じて、毎年もしくは2年に1度、その状況を確認し、取組の改善などを検討します。また、具体的な事業の進捗管理や推進計画の評価にあたっては、「かかみがはらスポーツ推進計画策定委員会」を中心に必要な評価や検証、各種取り組みの改善を進めていきます。

### 第2節 計画推進の仕組みづくり

計画の推進に向けて、市民一人ひとりが、スポーツ推進の主役としてライフステージに応じたスポーツ活動に参画していくことができるよう、本市のスポーツ課、関係各課が庁内連携していくことに加え、スポーツ関係団体や民間企業、大学等とも連携・協力を図り、市民のスポーツ環境を整えていくことが大切です。また、自ら積極的にスポーツ活動に参画する方だけでなく、スポーツに関心の薄い方を含めて、幅広くアプローチを行い、誰でも気軽にスポーツに親しめるようなまちづくりを目指します。

●各務原スポーツ推進計画 推進イメージ



## 資料編

### 第1節 策定の行程

年月	内容	備考
令和6年 8月	第1回かかみがはら スポーツ推進計画策定委員会	議題① 策定委員会の運営について 議題② アンケートの内容について 議題③ 計画策定スケジュールについて
令和6年 10月	アンケートの実施	市民、施設利用者、小中学生、団体向け
令和6年 11月	第2回かかみがはら スポーツ推進計画策定委員会	第2期各務原スポーツ推進計画（素案） について 各種調査結果報告
令和6年 12月	パブリックコメントの実施	※令和6年12月 開始予定
令和7年 3月	第3回かかみがはら スポーツ推進計画策定委員会	※今後、日程調整

### 第2節 委員名簿（第2期かかみがはらスポーツ推進計画策定委員会）

氏名（敬称略）	所属団体
有川 一（委員長）	中部学院大学スポーツ健康科学部 教授
北角 浩一（副委員長）	各務原商工会議所 会頭
横山 浩之（副委員長）	各務原市スポーツ協会 会長
三村 武俊	各務原市スポーツ少年団 参与
中野 正勝	各務原市シニアクラブ連合会 会長
足立 可彦	各務原市体育振興会 代表
杉山 正明	各務原市障害者団体連合会 会長
今尾 謙二	各務原市小中校長会 代表
大矢 貢	各務原市 企画総務部長
丹羽 章	各務原市教育委員会 教育長



---

## 第2期かかみがはらスポーツ推進計画

令和7年3月

発行・編集 各務原市・教育委員会

住所 〒504-8555

岐阜県各務原市那加桜町1丁目69番地

TEL 058-383-1231（スポーツ課）

---

